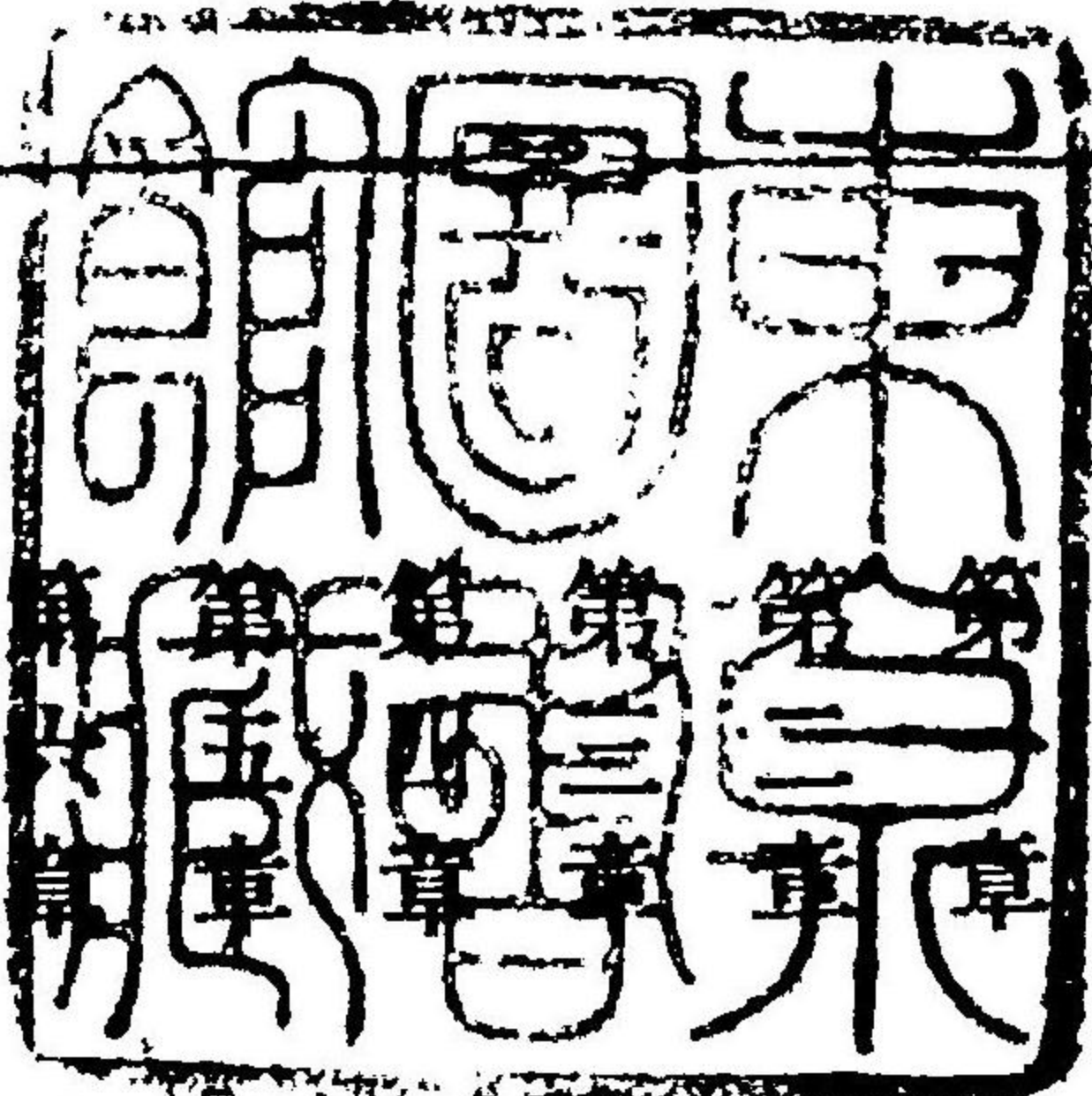


122521/111V.

公債論目錄

第一卷



第一章	公債ノ意解及ヒ其起因	一
第二章	公債私債ノ別	一一丁
第三章	公債ト非常準備トノ關係	二二丁
第四章	公債ノ經濟上ニ示ス所ノ効驗	三二丁
第五章	租稅ト公債トノ關係	七五丁
第六章	公債ノ區分並ニ各種公債ノ得失	一二六丁
第七章	各種公債ノ得失	一三三丁
公債論 目錄		一



1875

第一款 平價募集呼價募集 一九五丁

第二款 特別募集 二一二丁

第三款 籤札付募集 二一七丁

第四款 募集雜件

第一項 公債ハ一時ニ募集スヘキヤ

又漸次ニ需要高ヲ募集スヘキヤ 二二七丁

第二項 保證拂及拂込回数 二二八丁

第三項 募集費並ニ新募債初年ノ利子

ヲ募集金ヨリ支出スルコト 二三二丁

第四項 公債ノ募集ニ際シ殊ニ償還基

金又ハ抵當物ヲ定ムルコト 二三四丁

第八章 公債證書發行方法 二三七丁

第二卷

第一章 公債償還

第一款 總論 二六一丁

第二款 急遽ノ償還ハ之ヲ行フヲ要セ

サルコト 二六六丁

第三款 英國ニ於ケル公債償還ノ經歷 二七一丁

第四款 佛國ニ於ケル公債償還ノ經歷 三〇六丁

第五款 北米合衆國公債償還ノ經歷 三五〇丁

第二章 公債ノ借換

第一款 總論 三五五丁

第二款 借換ニ關スル諸國ノ經歷 三五九丁

第一項 英國ノ經歷 三五九丁

第三卷

第二項	佛國ノ景況	三七三丁
第三項	北米合衆國ノ景況	四一一丁

第一章

公債證書ニ租稅ヲ課スヘキヤ否
 ヤノ論並ニ公債ニ付キ政府ト債
 主ノ間ノ約束ノ變更

四一七丁

第二章

公債ヨリ起ル所ノ負擔ノ輕重

四五六丁

第三章 不換紙幣

第一欸 總論

五一七丁

第二欸 開明諸國ニ於ケル不換紙幣發行ノ景況

五三三丁

第一項英國

五三四丁

四

百十三

第二項 佛國

五五七丁

第三項 奧地利

五八六丁

第四項 露國

六一一丁

第五項 伊太利

六三一丁

第六項 北米合衆國

六四八丁

第三欸 結論

六六二丁

第四章 地方債

第一欸 總論

六七七丁

第二欸 地方債ニ關スル諸國ノ法律規則

第一項 英國

六八〇丁

英國地方債條例

六八〇丁

補則

六九五丁

公債論 目次

五

附則

六

七〇七丁

第二項 佛國

第一節 法律規則

七〇九丁

第二節 地方債ト大藏省預金局ト

ノ關係

七一九丁

第三項 獨逸

七二八丁

西曆千八百五十三年發布ノ市制

七二八丁

西曆千八百七十二年ノ郡制

七二九丁

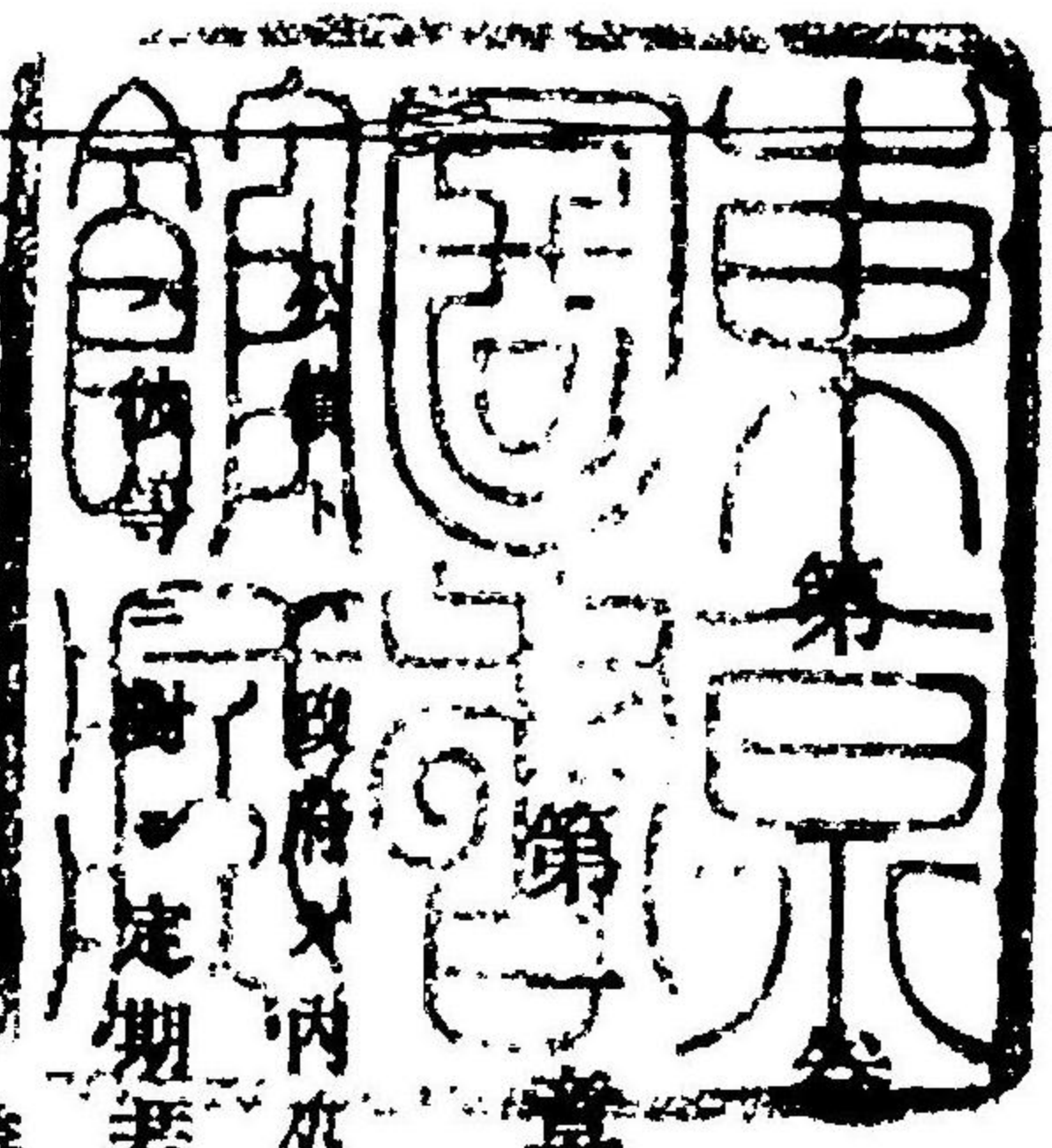
西曆千八百七十五年ノ縣制

七三〇丁

公債論目錄終

公債論

法學博士 田尻稻次郎講述



第一章 公債ノ意解及其起因

公債ハ政府ノ内外人民若クハ會社等ヨリ金員ノ借入若クハ預リ入ヲ爲シ又
定期若クハ不定期ニ支拂ヲ爲スモノトシ其レカ爲メ生スル償還
拂戻若クハ支拂ノ義務ヲ總稱スルモノニシテ即チ一國若クハ一地方ノ負擔ス
ル負債ナリ故ニ公債ハ社會連帶責任ノ主義ニ據リ之ヲ負擔スル政府ニ屬スル
所ノ人民ニ於テ之ヲ辨償セサルヲ得サル所ノモノタリ而シテ今其起因スル所
ヲ尋ヌルニ

公債論

第一 戰亂騷擾天變地殊ヨリ生スル非常ノ費用ヲ辨償スルカ爲メ到底其年度ノ通常歳入ヲ以テ之ヲ支フル能ハサルコト

第二 一搬通信其他國家文武ノ事業ヲ改良擴張セシカ爲メ巨額ノ金額ヲ要スルコト

第三 一般政治若クハ財政整理ノ爲メ巨額ノ費用ヲ要シ通常歳入ヲ以テ之ヲ支辨シ能ハサルコト

第四 一時若クハ永久ノ歳入不足ヲ補足スルコト

第五 貯蓄ノ獎勵及保護ノ爲メ政府カ預リ金ヲ爲スコト

第六 事業ノ獎勵保護ノ爲メ一個人若クハ會社ニ補助金ヲ約束スルコト

第七 兵亂騷擾等ノ爲メ巨額ノ費用ヲ要シ支拂テ後年ニ期シ流通ノ効力アル手形ヲ發行スルコト即チ紙幣發行ノ如キ是ナリ

元來國家ニ治亂アリ而シテ開明其歩ヲ止メ文武ノ事業上改良ヲ要スルモノ年ニ其多キヲ加ヘ又財政ニ緩急アルハ勢ノ免レサル所ニシテ前陳ノ數因其働作ヲ過シ時ニ或ハ公債ヲ起スノ要アルハ蓋シ免ルコト能ハサル所ノ數ナ

ヲ就中戰爭ノ如キハ非常ノ費用ヲ要シ北米合衆國南北戰爭ノ如キハ其耐ナル時ニ於テハ一日凡百萬圓ノ支出ヲ要シ西曆千八百七十年ノ普佛戰爭ニ於テハ佛國ノ要セシ費用凡十億圓(普國ニ拂ヒシ償金ヲ除キ全戰闘ノ爲メニ要セシ費用ナリ)ノ巨額ニ達セシト云フ我カ西南ノ騷擾ニ於テモ亦一千五百萬圓ノ公債ヲ起スヲ要セリ而シテ年稔ヲス收穫ノ過半ヲ失シ民饑餓爭道ニ横ハルノ慘狀ヲ見ルノ患アレハ決シテ之ヲ等閑ニ附スルヲ得ス百方經費ヲ節省シ尙ホ足ラサル所アレハ公債ヲ起シ大ニ救濟ノ道ヲ講セサルヲ得サルナリ果シテ然ラハ其費用決シテ僅少ニアラサルヘク之ヲ其事實ノ起リシ年度ニ於テ負擔スルハ到底民力ノ堪ユル所ニアラズシテ前陳ノ如キ場合ニ於テハ必ス公債ヲ起サシムルヲ得サルナリ

運搬通信ノ便否ハ大ニ人智ノ發育ニ關シ國家富源ノ發達ニ係ルハ固ヨリ論ヲ待タス然ルニ航海ノ線路ヲ開キ船舶ヲ艦シ港灣ヲ改良シ川河ヲ浚渫シ運河ヲ通スルカ如キ又山谷ヲ理メ巖石ヲ貫キ橋梁ヲ架シ鐵道ヲ敷設シ電信線ヲ架設スルカ如キハ其費用固ヨリ僅少ナリトセス之ヲ民業ニ委ヌレハ急ニ此等ノ便

公債論

利ヲ起スヲ得ス此等ノ便利起ラサレハ國富發達スルヲ得ス國富發達セサレハ他國ト拮抗シ以テ國威ヲ維持スルコト能ハス而シテ此等ノ事業ハ後世子孫ニ利益ヲ遺スモノ多キヨ由リ荷モ其事業ヲシテ實利ヲ起スモノタラシメハ之カ爲メニ公債ヲ起スモ敢テ後世ヲ煩ハスコトナク却テ大ニ之ヲ利スヘク又當世ノ人ト雖モ此等事業ノ爲メ生スル所ノ租稅ノ負擔此等ノ事實ノ爲メニ生計ヲ裕ニスルノ度ニ比シテ輕易ナルヲ得ハ決シテ公債ノ爲メニ不利ヲ蒙ルコトナカルヘシ其他一般政務ノ改良農工商凡百ノ事業ノ保護獎勵モ時ニ或ハ巨額ノ費用ヲ要スト雖モ少クモ他國ト併行スルヲ得ル丈ケノ改良獎勵ハ之ヲ爲サ、ルヲ得ス而シテ兵員ノ増加戰艦銃砲一切ノ武器武具ノ改良ノ如キハ大ニ費用ヲ要ス然レトモ是レ又少クモ其國ノ防禦ニ緊要ナル丈ケハ必ス之ヲ爲サ、ルヲ得ス是等ノ爲メニ要スル費用固ヨリ僅少ニアラサレハ租稅ノミヲ以テ之ヲ負擔スルヲ得サル固ヨリ論ヲ待タス此等ノ原因ノ爲メ時ニ或ハ公債ヲ起サ、ルヲ得サルハ實ニ勢ノ免ル、能ハサル所ノモノナリ

一般政治若クハ財政ノ整理モ亦巨額ノ費用ヲ要ス然レトモ之ヲ整理セスンハ

國家ノ進歩財政ノ改良經費ノ節減得テ望ム能ハス我國維新ノ初メニ當リ祿制ヲ廢シ大ニ金祿公債證書ヲ發行シ之ヲ從前ノ有祿者ニ交付シ以テ封建ノ遺風ヲ洗除セシカ如キハ時勢ノ已ムヲ得サルニ出ツルモノナリ而シテ其高實ニ一億七千四百二十餘萬圓ニ達セリ然レトモ之カ爲メ財政ヲ整理シ隨テ費用ヲ節シタルハ亦僅少ノ高ニアラサルナリ元來斯ノ如キ巨額ハ決シテ通常ノ歲入ヲ以テ一時若クハ三四年中ニ之ヲ支辨スル能ハス必ス公債處分ヲ爲シ數十年ニ涉リ之ヲ分擔セサルヲ得サルナリ其他秩祿公債舊神官當配祿公債ノ如キ皆是レ制度上整頓ノ爲メニ要セシ所ノ公債ナリ而シテ金札引換公債同無記名公債ノ如キハ紙幣償還ノ爲メニ起リシモノニシテ財政上ノ整理ニ付キ頗ル有用ノモノタリ最近整理公債ノ募集アルカ如キ亦是レ財政ノ整理國費ノ節減ヲ目的トスルニ外ナラス又流動公債(預リ金大藏省證券ノ類)ノ確定公債若シハ年金金額並ニ償却方法ノ確定シタルモノ即チ定期償還永遠公債ノ類又年金トハ拂込額ニ對シ年々元利ノ一部分ヲ支拂フモノナリ此等ニ付キテハ後章ニ於テ更ニ説ク所アルヘシニ組換ヘ以テ公債ノ素質ヲ確實ニシ若クハ永遠公債ヲ年金ニ

公債論

組換へ以テ償還ヲ容易ニスルカ如キハ皆是レ新ニ公債ノ起ル所以ニシテ財政
 上時ニ或ハ無上ノ功ヲ奏スル所ノモノタリ
 又土地制度ノ改良整頓ノ如キ巨額ノ費用ヲ要スルモノアリ中世宗教ノ勢力甚
 タ盛ナルニ際シ瑞士國ニ於テ寺領大ニ擴張シ殆ト國土ノ半ヲ占メタリ然ルニ
 人口増加スルニ從ヒ耕地不足ヲ告ケ大ニ不便ヲ感シタルコトアリ此ノ如キ場
 合ニ於テハ寺院ニ相當ノ公債證書ヲ與ヘ其土地ヲ引揚ケ之ヲ農民ニ貸付シ又
 ハ賣却シテ農業ヲ勸メ其収入ヲ以テ公債ヲ償却スルノ方法ヲ取ルハ頗ル便利
 ナルモノタルヘシ又例ヘハ一原野ニシテ其所有權ハ甲村ニ屬シ其草刈ルノ
 權利ハ乙村ニ屬シ人口増加スルニ隨ヒ之ヲ草刈場トシテ用フルヨリ耕地トシ
 テ用フル方ハ便利ナルニ至ルモ甲村之ヲ耕サント欲セハ乙村草刈ノ權利ヲ犯
 シ乙村之ヲ耕サント欲セハ甲村ノ所有權ヲ犯スカ如キコトアレハ永ク此原野
 ナ荒蕪ノ地トシ十分ノ利益ヲ双ムルコト能ハサルカ如キコトナキヲ保セス斯
 ノ如キ場合ニ遭遇スルニ於テハ甲乙兩村ニ於テ有スル所ノ利益ヲ補償スル丈
 ケノ公債證書ヲ發行シ之ヲ兩村ニ交付シ一旦其原野ヲ官有物トシ更ニ之ヲ甲

乙兩村ノ需要者ニ拂下ケ又ハ貸付ケ其所有權若クハ所用權ヲ確定シ便宜之ヲ
 使用セシメハ大ニ農事ヲ獎勵スルコトヲ得ヘシ而シテ其公債證書償却ノ如キ
 ハ右原野ノ賣却代價又ハ貸賃ヲ以テ漸次ニ之ヲ爲スヲ得ヘシ斯ノ如キノ整理
 ハ頗ル巨額ヲ要スルモノナルニ由リ到底普通ノ歲入ヲ以テ之ヲ支辨スルヲ得
 サルヘシ果シテ然ラハ之カ爲メ公債ヲ起スモ敢テ不可ナルコトナカルヘシ
 國歩進捗シ財政整頓スル國ニ於テハ一年度ノ終リニ於テ歲入出相平均スルヲ
 通例ト爲スト雖モ歲出ハ必スシモ歲入ヲ待テ起ルモノニアラス租稅ノ納期
 未タ至ラサルニ先チ歲出ノ已ムヲ得サルモノ起ルナキヲ保セス故ニ實際國庫
 ノ現在金ハ以テ歲出ヲ支辨スルニ足ラサルコトアルハ數ノ免ル、能ハサル所
 ナリ此ノ如キ場合ニ於テハ一時公債ヲ起シ之ヲ支辨シ後日ノ收入ヲ以テ之カ
 支辨ニ充ツルコトアリ之ヲ大藏省證券トス又財政十分ニ整頓スト雖モ凶荒ノ
 禍時疫ノ流行其他天變地殃ノ爲メ意外ノ費用ヲ要シ又ハ非常ニ歲入ノ高ナ減
 シ到底其年度ノ歲入ヲ以テ之ヲ償フ能ハス然レトモ未タ堂々正式ノ順序ヲ踏
 ミ確定公債ヲ起スヲ要セス兩三年若クハ四五年ヲ以テ之ヲ辨償スルヲ得ルノ

公債論

見込アルトキハ數年ニ渉ル大藏省證券ヲ發行シテ之ヲ支辨スルコトアリ是レ一時借入金モ以テ一年度内ノ不足ヲ支辨シ置キ同年度内ノ収入ヲ以テ之ヲ償却スルモノニアラスシテ一年度ノ不足ヲ後年度ニ於テ辨償スルモノナリ斯ノ如クニシテ國庫ノ短期公債ノ起ルハ實ニ已ムヲ得サルノ數ト云フヘシ貯蓄ハ國家ノ富強ヲ致スノ一大原因ナルヲ以テ力メテ之ヲ獎勵セサルヲ得ス而シテ之ヲ獎勵スルニハ保護ノ道ヲ盡サ、ルヲ得ス勿論民間ニ貯蓄銀行保險會社等ノ設ケアリテ貯蓄ノ獎勵殆ト餘ス所ナキカ如シト雖モ凡ソ民立ノ會社ハ自己ノ利益ヲ先ニシテ公益ヲ後ニセサルヲ得ス貯蓄預リ金ノ如キモ最少額ノ取扱ヲ爲スハ頗ル費用ヲ要シ其便利トスル所ニアラス然ルニ政府ハ元ト公衆ノ爲メニ事ヲ計ルモノニシテ計算上其利益ヲ計ルヲ以テ專務トスルモノニアラス只其レカ爲メ大ニ費用ヲ要シ民財ヲ過徴スルノ患ナク其所得費用ヲ償フニ足レハ公衆ノ爲メ貯蓄預リ金モ敢テ不便ナキヲ以テ民立會社ノ不利トスル最少額モ之ヲ取扱フヲ不利トセス且ツ又官立ノ貯蓄預リ金ハ萬一損失アレハ國庫ニ於テ之ヲ負擔シ損失ヲ貯蓄者ニ及ホサス隨テ貯蓄金ノ保護民立ノ會社ヨ

リ厚ク大ニ貯蓄金ヲシテ鞏固安全ナラシムルノ効力アリ加フルニ人民各其嗜好ヲ異ニシ民立ヲ好ム者アリ官立ヲ喜ブ者アルヲ以テ諸國ノ政府ニ於テ郵便局貯蓄預リ大藏省預金局預リ金養老預リ金等ノ制ヲ設ケ貯蓄ヲ鼓舞獎勵ス然レトモ一度政府ノ預ル所トナレハ預ケ人ハ隨時又ハ定期ニ之ヲ引出スノ權利ヲ得政府其引出ノ請求ニ應セサルヲ得ス故ニ是レ亦一種ノ公債タルヲ免レヌ殊ニ此類ノ公債ハ政府ノ意ヲ以テ其高キ左右スルコト能ハス只利子歩合ノ昇降ヲ以テ少シク之ヲ増減スルヲ得ヘント雖モ勿論民立ノ貯蓄銀行ハ競争ヲ惹起スカ如キ結果ヲ生セサル様之ヲ増減セサルヲ得サルヲ以テ其預ケ入ト引出トハ全ク公衆ノ意中ニアルモノナレハ公債中最モ危險ノモノナリトス鐵道會社汽船會社ノ如キハ只經濟上ノ便利ヲ計ルノミナラス又政治上兵事上ノ關係ヲ有シ少シク經濟上ノ不便ナキヲ得スト雖モ國家全體ノ爲メ忍ヒテ以テ之ヲ開カサルヲ得ス爲メニ十分ノ利益ヲ收ムルコト能ハス又ハ僅々タル資本不足ノ爲メ甲乙兩線ヲ聯絡スルヲ得ス大ニ其効力ヲ缺クノ場合ナキニアラス此ノ如キ場合ニ於テハ全體ノ利益ノ爲メ又ハ甲乙兩線ノ利益ノ爲メ以テ年

十
數ナ期ニテ補給ヲ約束スルコトアリ又ハ一時ニ補給金ヲ與フルヲ約束スルコトアリ約一度成リテ未タ之ヲ支拂ハサル間ハ政府支拂ノ義務ヲ終ラサルニ由リ會社ハ其期日ニ至リ支拂ヲ請求スルノ權利アリ而シテ政府ハ之ヲ支拂フノ義務アルモノニシテ恰モ是レ其丈ケノ債ヲ貸フト同一ノ効驗ヲ生スルモノトス勿論此等ノ費用ハ公債ノ部分ニ編入セス別ニ補給金ノ款ヲ設ケテ支出スルヲ得ヘント雖モ其素質タル公債ノ性質ヲ帶フルヤ又多辯ヲ要セサルナリ又兵亂騷擾等ノ爲メ非常ノ費用ヲ要スルヤ固ヨリ普通ノ歳入ヲ以テ之ヲ支拂フコト能ハサルヘク假令公債ヲ起スト雖モ其額大ニ増加スルニ於テハ進ミテ之ヲ募集セハ利子ノ爲メ歳入ノ大部分ヲ費サ、ルヲ得ス又此ノ如キ禍機ニ際會スレハ非常ノ高利ヲ以テスルノ外ハ之ヲ借入ル、コト能ハサルヲ以テ勢ヒ消却即チ支拂ヲ後年ニ期シ不換紙幣ヲ發行スルノ已ムヲ得サルコトアルヘシ然レトモ紙幣ハ自ラ價格ヲ有スルモノニアラス其之ヲ有スルハ信ヲ發行者ニ措クト其供給需要點内ニアルトニ由ルモノニシテ其性質タル後年ニ於テ都合次第成ルヘキ丈ケ早ク所有者ノ請求ニ隨ヒ之ニ對シ正貨ヲ支拂フヘシト約スル所

十

十一
ノ約束手形タルニ過キサレハ是レ國家負擔ノ一部分タラサルヲ得ス故ニ早晚之カ支拂ヲ爲サ、ルヲ得サルモノトス

第二章 公債私債ノ別

公債ノ起因ハ已ニ前章ニ於テ説ク所ノ如シ要スルニ豫算外不意ノ費用ヲ要スルカ若クハ歳入ヲ減スルカ又ハ兵亂騷擾ニ遭遇スルカ又ハ一年度若クハ數年度ノ通常収入ヲ以テ支辨シ能ハサルノ大事業ヲ企圖スルコトアリ私債ノ起因スル所亦公債ト其趣旨ヲ同クス唯大小ノ別アリ然リト雖モ一個人ト政府トハ其間自ラ差違ナキヲ得ス請フ詳ニ之ヲ論究セン

一個人ハ多少財産ヲ所有スルモノナルニ由リ不幸ニシテ豫算外ノ支出ヲ要シ又ハ収入ニ意外ノ減少ヲ來セシトキハ其所有ノ動産不動産ノ一部又ハ全部ヲ賣却シ其代價ヲ以テ費用ノ増加若クハ収入ノ減少ヲ辨償スルヲ得ヘシト雖モ政府ハ賣却スヘキノ財産ヲ有スルコト甚タ少ク或ハ土地家屋森林等ヲ所有スト雖モ是等ノモノハ自由ニ賣却スルコト能ハス又其所有ノ鑛山或ハ鐵道ヲ賣却シ或ハ之ヲ抵當トシ期限ノ間其収入ヲ債主ニ與ヘテ負債ヲ起スコトヲ得ルト雖モ是等ハ皆非常ノ所置ニ出ツルモノニシテ必スシモ其實却ノ政府ニ利益

アルナ期シ難シ又時トシテハ政府或會社若クハ一個人ニ特典ヲ與ヘ其報酬トシテ低利ニテ金員ヲ借入ル、コトアリ然レトモ是レ亦中央銀行ノ特約ニ出ツルカ如キ特別ノ事情アルニアラサレハ常ニ政治上經濟上其宜シキヲ得ルモノニアラサルナリ其他政府カ其減債基金又ハ準備中ニ其發行ニ係ル公債證書外國公債證書又ハ會社ノ株式ヲ有スルコトアレハ非常ノ時ニ際シ之ヲ賣却スルヲ得ヘシト雖モ是等ノモノハ已ニ其目的アリテ溢リニ之ヲ賣却スルヲ得ス假令之ヲ賣却シ得ルモ共高ハ得テ政府非常ノ費用ヲ支ユルカ如キ巨額ニ達スルヤ否ヤ豫メ之ヲ期スル能ハス而シテ一個人ノ財産ヲ賣却スルハ其高少キヲ以テ爲メニ價格ヲ害フコトナシト雖モ政府ノ賣却ハ必ス市場ヲ動かサスニ足リ殊ニ一個人ノ賣却ヲ要スルトキハ必スシモ國歩艱難信用紊亂スルノトキニ限ラスト雖モ政府カ非常ノ費用ヲ要シ其財産ノ賣却ヲ試ミルトキハ泰平無事ノトキタルコトヲ得ス必スヤ多少ノ困難ナキヲ得サルヲ以テ非常ノ低價ヲ以テスルニアラサル以上ハ之ヲ賣却スルヲ得ス果シテ然ラハ是レ非常ノ損失ナルヲ免レス斯ノ如キ場合ニ於テハ政府ハ必ス負債ヲ起サ、ルヲ得サルナリ又時ト

レテハ政府其準備ヲ現金ニテ所有スルコトアリ果シテ然ラハ非常ニ際會シ直ニ之ヲ使用スルコトヲ得ヘト雖モ方今現金ノ準備ヲ所有スルモノ甚タ少シ偶之ヲ所有スルモノアリト雖モ多クハ内外公債證券ニテ之ヲ所有セリ而シテ良シヤ現金ニテ之ヲ所有スルト云フト雖モ非常ノ需要ニ供給シ得ヘキノ巨額ヲ貯フルハ殆ト爲シ得サルノ業トス何トナルハ戰爭ノ如キハ一日百萬圓ヲ要スルコトアレハナリ故ニ假令現金ノ準備ヲ有スルモ只一時借入ノ期ヲ遷延スルヲ得ルノミニシテ到底借入ヲ爲サ、ルヲ得サルナリ

方今開明諸國中非常準備ヲ有スル者ハ只普魯西丁株等ノ數國アルノミ而シテ諸國ノ政府ナシテ屢、公債ヲ起サ、ルヲ得サラシムルモノハ準備ノ設ケナキニ由ルモノ蓋シ少シトセス然リト雖モ一個人ノ貯蓄ヲ爲スハ其費用ヲ節シ其職ヲ勵ミ收入ヲ増加シ以テ之ヲ爲スヲ得ヘト雖モ政府ノ經費ハ尙モ冗費ヲ沙汰スルノ外ハ非常ニ之ヲ減スルヲ得ス文武ノ事業ノ發達進歩ニ要用ナル丈ケハ之ヲ缺クヲ得ス而シテ收入ハ溢リニ之ヲ増加スル能ハサルカ故ニ一個人ノ場合ノ如ク大ニ經費ヲ減シ收入ヲ増加シ以テ準備ヲ積ムコト能ハサルナリ元

來公債ノ害ハ其元利支拂ノ爲メニ租稅ヲ増スニアリ尙モ此事ナクンハ公債亦有害ノモノニアラサルナリ無用ニ歳入ヲ増シテ準備ヲ積ムモ等シク重斂ヲ課セサルヲ得ス而シテ巨額ノ歳入殘餘ハ濫用ノ弊ヲ養生ス已ニ之アリテ尙ホ能ク謹慎ヲ以テ其財政ヲ處スルノ政府ハ古來未タ曾テ見サル所ノモノナリ尙モ歳入餘リアルノ好況ヲ得レハ其國幸ニシテ巨額ノ公債ヲ有セサレハ租稅中最モ有害ナルモノヲ全廢若クハ輕減シテ國民ノ負擔ヲ輕クシ農工百科ノ業ヲシテ發達伸暢セシムヘシ若シ又國家非常ノ好運ニ際シ輕斂ヲ以テ國庫ヲ充實シ大ニ餘裕アラハ之ヲ港灣改良道路開鑿等ニ用ヒ一般ノ進歩ヲ補助スヘシ然ラハ則チ物價平均若クハ低落シ減稅同様ノ効驗ヲ得ヘシ熟方今ノ實況ヲ觀察スルニ開明國中公債ヲ有セサルモノナシ又租稅ノ廢止輕減ヲ要セサルモノナシ故ニ歳入殘餘アレハ當時ノ實況ニ由リ或ハ公債ヲ消却シ或ハ租稅ノ廢止輕減ヲ計ルヘキナリ徒ラニ準備ノ増殖ヲ計リ民ノ負擔ヲ顧ミス負債ノ辨償ヲ計ラサルハ策ノ得タルモノニアラサルナリ

右ニ陳述スル所ヲ答言スレハ一個人ハ尙モ窮民又ハ非常ノ投機者ニアラサレ

ハ通例賣捌キ易キ財産ヲ所有スルヲ以テ金ヲ要スル毎ニ之ヲ借入ル、コトヲ要セス政府ハ斯ノ如キ財産ヲ所有セス又假令之ヲ所有スルモ強テ之ヲ賣却スレハ大ニ其價格ヲ低落セテ損失ヲ蒙ルヲ免レス又之ヲ賣却スト雖モ其額十分ナルコト能ハス故ニ金ヲ要スルトキハ必ス之ヲ借入レサルヲ得ス是レ則チ公債私債ノ間ニ差異アル所以ノ一ナリ

公債私債ノ起因ニ關シ其差異アルハ已ニ前陳スルカ如ク今又一步ヲ進メテ其償却ニ於テ兩者ノ間ニ難易アル所以ヲ説カシテ元來公債ノ償却ハ決シテ容易ノ業ニアラザルナリ通常ノ歳入ヲ以テ其償却ニ充テシカ通常ノ歳入ハ通常ノ費途ニ充テサルヲ得ス非常ノ節減ヲ用フルニアラスンハ償却ノ爲メニ餘剩ヲ得ルコト能ハサルヲ如何セン税額ヲ増セテ其償却ヲ爲サンカ民力ノ之ニ應スルナ期スル能ハサルヲ如何セン一個人ノ歳出ニ於テハ或ハ其居住ノ爲メニハ急ニ非常ノ節省ヲ行フ能ハサルノ事情アルヘシト雖モ其衣服飲食遊興ノ費途ニ於テ直ニ之ヲ節減スルコトヲ得ヘクシテ其節減ヲ行フ亦各自ノ意中ニアリテ存ス然リト雖モ政府ハ其費用ヲ節省スルコト甚ダ難シ今其費途ヲ分疏スルニ

政府ノ自在ニ節減ヲ行フ能ハサルモノ實ニ擲シテセス元來政府ノ費途ヲ大別シテ義務費官工官有財産ノ保存費文武通常事務費ノ三條トス其公債元利仕拂ノ如キハ國民ト政府トノ間自ラ條約ノ存スルアリテ妄ニ之ヲ減少スルコトヲ得ス官工官有財産ノ費用ノ如キハ已ニ成立ツ所ノモノ、保存山林ノ保護河川提防等ニ係ルヲ以テ亦其費用ヲ廢止スルコトヲ得サルモノ多シ事業ノ半成(道路築港準備ノ如キ)スルモノアレハ勢ヒ之ヲ廢棄ニ歸スルコト能ハス故ニ是等ノ場合ニ於テハ只新ニ起ス所ノ者ニ於テ節減ヲ加フルヲ得ルノミ通常事務費ニ於テモ陳腐指シ能ハサル政府ノ改革等ノ爲メ繁文ヲ除キ冗員ヲ沙汰スルカ如キ場合ノ外ハ大ニ之ヲ減スルコト能ハス一個人ノ驕奢ノ爲メニ用フル所ノ從者ヲ廢スルハ容易ナリト雖モ政府ニシテ其役員ノ半分或ハ三分ノ二ナリ時ニ減スルカ如キハ決シテ爲シ能ハサル所ニシテ現ニ忽チ事業上不都合ヲ生ゼン而シテ其廢官人員久シク道路ニ迷フハ決シテ免レサル所ナレハ政略上德義上社會上ニ影響スルコト亦少小ニアラス故ニ此點ニ於テ政府ハ急ニ其費用ヲ減少スルコト能ハサルヘシ或ハ云ハシ政府大ニ兵員ヲ減少シテ其費用ヲ節減

スルヲ得ヘシト然レトモ隣國ニ強國アレハ政界上決シテ之ヲ非常ニ減少スル
 コト能ハサルナリ故ニ國家ノ歳出ハ一個人ノモノ、如ク決シテ其意ヲ以テ之
 ナ減少スルコト能ハサルナリ隨テ政府ハ公債ノ元利仕拂ニ充ツルカ爲メ大ニ
 其費用ヲ節省スルコト能ハス新公債ノ起ル毎ニ税額ヲ増シテ之カ支辨ニ充テ
 サルヲ得サルヘシ政府ノ公債ヲ起ス實ニ輕々卒々ノ事ニアラサルナリ是レ公
 債私債ノ間ニ差異アル所以ノ二ナリ

政府ハ一個人ノ如クニ財産ヲ有セス又容易ニ其歳出ヲ減少スルコト能ハス新
 ニ負債ヲ起セハ必ス新稅ヲ課スルカ或ハ舊租稅ヲ増加スルカ二者ノ一ヲ採用
 セサルヲ得ス然ルニ政府ハ民心ヲ害ハス經濟ヲ亂サス人民歳入ノ幾分ヲ増稅
 或ハ新稅トシテ徵收スルヲ得ルヤチ豫定スル其難シ或ハ之カ爲メニ重賦ヲ
 賦課シテ大ニ人心ヲ失ヒ或ハ百般ノ營業發達ヲ障碍シ資本ノ輸出ヲ促ス等其
 結果大ニ恐ルヘキモノアリ一個人ノ負債ヲ起スニ於テハ其償却ノ爲メ特ニ事
 業ヲ勵ミ取人ヲ増シ他人ニ頼ラヌ自ラ之ヲ辨償スルヲ得ヘシ又前陳ノ政治ト
 經濟上ノ不便ヲ惹起スコトナシ政府ハ即チ然ラス經費ヲ節スル能ハスハ租

稅ニ據リ収入ヲ増サ、ルヲ得サルナリ是レ公債私債ノ間ニ差異アル所以ノ三
 ナリ

又一個人ノ貸借ニ於テハ負債主ハ身代限ノ處分ニ遭フニアラサレハ負債ニ付
 キテノ約束ハ一切之ヲ履行セサルヲ得ス然レトモ政府ハ自ラ其費用ヲ定メ自
 ラ税額ヲ定メ自ラ其負債償還力ノ多少ヲ定メテ以テ之ヲ施行スルコトヲ得若
 シ其條約ヲ實施シ能ハサルトキハ債主ノ意ニ逆フテ自ラ身代限ヲ爲シ負擔ノ
 一部ヲ支拂ヒ又ハ其全部ヲ取消スコトアリト雖モ事立法上ヨリ定マレハ債主
 ハ之ヲ訴フルノ裁判所ヲ有セス固ヨリ斯ノ如キハ方今ノ開明國ニ於テハアル
 ヘカラサルコトナリト雖モ往時ニ於テハ其例ニ乏シカラス又方今ト雖モ或國
 ニ於テハ其例ナシトセス然レトモ一個人ノ貸借ニ於テハ各故爲ノ身代限ヲ防
 クノ機關アリテ能ク債主ヲ保護ス是レ公債ト私債トノ間ニ差異アル所以ノ四
 ナリ

政府ハ永久ノ目的ヲ以テ設立セラル、モノニシテ其壽命決シテ一個人ノ如ク
 短期ナルモノニアラサルナリ故ニ負債ノ期限モ公債ニ於テハ私債ヨリモ永ク

公債論

其期限數十年ニ涉リ或ハ償還ノ期限ヲ定メス只財政ノ緩急ヲ計リ之ヲ償還セ
 毎年利子ノモヲ支拂フモノナリ英佛ノ如キ信用厚キ國ニ於テハ此類ノ公債最
 モ多シ是レ政府信用ノ厚キト公債證書ハ私債ノ證券ト全ク其性質ヲ異ニシ賣
 買授受ノ自在ナルモノナルニ由リ債主ニ於テ其元金ヲ要スルトキハ之ヲ賣却
 スルヲ得又代變リ等ノ時ニハ自由ニ之ヲ授受スルヲ得ルヲ以テ元金ノ償却ヲ
 得スト雖モ債主ニ於テ聊不便ヲ感スルコトナキヨ由ルモノナリ是レ公債私債
 ノ間ニ差異アル所以ノ五ナリ

又普通私債ニ於テハ呼價ト實際ノ借入高ト差違アルコトナリ債主ハ時トシテ
 ハ手數料又ハ禮金トシテ貸付高ノ一分ヲ領収スルコトナキニアラスト雖モ通
 例ハ其受取ル所ノモノ元利金ニ止マルナリ然リト雖モ公債ノ場合ニ於テハ呼
 價ト拂込高トノ間ニ差違アルコト多シ即チ實際ハ八十圓ヲ拂込ミ百圓ノ證券
 ナ受取り又ハ公債ノ需要多キ時ハ百圓ノ證券ヲ得ンカ爲メ百二三圓ヲ拂込ム
 コトアリ又故ラニ利子ヲ低クシ其不足ヲ償フカ爲メ利子ノ外ニ年金ヲ受取ル
 コトアリテ償還ノトキハ實際拂込ミ元金ヨリ或ハ多額ヲ受取ルコトアリ或

ハ少額ヲ得ルコトアリ斯ノ如ク公債ノ場合ニ於テハ表面ノ元利金ノ外ニ多額
 ナ受取ルコトアリ又拂込ミ元金ヨリ少額ヲ受取ルコトアレトモ斯ノ如キハ
 私債ノ場合ニ於テハ會テ見サル所ノモノナリ是レ即チ公債私債ノ間ニ差異アル
 所以ノ六ナリ

公債ト私債トノ間ニ差異アル概テ右ノ如シ而シテ公債ハ一度之ヲ起セハ其元
 利支拂ノ爲メニ人民ノ負擔ヲ増スハ數ノ免ル、能ハサル所ノモノナリ故ニ其
 募集ハ大ニ之ヲ慎ミ決シテ輕忽ニ附スヘキモノニアラサルナリ

第三章 公債ト非常準備トノ關係

前章ニ於テ政府非常準備ヲ所有スルニ於テハ瑣小ノ事件ノ爲メ公債ヲ起スル要ナク方今非常準備ノ設置ナキハ屬公債ノ起ル一原因タルヲ論セリ然レトモ非常準備ヲ置クハ歲入殘餘ニ依ラサルヲ得ス歲入殘餘ヲ得ルハ賦斂ヲ重クスルカ官有財産ヲ賣却スルカ又ハ外國ヨリ巨額ノ償金ヲ得ルカニアラサレハ之ヲ爲スヲ得ス然ルニ妄ニ賦斂ヲ重クスルハ固ヨリ不可ナリ官有財産亦妄ニ之ヲ賣却スヘカラス而シテ外國ヨリ償金ヲ得ル是レ亦期スヘキコトニアラサルナリ故ニ準備ヲ積ムノ業又難シト云フヘシ假令容易ニ之ヲ蓄積シ得ルモ又利害ノ相混淆スルモノアリ然レトモ之ヲ有セサレハ非常ノ時變ニ際シ政府ハ公債ヲ起シ之ニ應セサルヲ得サルハ最モ稅易キノ理ナルニ由リ往時公債ノ事業未タ發達セサルニ際シ賢明ノ君ハ皆之ヲ設置スルヲ力メタリ然ルニ開明ノ度進ムニ隨ヒ費用多端且ツ文物整頓ノ昔日ノ如ク國家ノ興廢存亡頻繁ナラス其基礎甚タ固キヲ以テ非常ニ際シ公債ヲ起スコト必スシモ難カラス是ニ於テヤ

歐洲各國漸次非常準備ヲ廢シ方今ニ於テハ普魯西丁抹等ノ之ヲ貯フルアリト雖モ其他ノ國ニ於テハ多クハ之ヲ貯ヘス豫テ財政ノ機關ヲ設ケ非常ノ費用ヲ要スルトキハ中央銀行銀ヨリ之ヲ借入ルハ通例トス而シテ其設置タル財政ト重大ノ關係ヲ有シ頗ル論究スヘキモノアリ今其利害得失ヲ談スル亦無用ノコトニアラサルヘシ請フ之ヲ論究セン

非常準備ノ設置タル昔日ニ於テハ甚タ多シアセンスノ政府ハペルシヤ戰爭(西曆紀元前四百九十年)トペロポニテサス戰爭(西曆紀元前四百四十六年)トノ間ニ一萬タレントヲ貯蓄セリ(二タレント)ハ凡ソ一千一圓ナリ羅馬ニ於テハ奴隸免役稅トシテ其價格ノ二十分ノ一ヲ課シ之ヲ非常準備トシ又外敵ヨリノ分捕物ハ之ヲ準備トシテ(サトルン)ノ殿堂ニ貯蓄セリ降リテ帝政ノ世ニ於テモオリグスタスタイベリヤスグエスメンヤン等皆非常準備ヲ貯蓄セリ佛國ノ諸王モ昔日ハ非常準備ヲ貯蓄シ之ヲ子孫ニ傳ヘリ普魯西ハ常ニ此準備ヲ貯フルコトヲ力メ今ニ至リテ尙ホ之ヲ爲ス彼ノフレデリック第二世ノ即位ニ當リテ普魯西ハ八百七十萬タローラ(二タローラ)ハ凡六十錢ニシテ此高ハフレデリックウイリ

ヤムノ貯フル所ナリノ準備ナ有セリ此高凡五百二十二萬圓ニ當リ當時普國ノ人口稍々三百萬乃至四百萬ニシテ殊ニ銀貨ノ貴重ナリシヲ思ヘハ殆ト方今佛國政府カ二億圓ノ準備ナ有スルニ同シ豈ニ巨額ト云ハサルナ得ヤフレアリ
 ヲキ第二世戦争ヲ好ミ費用大ニ加ハリ爲メニ此高ナ使用シ盡セシト雖モ末世尙ホ是レヨリモ巨額ナル準備ナ貯蓄セリ然レトモ當時末タ政府ノ財政ナ公ニスルノ時運ニ遭遇セサリシニ由リ此王ハ如何程ノ高ナ殘セシヤ其數ヲ詳ニスルコトヲ得スト雖モ歴史家ノ傳フル所ニ據レハ六千萬乃至七千萬「ターラ」ナリトス實ニ非常ノ巨額ト云フヘシ普魯西ハ常ニ此準備ナ貯蓄スルナカメ西曆千八百七十年ノ役ニ佛國ヨリ得シ價金十億圓ノ内三千萬圓ヲ此準備ニ繰込ミ一億三千二百萬圓ハ退役者扶助料トシ一億圓ハ砲臺建築其他兵備ノ爲メニ用フヘシト定メタリ此一億三千二百萬圓及一億圓即チ二億三千二百萬圓ハ一時ニ用フヘキモノニアラサレハ之ヲ帝國宰相ノ守管ニ屬シ銀行ニ預クルカ或ハ内外公債ヲ買入ル、コトニ決セリ元來斯ノ如キ巨額ナ一時ニ銀行ニ預ケ又ハ之ヲ以テ一時ニ公債證書ヲ買入ル、ハ財政上策ノ得タルモノニアラサルナリ何

トナレハ之カ爲メ或ハ銀行ニ一時不當ニ運轉資本ヲ増加シ割引歩合ヲ減シ隨テ投機心ヲ喚起シ或ハ急ニ公債證書ノ資格ヲ騰貴シ之カ投機買賣ヲ惹起スヘケレハナリ獨逸ニ於テ西曆千八百七十一年以來物價頻ニ騰貴シ同千八百七十三年ニ至リ一恐慌ヲ生セシハ決シテ偶然ニアラス抑又之カ原因ナキナ得サルナリ方今彼ノ二億三千二百萬圓ノ幾分ヲ所有スルヤ否ヤ之ヲ確定シ難シト雖モ西曆千八百七十六年中ノ調査ニ據レハ其存在高左ノ如シ
 負傷者扶助料ノ一億三千二百萬圓ノ中凡四千二百二十五萬圓ハ獨逸鐵道會社ノ株式ニテ之ヲ存シ兵備ノ爲メニ使用スヘキ一億圓ノ内凡二千三百四十萬圓ハ鐵道會社株式五百七十五萬圓ハ四分半利付ノ「ハッソリヤ」公債四百六十萬圓ハ五分利付北米合衆國公債十萬圓ハ英國公債四百四十萬圓ハ五分利付露國公債ニテ之ヲ存シ其高總テ凡八千萬圓ナリ由是觀之獨逸ハ五年間ニ一億五千餘萬圓ノ巨額ヲ無生産ノ業ニ費セシモノト云フヘシ果シテ然ラハ物價騰貴商業紛亂セサラント欲スト雖モ豈ニ得ヘケンヤ宜ヘナル哉西曆千八百七十三年ニ至リ一恐慌ヲ惹起シ非常ノ混亂ニ遭遇セシハ亦以テ怪ハニ足ラサルナリ加之獨

逸政府ハ此ノ如キ巨額ヲ以テ重々自國ノ公債證書及株式ヲ買入レシニ由リ之
 ナ賣出スニ至リ其下落ヲ贖シ西曆千八百七十三年以來其下落ノ爲メ頗ル損失
 ナ蒙レリ若シ獨逸政府カ先ツ償金ノ高ヲ定メ其内目下戰爭ノ費用ノ爲メ必要
 缺クヘカラサル高ヲ正金ニテ受取リ其他ハ定期拂ノ佛國公債證書ニテ之ヲ請
 取リシナレハ佛國モ之ヲ支拂フニ苦マヌ獨逸モ暫時ニシテ巨額ノ現金ヲ受取
 リ爲メニ市場ヲ紊亂セス永ク敵國ノ膏血ヲ吸フテ其兵備等ニ充ツルヲ得シナ
 ラシ西曆千八百七十年ノ役後獨逸政府若シ此方法ニ從ヒテ其財政ヲ處理セハ
 佛國ヲシテ敗軍ノ後大ニ勉勵力ヲ振起セシメス且ツ自國ノ財政ヲ亂スコトナ
 カリシナラン策茲ニ出テサリシハ頗ル財政上ノ明チ缺クモノト云フヘシ而シ
 テ強敵大敗ノ後急ニ再舉ノ患ナク獨逸ニ於テハ故ラニ兵備ヲ修ムルニ急ナラ
 ス徐々トシテ其歩ヲ進ムルモ敢テ之ヲ遲シトセス佛國ヨリ受取ル公債元利金
 ノ高ヲ定メ何年目ニ幾何ヲ得ルトノ豫算ハ最も容易ニ爲シ
 得ヘキコトナレハ砲臺建築負傷者手當等ニ於テ決シテ差支ユルコトナク且ツ
 竊寇ハ追ハストノ戒アリ獨逸政府重ク夫レ慎マサル其之ヲ追フコト急ナレハ

二

三

益敵國ノ人心ヲ結合シ窮鼠却テ猫ヲ嚙ムノ恐アリ西曆千八百七十年ノ役ビス
 マルク以爲ラク十億圓ノ巨額ヲ課シテ三年ニシテ之ヲ徵セハ佛國又立ツ能ハ
 スト何ソ知ラシ佛國ノ人心之カ爲メ大ニ激昂シ三年ニシテ此巨額ヲ支拂ヒ敢
 テ其財政ヲ過マルコトナク獨逸ハ却テ恐慌ノ禍ニ逢フ豈ニ奇ナラスヤ然リト
 雖モ是レ決シテ奇ニアラス何トナレハ佛國ハ此大難ニ逢ヒ固ク人心ヲ結ヒ誓
 ヒテ此耻ヲ雪クノ氣風ヲ養生シ獨逸ハ一時巨額ノ金員ヲ得其使用ヲ慎マサリ
 シニ由ルモノナリ獨逸ヲシテ前陳ノ如キ手段ヲ用ヒシメハ大ニ佛國ノ人心ヲ
 緩メ其結果ヲ異ニセシヤ敢テ疑ヲ容レサルナリ獨逸當時ノ處置ハ決シテ策ノ
 得タルモノト云フヲ得ス元來政府巨額ノ準備金ヲ有スレハ多少經濟上並ニ道
 徳上ノ不便ヲ免レサルナリ何トナレハ其所有ノ公債下落ノ徵アレハ之ヲ賣出
 サントスルハ人情ノ然ラシムル所ニシテ常ニ政府ヲシテ貨幣市場ニ意ヲ注カ
 シ其本分ニアラサル事業ニ從事セシムルコトナキヲ保セス加フルニ投機者
 流カ百方政府ノ鼻息ヲ窺フノ勢ナキヲ得サルナリ
 政府ヲシテ巨額ノ非常準備ヲ有スルノ弊害凡ソ斯ノ如シ然レトモ其事タルヤ

ノアリ請フ今一步ヲ進メテ詳ニ之ヲ論究セシ實ニ政府ノ勉ムヘキハ巨額ノ金
 員ヲ積ムニアラスシテ民ニ幸福ヲ與フルニアリ故ニ幸ニシテ歳入殘餘アレハ
 有害ノ租稅ヲ廢スヘク一般ノ租稅ヲ減スヘシ國ニ不換紙幣或ハ公債アレハ之
 ナ償却スヘシ或ハ起スヘキ有用ノ工事アレハ之ヲ起スヘシ恣ニ歳入ニ殘餘ヲ
 積ムナカムヘカラス若シ巨額ノ準備アレハ之ヲ無用ノ事業ニ用ヒテ大ニ一國
 ノ資本勞力ヲ徒費スルノ患アリ行政部ハ立法部ノ意ヲ輕シテ專斷ヲ試ミ或
 ハ小事ニ依リテ戰爭ヲ起シ又官吏ノ不正ヲ誘引スルノ恐ナシトセス然リト雖
 モ準備増殖ノ外他ニ變ニ應スルノ策ナキニ於テハ或ハ止ムヲ得サルヘシト雖
 モ存今開明ノ度大ニ進ムヤ突然不意ノ事變起ルコト稀レナリ且ツ文物ノ整頓
 スルヤ信用從ヒテ厚ク國隨テ富裕ナレハ事變ニ先チ負債ヲ起シ豫メ之ヲ備フ
 ルモ亦爲シ難キニアラス平日貨幣ノ制度ヲ固クスレハ事アルニ當リテ不換紙
 幣ヲ發行シ以テ天下ノ資本勞力ヲ借ルコト亦難キニアラス故ニ方今ニ於テハ
 昔時ノ如ク巨額ノ非常準備ヲ要セス然レトモ不幸ニシテ佛國ノ如キ地位ニ居

四

五

其北境敵ノ堅城鐵壁ヲ星列シ其敵巨額ノ軍用金ヲ有シ鷹眼ヲ怒ラシ虎牙ヲ
 磨キ以テ其虛ヲ窺ヒ費ニ乘スルノ勢アルニ於テハ公債募集不換紙幣發行ノ如
 キ國會ノ決ヲ經サルヲ得サルモノハ急劇ノ場合ニ際シ其用ヲ爲シ難シ良シヤ
 機ニ後ル、ニ至ラサルモ敵國ヨリ大ニ其舉動ニ注目セラル、ノ不便アレハ幾
 分ニ非常準備ヲ有セサルヘカラサルナリ而シテ其本分ノ支出ハ固シ之ヲ禁ス
 ルニ於テハ或ハ實地ノ便ヲ得シ論者或ハ云ハシ此準備ハ大ニ資本ヲ減少スル
 ノ勢アリト夫レ或ハ然ラン然リト雖モ其現金ニテ貯フルモノハ之ニ對シテ紙
 幣ヲ發行シ之ヲ合法紙幣トスレハ決シテ此不便ナカルヘシ而シテ此發行ハ現
 金在高ニ等シキモノナレハ決シテ通貨之カ爲メニ需要點ニ超過スルコトナク
 爲メニ貨幣市場ヲ紊亂スルコトナカルヘシ普魯西ノ如キハ此法ヲ用ヒ紙幣ヲ
 發行ス而シテ其紙幣ハ却テ打歩ヲ得ルノ勢アリ其公債證券ノ分ニハ利子ヲ生
 シ敢テ政府ニ損失ヲ贖スコトナシ今此準備ハ非常ニ備フルモノナレハ悉ク現
 金ニテ貯フルヲ好シトスト雖モ巨額ノ準備ハ必スシモ弊害ナキヲ保スヘカラ
 ス且ツ容易ニ殖益ヲ計ルヲ得ルノ道ヲ存シ尙ホ之ヲ爲サ、ルハ甚タ不經濟ナ

ルカ故ニ其幾分ヲ以テ公債證書等ノ如キ確實ナルモノヲ購入スルハ決メテ妨
ケナキナリ然レトモ其内國公債ヲ購入スルト外國公債ヲ購入スルトニ於テ自
ラ差違ナキヲ得ス請フ之ヲ陳述セシ

内國公債ヲ購入スレハ其資本ヲ輸出スルノ憂ナク又一國流動資本ヲ減少スル
ノ恐ナシト雖モ元來此準備タル非常ニ備フルモノナリ而シテ非常ノ時ニ當リ
テ當該國ノ公債下落スルハ最モ當然ノ事ナレハ此準備ヲ重ニ内國公債ニ放銀
スルハ策ノ得タルモノニアラサルナリ若シ之ヲ外國公債ニテ所有スレハ一時
其資本ヲ外國ニ輸出スルノ不便アリト雖モ此準備ニ充ツルノ金額ハ歳入殘餘
ヨリ生セシモノニシテ別ニ其費途アルノ金員ニアラサレハ一時之ヲ輸出スル
モ難シキ損害ト云フヲ得ス況ンヤ其償却ニ當リテ之ヲ復スルヲ得ルニ於テキ
ヤ其利子ハ政府歳入ノ中ニ編入スト雖モ内國債利子ノ如キ國民ノ拂フ所ノ稅
金ヨリ成ルニアラス全ク外國ヨリ得ル所ニシテ其利實ニ同日ノ論ニアラサル
ナリ而シテ亦非常ノ時ニ當リテ自國ノ公債ハ大ニ下落スト雖モ外國公債ハ其
本ニ戰鬪ヲ起シ敗北スヘシト思惟セラレタル敵國ノ者ニアラサルヨリハ此時

ニ際シテ下落スルノ理ナシ此等ノ利アレハ國不幸ニシテ非常準備ヲ置カサル
ヘカラサルノ位置ニ居ルニ於テハ其公債ノ部ハ宜シク外國公債ニテ之ヲ有ス
ヘキナリ其他株式或ハ爲換手形ニテ之ヲ有スルモ或ハ妨ケナカルヘシ然レト
モ第一ノ者ハ必スシモ確實ナルコト能ハス第二ノ者ハ或ハ確實ナルヲ得ヘク
且ツ賣却シ易キモノナリト雖モ政府之カ取扱ヲ爲セハ屢貨幣市場ニ立入り人
民ト競争スルノ嫌アレハ是等ノ者ヲ所有スルハ國家ノ長計ニアラサルナリ

第四章 公債ノ經濟上ニ及ス所ノ効驗

政府ハ一個人ヨリハ負債ヲ起スノ要多ク非常準備ヲ設置セハ少シク此不便ヲ免ル、ヲ得ヘシト雖モ其設置モ亦容易ノ業ニアラス而シテ之ヲ設置スト雖モ又多少ノ弊害ナキヲ得サルヲ以テ公債ハ時ニ或ハ之ヲ起サ、ルヲ得サルナリ然レトモ其之ヲ起スヤ必ス多少ノ變動ヲ貨幣市場ニ來シ國民ノ負擔ヲ増加スルハ數ノ免ル、能ハサル所ナリ故ニ公債ノ募集ハ決シテ之ヲ忽ニスルヲ得ス可嗚反覆之カ利害ヲ鑑ミ以テ之ヲ決セサルヲ得ス請フ詳ニ其國家經濟ニ及ス所ノ効驗ヲ論究セン

公債ハ時トシテハ人民ノ貯蓄心ヲ獎勵スルノ効驗アリ元來貯蓄ハ現在ノ快樂ヲ辭シテ未來ノ逸樂ニ備フルモノニシテ開明ノ度稍ク進歩シ人心未來ヲ思フノ念慮ヲ生セシ後ニアラスンハ得テ之ヲ望ムコト能ハス其之ヲ生セシ後ト雖モ貯蓄心ヲ獎勵スルハ利益割合ニ高クシテ危險少キ放銀方法ナカルヘカラス今公債證書ハ銀行ノ預リ金ノ如ク直ニ貨幣トスルノ便ナシト雖モ其確實ナル

八

コト銀行ノ預リ金ニ優リ其利子歩合ハ預リ金ヨリ高キヲ以テ通例トス而シテ貯蓄ハ通例目下不用ノ金ヲ以テ之ニ充ツルモノナルヲ以テ直ニ貨幣ト爲スヲ得スト雖モ非常ノ不便アルコトナク若シ又金員ヲ要スルコトアレハ之ヲ市ニ需クコト容易ナリ故ニ貯蓄ヲ處スルニハ公債證書ヲ購入スルヲ以テ最モ好シトス是レ實ニ最上ノ放銀方法ナリ若シ又公債ノ募集ニ際シ證書ノ額面ナ小ニシ拂込チ數回ニ分チ數ヶ月ニ涉リテ拂込チ爲サシムレハ節儉ヲ以テ貯蓄シタル小額ノ使用方法ニハ最モ便利ニシテ大ニ貯蓄ノ美風ヲ獎勵スルノ例也カラス佛國ノ債金チ普國ニ拂フニ際シ施行セシ公債募集方法、伊太利ノ富札付公債合衆國ノ十弗公債證書ノ賣出ノ如キハ實ニ此事ヲ證スルノ適例ト云フヘシ若シ一因不換紙幣ニ苦ミ之カ償却チ計ラントスルカ如キトキハ十圓證書發行ノ如キハ頗ル適當ナルモノナリ然レトモ平日此風俗ヲ獎勵センカ爲メニ十圓證書發行ノ如キチ企ツルハ實ニ損得相償ハサルヘシ貯蓄心ヲ獎勵スルハ宜シク身體財產ノ保護等ノ如キ他ノ方法ニ依ラサルヲ得ス前陳ノ如キハ斯ノ如キ利益アルヲ以テ公債起スヘシト云フニアラス只公債ノ起ルニ付キチ生スル所ノ

一效驗ヲ陳述スルニ過キサルトリ

今佛國ノ債金支拂ノ時ノ第一回募集即チ六億九千九百六十萬圓ノ公債募集ノ現況ニ就キテ之ヲ論セシニ實ニ驚クヘキ景況ヲ示セリ此公債ハ五分利付ニテ百フランニ一フランハ凡二十錢ノ額面ニ對シ八十四フラン五十サンチムニ一サンチムハ六フランノ百分ノ一凡我二厘ニ當ルヲ以テ募集價格ト先ツ保證拂トシテ十四フラン五十サンチムヲ拂込マシメ其後ハ三フラン五十サンチムニ一チ一度ノ拂トシ二十度ニテ全額ヲ拂込ムモノトセリ是ニ於テ公衆ハ業ヲ勵ミ生計上ニ節儉ヲ加ヘハ天晴政府ノ債主トナリ公債證書ノ所有者トナルヲ得ヘシト期望シ平常貯蓄銀行ノ低利ノ爲メニ貯蓄ヲ爲サハル者ト雖モ尙ホ之カ爲メニ誘導セラレ富民モ亦公債ノ募集ニ應スルノ容易ナルヲ知リ大ニ貯蓄心ヲ獎勵セリ元來慾望ハ人類ノ常情ニシテ未來ノ收支ヲ豫算スルニ當リ其出ツルモノヲ少クシ其入ルモノヲ多クスルハ最モ通例ノコトナリ故ニ前陳ノ如キ望アルニ於テハ此情益々激昂シ現在ノ有金コトヲ保證拂ヲ爲ス者多ク益々謹慎ヲ加ヘ費用ヲ節省スルハ最モ自然ノコトナリ右佛國ノ公債募集ノ時ニハ大ニ小賣

十

市場ニ影響セシト云フ

十一

斯ノ如ク公債ハ人民ニ浮金ノ使用ヲ示シ是レヨリシテ株式等ニ之ヲ使用スルノ端緒ヲ開キ一國資本ノ融通ヲ助クルノ方便トナルコト少カラズ世ニ利子割合ニ高ク危險少キ放銀方法ナクンハ貯蓄ヲ獎勵スルコト甚タ難シ今若シ民ニ巨萬ノ貯蓄アリト雖モ便利ニ之ヲ使用スル方法ナクンハ其貯蓄ハ徒ニ富民ノ倉庫中ニ埋没シ聊世ノ生産ヲ助クルコトナシ而シテ一般人民ハ會社ノ性質並ニ組織ヲ知ル者少ク十分ニ之ヲ信シテ其株式等ヲ購買スル者少カラス又一箇人ニ之ヲ貸付クルモ多少ノ危險ヲ免レス然ルニ方今開明諸國ニ於テ政府ヲ信スルハ會社ヲ信スルヨリ厚キハ一般ノ情況ナルニ由リ公債證書ハ會社ノ株式ヨリモ容易ニ賣買受授スルコトヲ得ヘシ實ニ公債證書ヲ以テ人民ニ其浮金ヲ利用スルコトヲ知ラシムレハ是ヨリシテ公債證書外ノ使用法ニ誘導スルノ效驗アルヤ疑ナ容レス又之ヲ實際ニ質スニ疑フ能ハサルノ事跡アリ故ニ公債ハ他ノ有用ナル浮金使用法ノ誘導者ト云フト雖モ敢テ妨ケナカルヘシ今オーストリアノ佛國會計組織ヲ見ルニ西曆千八百三十年佛國五分利付ノ公債證書ハ

二千五百三十五萬七千三百九十四圓五十錢ニシテ其證書ノ所有者ハ十萬八千四百九十三人ナリシ三分利付ノ者七百八十七萬五千二百九圓ニシテ其所有者ハ一萬六千五百三十五人ナリシ故ニ公債證書所有者ノ總數十二萬五千餘人ナルカ如シト雖モ右ノ内ニハ必ス一人ニテ兩種ヲ合セ所有スルモノアルヘキヲ以テ重複ヲ差引ケハ所有者ノ數ハ遙ニ十二萬五千人ニ及ハサルヘシ

當時公債額面僅少ナリシカ故ニ斯ノ如ク證書所有者ノ數キハ深ク怪ムニ足ラスト雖モ其所有者ノ性質如何ヲ見ルニ大ニ方今ノ景況ト異ナルモノアリ今此公債ニ付キテ小額ノ證書ヲ所有スル者多カリシヤ又ハ多額ヲ有スル者多カリシヤヲ見ルニ多額ヲ有スル者却テ多シ三分利付ノ者ノ統計ハ不幸ニシテ之ヲ得ス故ニ唯五分利付ノ者ヲ以テ之ヲ見ルニ十圓以下ノ利子ヲ生スル公債證書ヲ有スル者ハ總所有者十萬八千餘人中僅ニ八千人ニ過キス實ニ是レ總所有者ノ十三分ノ一ニ達セサルノ少數ナリ右ノ外各地方ニテ元利ノ支拂ヲ爲セル百四十萬圓ノ公債アリ(前記ノ者ハ巴里ニテ支拂ヲ爲スモノナリ)此高ノ内譯ハ之ヲ詳悉スルヲ得スト雖モ其口數ハ一萬二千ナルニ由リ假リニ其半分ヲ十圓以

下ノ利子ヲ生スルモノトシ一人毎ニ一口宛之ヲ所有スルモノト見做スモ此類ノ小額ノ公債證書所有者ハ六千人ニシテ之ヲ前ノ八千ニ加フト雖モ僅ニ一萬四千人ニ過キサレハ小額ノ公債證書ヲ所有スル者ハ實ニ小數ニ位ス由是觀之小民ノ公債證書ヲ購入スル者ハ當時ニアリテ甚タ僅少ナリト云フヘシ然ルニ西曆千八百五十四年以來ノ實況ヲ見ルニ全ク反對ノ影響ヲ示ス該年三月ノ五千萬圓ノ公債募集ニ應スル者九萬九千二百二十四人其内六萬百四十二人ノ應募額ハ十圓以下ノ利子ヲ生スル小額ニシテ其元金九百七十七萬二千三百圓一人ノ申込高平均凡百六十圓ニ達セリ又同年十二月ノ一億圓ノ公債ニ應スル者十八萬四百八十人内十七萬八百二十人ハ百圓ノ利子ヲ得ル丈ケノ小額ノ應募者ニシテ殆ト政府需要高ノ全額ニ應セリ西曆千八百五十五年七月ノ一億五千二百萬圓ノ公債ニ應スル者三十一萬六千九百七十六人内二十二萬三千二百六十二人ハ十圓以下ノ利子ヲ得ル小額ノ應募者ニシテ其元金四千六百四十萬圓即チ殆ト政府ノ需要高ノ三分ノ一ニ達セリ西曆千八百五十九年ノ一億四百萬圓ノ公債ニ應スル者六十九萬二千三百三十人内五十三萬八千九百九十三人ハ僅々二圓

ノ利子ヲ生スル小額ノ應募者ニシテ其元金二千四百四十萬圓ニ達シ西曆千八百六十四年ノ六千三百萬圓ノ公債ニ應スル者五十四萬一千九百三人内四十萬一千八百五十九人ハ一圓二十錢ノ利子ヲ生スル小額ノ應募者ニシテ西曆千八百六十八年ノ九千萬圓ノ公債ニ應スル者八十三萬二千七百九十八人内六十七萬二千九十三人ハ一圓ノ利子ヲ生スル小額ノ應募者ニシテ其元金千五百五十餘萬圓ニ上レリ西曆千八百七十二年ノ六億餘萬圓ノ公債ニ應スル者ハ九十三萬四千二百七十六人ナリト云フ其内小額應募者ノ數蓋シ僅少ニアラサルヘシト雖モ未タ其數ヲ得ス由是觀之方今細民ノ公債ヲ所有スル者ノ數大ニ増加ヤシヤ敢テ疑ヲ容ル、能ハサルナリ實ニ是レ細民中ニ貯蓄者ヲ増加セシノ證據ニシテ國家ノ幸福ト云フヘシ然レトモ右ニ掲グル所ノ數ヲ以テ直ニ細民中ノ公債證書所持人ノ數ト爲スヘカラス何トナレハ多數ノ小額應募者中一人ニシテ數種ノ公債證書ヲ所有シ合シテ數千圓ノ公債證書ヲ所有スル者ナキヲ保セス又富民ニシテ小額ノ公債證書ヲ所有スル者ナキヲ保セサレハナリ西曆千八百七十七年頃佛國ノ公債證書所有者ノ數ハ百二十四萬九千七百七十一人ニシ

テ英國ニテハ西曆千八百七十六年一月五日ノ調査ニ據レハ其三分利付永遠公債證書ノ所有者僅ニ十萬八千三百九十二人ナリト云フ是レ英國ハ富民多クシテ一人ニシテ巨額ヲ所有スルニ由ルナルヘシ今我國ノ景況ヲ見ルニ公債證書所有者中小額ノ利子ヲ受取ル者甚タ少ク募集ノ時ニモ小額ノ應募者意外ニ少シ是レ細民中公債ノ放銀ニ便ナルヲ知ラサルニ出ツルモノニシテ畢竟我國民ハ其貯蓄ヲ鞏固安全ニシ割合ニ高利ヲ生スル公債證書ヲ利用スルコト佛國人民ニ及ハサルモノト云フヘシ今明治二十一年五月六月ニ於テ日本銀行カ各公債利子ノ爲メニ支拂ヒタル金高二百八十六萬一千二百九十八圓八十錢内五圓以下ノ利金支拂高僅ニ八千五百一圓九十錢利子受取ノ總人員一萬五千二百九十三人内五圓以下ノ利子ヲ受取リタル者三千三百五十二人明治二十年十二月舊公債賦金ヲ支拂フタル高十二萬三千三百九十一圓五十錢内五圓以下僅ニ百五十八圓五十錢(賦金ハ一年ニ一度支拂フモノニシテ利子ハ二期ニ支拂フモノナレハ半期分ノ利金五圓ハ年十圓ナリ今賦金五圓以上十圓未滿ノ者ヲ以テ之ヲ算出セハ少シク右ノ數ヲ増加スヘシ)賦金受取ノ總人員三百二十七人内五圓

放銀ノ器具トシテ民間ニ行ハル、ハ僅ニ維新以來ニアリテ年未タ久シカラズ
 彼ニ於テハ古來之ヲ使用セシニ由ルナリ、曩ニ整理公債條例ノ發セラル、ヤ應
 募ノ高政府需要高ヨリ多キトキ同價格ノモノハ平等ニ減少スルモノナリシト
 雖モ明治二十一年六月政府ハ條例ヲ増補シ時宜ニ據リ同價格ノモノニ對シテ
 ハ二百圓以下ノ者ニ減少ヲ加ヘサルモノトセラレタルヲ以テ今後ノ募集ニハ
 一層細民ノ便利ヲ増スヤ敢テ疑ヲ容レサルナリ
 公債ハ右ニ説ク所ノ利益アリト雖モ政府屬巨額ノ公債ヲ募集セハ國中ノ富ヲ
 集メテ之ヲ首府或ハ一地方ニ致スノ弊害ナキヲ得ス果シテ然ラハ諸方ニ散
 テ地方ノ生産ヲ補助スルノ資本ヲ減シ富ノ平均ヲ失ヒ一國ノ生産力ヲ減殺ス
 ルノ弊ナキヲ得ス若シ公債募集金ニシテ不急ノ業ニ使用セラル、ニ於テハ其
 害更ニ大ナリト云フヘシ然リト雖モ是レ公債ノ募集ヲ謹マス其使用法ヲ誤ル
 ニ由ルモノニシテ偶、公債ヲ募集シテ不急ノ土木ヲ起シ不要ノ兵ヲ起ス等ノ事
 アリテ資本ヲ浪費セシノ成績アルヲ以テ直ニ公債ハ嫌惡スヘキモノナリト云
 フヘカラサルナリ凡ソ天下ノ事物利害相稱合セサルハナシ公債ハ人民ニ便利

ナル洋金ノ私用法ヲ示シ之ヨリシテ諸株式等ニ入金セシムルノ道ヲ開クコト
 ナ得ヘシ只妄ニ屢巨額ノ公債ヲ起セハ假令有用ナル事ニ之ヲ使用スト雖モ富
 ノ配當其宜シキヲ失ヒ爲メニ地方ノ事業ヲ減殺シ國力ヲ減少スルノ弊アルヲ
 免レス豈ニ慎マサルヘケンヤ今白耳義ノ如キ公債ノ募集ヲ屢セサル國ト佛國
 ノ如キ屢、公債ヲ募集スル國トナ比較スルニ公債ヲ起スコト少キ國ニ於テハ富
 ノ配當其宜シキヲ得地方ノ事務ニ見ルヘキモノアリ然レトモ之ヲ起スコト大
 ナルモノハ富一方ニ偏集シ地方ノ不振ヲ致スヘク地方振ハサレハ何ヲ以テカ
 國力ヲ増進スルヲ得ンヤ屢巨額ノ公債ヲ募集セハ其元利支拂ノ爲メ賦斂ヲ重
 シセサルヲ得ス其害延キテ後世ニ及フヘシ假令之ヲ有用ノ事業ニ用フルモ尙
 *此元利支拂ノ要アリ況ヤ之ヲ不急ノ事業若クハ不成効ノ事業ニ盡スルニ
 於テヤ國家ノ損失ヲ來ス固ヨリ論ヲ俟タサルナリ然ルニ又一方ヨリ論スレ
 ハ公債ハ國中ノ富ヲ一地方ニ吸收スルノ勢アルヲ免レスト雖モ地方ノ農工商
 其用ヲ缺キテ以テ公債ノ募集ニ應シ又ハ證書ノ購買ヲ爲スモノニアラス彼等
 ノ之ヲ爲スハ畢竟其事便且ツ利ニシテ事業ニ從事スルノ便利ニ勝ルモノアル

公債論

ニ由ル故ニ公債募集ハ決シテ經濟ヲ混亂スルモノト云フヲ得ス公債ニ放下スルノ金額ハ事業上ニ適用スル分ヨリ來ラス全ク純然タル貯蓄ヨリ來ル者ナレハ公債ノ募集ハ決シテ一國生産ニ影響スルコトナレ且ツ公債證書ハ之ヲ賣却スルコト容易ナレハ一時ノ遊金ニテ之ヲ購入シ置クモ決シテ妨ナレ又急ニ賣却シ難キトキハ之ヲ抵當トシテ金員ヲ借用スルハ容易ナリ故ニ公債ハ人民ヲシテ其貯蓄金ヲ死物ト爲スノ欺ヲ免レシメ以テ大ニ貯蓄心ヲ獎勵スルノ効アリト云フヲ得ヘシ是レ固ヨリ理ナキコト雖モ公債ハ其元利支拂ノ爲メ人民ノ負擔ヲ増加シ其取扱ノ爲メ官衙ノ費用ヲ増サ、ルヲ得ス公債ニ放下スル所ノ金員ハ若シ公債ナケレハ株券等ノ購買ニ使用セラレ實業ヲ補助スヘク假令株券等ノ購買ニ使用セラレスト雖モ銀行ノ預リ金トナリ割引貸付ニ使用セラレ間接ニ事業ノ發達ヲ助クルヲ得ヘシ屬、公債ヲ起セハ勢銀行ノ預リ金ヲ減少セサルヲ得ス隨テ營業上ノ流動資本ヲ減少スルハ數ノ免ル、能ハサル所ナリ果シテ然ラハ公債ハ農工商ノ業ヲ應援スルノ資本ヲ減少シ以テ利子ヲ高クシ生産費ヲ増加シ營業ノ利益ヲ減少スルヤ敢テ疑ヲ容レサルナリ而シテ屬、巨

額ノ公債ヲ起サハ一個人若シハ會社ニシテ大業ヲ企ツルコト殆ト雖モ元來民業ノ發達ヲ妨クルハ直接間接ニ弊害ノ及フ所甚ク大ナリトス公債ハ動モスレハ獎勵スヘキノ事業ヲ障害シ流動資本ヲ減少シ資本ノ配當ヲ紊亂ス抑流動資本ナル者ハ一度之ヲ用フレハ其形ヲ存セス斷ヘス其使用ヨリシテ生スル所ノモノヲ以テ之ヲ入レ替ヘサルヲ得ス不動資本ハ大ニ之ト異ナリ其用ヒ久シキニ堪ヘ其動キハ流動資本ヲ以テ助ケラレサルヲ得サルナリ然ルニ公債起ルト雖モ器具器械等ヲ毀ツヲ得ス不動資本ハ公債募集ノ前後ニ於テ敢テ増減ヲ生セス然ルニ民間ノ貯蓄金ハ公債募集ノ爲メニ銀行ニ入ルモノヲ減シ出ツルモノヲ増ス茲ニ於テ銀行ハ其資力ヲ減シ大ニ貸付割引ノ高ヲ減セサルヲ得ス不動資本ニ對シ流動資本ノ高ヲ減シ彼是權衡ヲ失フハ決シテ免ル、能ハサル所ノ數ナリ輒近佛國ニ於テ十億餘萬圓ノ公債ヲ起スニ際シ三四ヶ年ノ間ハ佛國人民ノ貯蓄盡ク公債證書購入ノ爲メニ使用セラレシト云フト雖モ敢テ謬言ニアラサルナリ

今統計ニ就キテ西曆千八百六十九年ヨリ同千八百七十三年マテノ實況ヲ見ル

ニ佛國地方人民ノ公債證書賣買ノ景況左ノ如ク
 次ノ表ハ記載ノ各年中上九ヶ月間各地ニ於テ人民ノ賣買シタル公債ノ元金
 並ニ其利子額ヲ表出スルモノナリ

西曆年次	買入公債價格	同上利子	賣却公債價格	同上利子
一八六九三〇、三四七、三〇〇、四〇	八五九、八八四、一〇	一〇、五〇九、五一四、〇〇	四四四、五二〇、二〇	
一八七〇三二、五五二、二四二、〇〇	九七二、六四三、二〇	一〇、一〇四、三六七、六〇	四三五、七三九、六〇	
一八七二二八、五〇四、五六三、二〇	一〇、四二四、〇〇〇	八四二、〇〇三、二〇	四七二、〇九〇、〇〇	
一八七二六四、七七二、五八三、八〇	三、四七五、七〇七、六〇	六、二一三、八五八、四〇	三二六、一五七、八〇	
一八七三六七、二七〇、〇〇〇、〇〇	四、八五四、一八、八〇	七、四五七、八〇〇、〇〇	六三八、〇四八、〇〇	

右ノ表中記載ノ計數ニ付キテハ大ニ見ルヘキモノアリ西曆千八百六十九年
 財政平穩ノ年ニシテ政府公債ヲ起スノ舉ナク地方ニ於テ公債證書購入ノ爲メ
 ニ費セシ資本高其賣却ノ爲メニ受取リシ高ニ超過スルコト凡一千萬圓ニ止マ
 レリ然ルニ西曆千八百七十三年ニ於テハ一月ヨリ九月マテニ買入超過高殆ト

八千萬圓ニ達セリ然レトモ此表ニ掲載スルモノハ只總收納官ノ手ヲ經シモノ
 ハ、ミニシテ銀行ノ手ヲ經シモノヲ含有セサルヲ以テ實際ノ買入高ハ大ニ此高
 ナリ超過スルモノト知ルヘシ實ニ西曆千八百七十一年同千八百七十二年同千八
 百七十三年ハ勿論同千八百七十四年ニ於テモ佛國人民貯蓄ノ大部分ハ公債證
 書購入ノ爲メニ使用セラレシト云フト雖モ敢テ妨ケナカルヘシ(大ナル銀行初
 メ政府ヨリ公債證書ヲ購入シ後善キ價ヲ求メテ之ヲ市場ヘ賣出セシカ故ニ西
 曆千八百七十四年ニ至リシナリ)是レ實ニ戰爭後巨大ノ公債ヲ起セシノ結果ナ
 リ斯ノ如ク貯蓄ヲ公債證書購入ノ爲メニ使用セハ必ス株式等ノ價格ニ變動ヲ
 來サ、ルヲ得ス眞理ノアル所實地必ス其効ヲ顯ハス請フ今西曆千八百六十九
 年ヨリ同千八百七十三年マテノ實況ニ據リテ公債證書並ニ他ノ動産ノ價格ニ
 如何ナル變動ヲ生セシヤヲ示サン

次ノ表ハ西曆千八百六十九年ヨリ同千八百七十三年マテノ間ニ於テ有名ナ
 ル鐵道會社負債證券ト諸公債證書トノ價格ノ變動ヲ示スモノナリ

證券ノ	相場
公債ハニモルガン	價ヲ除キ百フラン立
負債證券ハ五百フラン立	

種類	西曆一八六九	西曆一八七〇	西曆一八七一	西曆一八七二	西曆一八七三
三分利付	七二、五七五	五二、二五〇	五七、六二五	五三、〇七五	五七、三七五
四分半同	一〇一、一二五		八四、五〇〇	七五、七五〇	八二、〇〇〇
五分同	一〇一、〇〇〇		九三、二七五	八一、五〇〇	九二、四五〇
六分同 <small>モルガ</small>			四九八、〇〇〇	四九八、〇〇〇	五〇五、六二五
鐵道會社債					
債證券					
東部	三三五、五〇〇	二七〇、〇〇〇	二九六、七五〇	二七一、八七五	二六九、八七五
巴里リナン	三三一、〇〇〇	二八五、〇〇〇	二九八、七五〇	二七五、三七五	二六六、五〇〇
地中海	三二七、六二五	二八二、五〇〇	二九九、七五〇	二七三、五五〇	二七一、五〇〇
中部	三三九、一二五	三〇〇、〇〇〇	三〇六、八七五	二八九、八七五	二七九、八七五
北部	三三八、〇〇〇	二八九、三二五	三〇五、〇〇〇	二七七、〇〇〇	二七六、〇〇〇
ナルレアン	三三九、五〇〇	二九二、五〇〇	二九六、一二五	二七三、〇〇〇	二七〇、六二五
西部					

由是觀之西曆千八百七十年以來公債ノ價格ハ先ツ之ヲ上向キト云フヲ得ヘク
 他ノ負債株券ノ價格ハ頗ル下落ニ傾向セリ是レ此三四年間佛國人民ノ貯蓄公

債ニ馳スルノ多キヲ證スルモノナリ巨額ノ公債募集ハ資本ノ配當ヲ紊亂シ實
 地斯ノ如キノ景況ヲ示スハ蓋シ數ノ免ル、能ハサル所ノモノナリ果シテ然ラ
 ハ事業ノ發達ヲ妨害スルヤ敢テ疑ヲ容ル、能ハサルナリ然リ而シテ公債ノ効
 用果シテ其不便ヲ償補スルヤナ討スルニ決シテ理論ヲ以テ之ヲ論定スル能ハ
 サル所ノモノアリ其償補スルトセサルトハ其募集金員ノ使用如何ニアルノミ
 元來公債ハ一國營業資本ノ減縮ヲ來スハ已ニ論究セザル所ノ如シト雖モ未タ遽
 ニ公債募集ハ其募集高丈ケ營業資本ヲ減少スト云フヲ得ス何トナレハ第一ニ
 ハ公債募集ハ幾分カ貯蓄心ヲ獎勵スルノ効驗アリ第二ニハ從來倉庫中ニ在リ
 テ世ノ營業ニ使用セラレサル金員ト雖モ公債募集ノ爲メニ幾分カ世上ニ流出
 スルコトアリ第三ニハ外國人ノ募集ニ應スル者少カラサルハ實地疑フヘカラ
 サル所ノモノナレハナリ就中外國人ノ募集ニ應スルハ時トシテ非常ノ巨額ニ
 達シ國家經濟上重要ノ關係ヲ來スモノナリ而シテ又外債ノ事ニ付キテハ世上
 非常ノ誤謬ヲ傳フル者アルヲ免レス之ヲ論究ヲ試ミルハ敢テ無用ノ業ニアラ
 サルヘン附テ詳ニ其利害ヲ論セン

公債論

外人ノ公債募集ニ應スルヲ好マサル者古今稀レナリトセス彼ノコンドセ氏ノ如キ即チ其一ナリ同氏ハ外人ノ募集ニ應スルコトアレハ利子ヲ外人ニ拂ハサルヲ得サルヲ以テ大ニ之ヲ嫌惡セリ然レトモ是レ只其一斑ヲ論シ未タ全豹ノ如何ヲ知ラザルノ説ノミ而シテ彼等ハ漫ニ土耳其埃及等ノ例ヲ引キ外債ハ外國ノ干涉ヲ受クルノ端緒ヲ開クモノナレハ大ニ恐ルヘシトス是レ又其干涉ノ起因スル所ヲ知ラサルニ坐スルモノナリ彼等ノ干涉ヲ受クルハ外債ノ元利ヲ支拂ハサルニ由ルナリ定約ノ元利ヲ支拂ハサレハ内債ト雖モ信ヲ民ニ失ヒ國家ノ禍ヲ釀スヲ免レス何ソ債ノ内外ヲ選フノ暇アラザラヤ信ヲ内外ノ民ニ失フハ等シク恐ルヘシト雖モ之ヲ國民ニ失フハ其禍之ヲ外人ニ失フヨリ却テ大ナリ何トナレハ治下ノ臣民信ヲ政府ニ措カサルハ是レ亡國ノ端ナレハナリ其元利支拂ノ確實ナルニ於テハ債主國ニ於テ大ニ信用ヲ増スノ効驗アリ現ニ我カ七分外債ノ如キハ倫敦市場ニ於テ一割八分乃至二割ノ打歩ヲ得而シテ内國市場ニ於テハ七分公債値ニ五分乃至六分ノ打歩ヲ得ルニ過キス其外國ニ於テ信用アル斯ノ如シ而シテ此等ノ外債ナクシテハ祿制ノ改革、鐵道ノ敷設何ヲ以テカ

之ヲ爲スヲ得ン北米合衆國印度濠洲等ノ富源ノ發達英國ノ資本ヲ借入ル、ニアラスンハ何ヲ以テカ其隆盛ヲ見ルヲ得ン元來外ヨリ干涉ヲ受クルモノハ内空隙ノ侵スヘキモノアルニ因ル乘スヘキノ空虚ナクシテ何ヲ以テカ禍害ノ之ヲ侵スヲ得ンヤ論者少シク茲ニ注意スル所アラハ迷雲忽チ晴レテ皎々ノ光ヲ見ルヲ得ン勿論外國ヨリ金員ヲ借入ルレハ之カ元利ヲ外人ニ仕拂ハサルヲ得ス然リト雖モ苟モ此借入金ヲ無用ノ費途ニ蕩盡スルニアラサレハ其元利ハ之ヨリ起ル所ノ直接間接ノ利益ヲ以テ仕拂フコトヲ得ヘシ抑資本増殖ノ困難ナル固ヨリ論ヲ俟タス之ヲ外國ヨリ得ルハ決シテ嫌惡スヘキモノニアラサルナリ勿論借金ヲ無用ニ消費スルハ内國債ト雖モ決シテ好事ニアラス殊ニ外債ニ於テハ其害最モ大ナリ然レトモ得難キ資本ヲ外國ヨリ得其利益ヲ以テ元利ヲ拂ヒ盡シ後此借入金ヲ以テ起セン所ノ事業ノ便益ヲ全收スルヲ得ハ誰カ之ヲ惡シ、トスルヲ得ンヤ凡ソ借金ニシテ此結果ヲ得サルモノハ皆不可ナリ焉ソ國ノ内外ヲ論スルニ暇アラザラヤ

政府ノ債ヲ起スモノヲ別チテ二種トス其一ハ財政整頓シ負債ノ償還ニ於テ聊

疑ナ容ル、コト能ハサルモノ其二ハ施政ノ順序ヲ失ヒ財政大ニ亂ル、モノ是ナリ

第一種ノ國ハ内外ニ於テ信用厚ク容易ニ負債ヲ起スコトヲ得ヘシト雖モ第二種ノ國ハ則チ然ラス信ヲ内外ニ失シ内國ニ於テ殆ト之ニ貸付クルモノナク只時トシテ外國資本家或ハ其情ヲ知ラサル者或ハ一二ノ冒險者高利ニ誘導セラレテ之ニ貸付クルコトアルノミ土耳其チユリニス埃及セル等ノ如キハ即チ第二種ノ種類ニ属ス此等ノ國ニ於テハ内國人民ヨリ借入ヲ爲スコト能ハス只外國資本家中ノ冒險者ヨリ非常ノ高利ヲ以テ僅ニ之ヲ爲スコトヲ得ルノミ西曆千八百七十三年ノ土耳其ノ公債、如キハコンスタンチノーブルノ豪商等ハ殆ト之ニ關セス之ニ關セシモノハ和蘭及英國資本家中冒險者ニ過キサリシ之ニ反シテ財政整頓セル國ハ其信用内外ニ厚ク其公債ハ重ニ内國ニ於テ募集セララレトモ方今巨額ノ公債募集ニ際シ其全額内國ニ於テ募集セララレ、モノハ殆ト稀ナリ又國富ノ増進セル國ニ於テハ外國人ノ買入レシ公債證書モ漸次ニ其國ニ歸ルノ傾向アリ何トナレハ一國政治ノ美ハ其國人外國人ヨリモ能

ク之ヲ了知シ資本家ハ他國ノ公債證書其他ノ動産ヨリモ自國ノ公債ヲ便トスルノ勢アレハナリ即チ佛國ノ如キ屢屢擾革命等ノ亂アルコトモ拘ハラヌ佛國人民政府ニ信用ヲ置クコト甚タ篤ク(財政上)他國資本家及一般外人ノ其貯蓄ヲ佛國公債ニ使用スルコト佛國人民ノ如ク多キヲ得ス西曆千八百七十年ノ敗軍後佛國ノ公債募集ノ如キハ外人モ大ニ之ニ應セシト雖モ其應募ノ目的タル一時投機ノ爲メニスル者多ク真正ナル貯蓄ノ爲メニ之ヲ爲ス者甚タ少ク爾後數年ヲ出テスシテ佛國公債證書漸次本國ニ歸ルノ傾向ヲ示セル伊國ノ實況亦同シ元來伊太利ノ建國ハ數回ノ戰爭ヲ要シ其初メ制度文物ヲ整頓スルニモ亦費用ヲ要スル頗ル多ク爲メニ巨額ノ公債ヲ募集セリ其初メ凡十ヶ年間伊國公債全額ノ凡三分ノ二ハ外人ノ手ニアリシト雖モ西曆千八百七十七年ニ至リ其外人ノ手ニアルモノ僅ニ四分ノ一若クハ五分ノ一ニ過キヌ西曆千八百八十四年ニ於テハ伊國公債ノ利子ニシテ外國ニ於テ支拂ハレタルモノ二千八百二萬餘圓内國ニ於テ支拂ハレタルモノ一億二千六百二十一萬餘圓トナレリ米國ノ景況亦能ク此事ヲ示ス北米合衆國ハ西曆千八百七十一年ニ於テハ額面八億乃至十

億圓ノ公債證書ヲ外人ノ手ニ有セラレ爲メニ年々五千萬乃至六千萬圓ヲ利子トシテ外國ニ支出セリ然レトモ西曆千八百七十八年ニ於テ其公債總額ノ六分ノ五ハ國人ノ有ニ歸シ僅々千二百萬圓ヲ利子トシテ外國ニ支出スルノ好況ヲ得タリ

大國ノ公債ハ永ク外人ノ手ニ止マルコト能ハスト雖モ募集ノ當時ハ大ニ外國資本家ノ助力ヲ得ルモノナリ大國ノ公債募集ハ之ヲ銀行ニ托シ銀行先ツ巨額ノ公債ヲ一時ニ引受ケ世ノ需要ニ應ジテ一般公衆ニ販賣スルヲ以テ通例トス(豫メ納付ノ期日ヲ定メ納金ヲ引受ケ其間ニ他銀行及一個人ト約ヲ定メ若干額ヲ讓渡シ又ハ引受ケシムルナリ)固ヨリ之ヲ一般公衆ニ募ルコトナントセスト雖モ方今理財ノ器具整頓スルヲ以テ第一ノ方法ヲ最便トス(銀行ニ於テ引受ケレハ政府必ス其需要高ク得ルノ便アリ直接募集ハ應募額ノ需要高ニ達セサルコトナキヲ保セス又困難ニ際シ直ニ銀行ヨリ金員ヲ借入レ之ニ附與スルニ其程紙幣ヲ發行スルノ權ヲ以テシ其返却ニ從ヒ之ヲ消却スルノ方法ヲ立ツルモ宜シ)政府カ右ノ如キ財政ヲ實施スルニ當リ其機關トシテ用フル者ハ其國ノ中央

銀行ナリ方今大國ノ中央銀行ハ他國ノ銀行ト關係甚ク深密ナルニ由リ公債募集ノ時ノ如キハ大ニ他國銀行ニ聲援ヲ求ムルヲ得例ヘハ表面ニハ佛蘭西銀行佛國政府ノ機關トナリ之カ債主トナルモ實際ハ倫敦フランクフルドアマステルゲムブルクセルウインナ等ノ銀行大ニ之ニ與ルモノアリ請フ今佛國敗北後ニ起セシ十億餘圓ノ公債ノ内六億餘圓ノ公債募集ノ景況ニ就キテ此事ノ虛ナラサルヲ示サン

此公債募集ニ由リ佛國政府ノ受取リシ金高ハ六億九千九百七十四萬八千九百二十七圓餘ニシテ額面價格ハ八億二百九十萬五千二百四十圓ニ達シ其募集ニ應スル者九十三萬四千二百七十六人内十萬七千六百七十二人ハ外國ノ應募者ナリ由是觀之外人ノ募集ニ應スル者ハ遙ニ内國人ヨリ少シト雖モ其數固ヨリ僅少ニアラス而シテ其應募金ヲ見ルニ更ニ驚クヘキモノアリ此募集ニ際シ巴里ノ應募高二十六億五千四百九十九萬一千八百八十六圓地方ノ應募高九億二百六十八萬九千百十三圓餘併セテ凡二十五億五千三百八十八萬二千九百九十九圓餘外國人ノ應募高ハ五十二億一千三萬九千十圓餘ノ巨額ニ上レリ其内佛人ニシテ名ヲ外

人ニ借り應募セシ者ナキヲ保セスト雖モ外國人ノ佛國ノ公債募集ニ與リシヤ實ニ廣大ナルモノト云フヘシ(當時外人ニシテ募集ニ應スル者ニハ特別ノ恩惠ヲ與ヘタリト云フ)元來外人ノ他國ノ公債證書等ニ關係スル者ハ一二ノ證書ヲ需要スル者ニアラス大仕掛ニ動産ノ取引ヲ爲ス者ナレハ其人員ノ割合ニ金員ノ多キハ敢テ怪ムニ足ラサルナリ當時佛國ハ大ニ外國資本ノ助力ヲ得シモノト云フヘシ實ニ此助力ナカリセハ佛國ノ流動資本大ニ減少シ其生産上ニ非常ノ影響ヲ與ヘシヤ敢テ疑フ容ル、コト能ハサルナリ右五十二億餘萬圓ノ應募高中實際外人ノ手ニ落チシモノ三億八百二十八萬六千三百三十二圓今其買入高ヲ諸國ニ區分スレハ獨逸九千四百二十三萬九百六十三圓白耳義七千九百二十萬八千八百八十六圓英國六千六百八十三萬一千二百四十三圓アルサスロレ
 一〇〇千七百五十四萬七千三圓和蘭千六百五十九萬七千三百七十三圓丁抹六百八十八萬四百七十八圓土耳其六百五十八萬三千五百五十八圓瑞士六百四十九萬六千二百五十七圓伊太利六百二十一萬五千六百十八圓奧地利六百七萬四千八百八十八圓ルーマニア六百十五萬八千五百五十三圓亞細亞諸國四十六萬二千九百

三十四圓(亞細亞トハ亞細亞諸港ニアル銀行ナルヘシ)ナリ英、獨、白ノ買入高ハ非常ノ巨額ニシテ重ニ投機ノ爲メニ買入レシモノナリト云フ佛國銀行ノ他國銀行ト關係ヲ有スル實ニ廣シト云フヘシ由是觀之一大國ノ信用ハ一般ニ厚ク其公債募集ニ當リ外國人ノ之ニ應スル者多キハ實ニ驚クヘキ高ニ至ルモノト云フヘシ而シテ外國人ヨリ此助力ヲ得ルハ決シテ少小ノ利益ニアラサルナリ銀行ノ組織完全ニシテ其關係廣大ナルノ外尙ホ公債ノ募集ヲ容易ニスルノ器具アリ方今歐洲各國ノ市場ニ於テ國際動産ト名クルモノアリ是ハ伊太利、奧地利、北米合衆國、土耳其、埃及等ノ公債證書又ハ數國ニ跨ル線路ヲ所有スル鐵道會社ノ負債證券ノ如キモノナリ是等ノ者多クハ國際普通ノ性質ヲ帶フ例ヘハ伊太利ノ建國ニ際シ起セシ公債ノ如キハ外國人ヨリ募リシ者甚タ多ク英、佛、獨、和蘭、白耳義等ノ資本家其募リニ應シ又佛蘭西、奧地利鐵道ト號スル鐵道ハ重ニ佛國ノ資本ヲ以テ敷設セラレ其會社ノ負債證券ハ諸國ノ市場ニ於テ自在ニ賣買スルモノナリ之ニ反シ巴里リオン地中海線路ノ鐵道ノ如キハ其利益佛蘭西、奧地利線路ヨリ大ナリト雖モ全ク佛國ノ地内ニ敷設セラレ、モノナルカ故ニ其

券ハ容易ニ諸國ノ市場ニ於テ賣買セラル歐洲各國貨幣市場ニ於テ此等ノ動産
アルハ實ニ公債ノ募集チテ容易ナラシムルノ原因ナリ例ヘハ佛國政府ノ獨
逸政府ニ償金支拂ヲ爲サンカ爲メ公債ヲ起サントシ其募集チ佛蘭西銀行ニ命
スレハ該行ハ獨逸ノ銀行ト約シ其有金或ハ信用ヲ以テ巴里ニ於テハ廉價ニシ
テ獨逸ニ於テハ需要多キ貨幣市場ノ相場表ニテ如何ナルモノカ適當ナルヤチ
見ルハ容易ナリ五分利付伊太利公債證券土耳其古公債證券或ハ鐵道會社ノ負債
證券ヲ購買シ之ヲ伯林又ハフランクフルトニ送り之ニ對シ手形ヲ宛テ之チ
政府ニ與フレハ政府ハ銀行ニ公債證券ヲ附與スルヲ得ヘシ是レ只國際動産ト
公債證券ヲ交換スルニ過キサレモノニシテ之チ公債證券ヲ發行シ現金ヲ徵收
スルト其難易固ヨリ同日ノ論ニアラサルナリ而シテ佛國政府ハ其手形ヲ獨逸
政府ニ送り償金ノ支拂ヲ爲サテ得ヘクシテ一錢ノ現金ヲ動かサス外國ニ巨萬
ノ金員ヲ送ル亦甚タ容易ナリ佛國ノ敗後普國ニ償金ヲ拂ヒシハ重ニ此法ニ據
リシモノナリ斯ノ如クシテ一方ニ於テハ現金ヲ送ルノ不便ヲ免レ一方ニ於テ

ハ容易ニ其得ント欲スル所ノ財産ヲ得一時巨額ノ金員ヲ得ルノ不便ヲ免レ雙
方ノ爲メ即チ一般貨幣市場ノ爲メ非常ノ便利ヲ得タリ方今理財ノ機關整頓ス
ルコト實ニ驚クニ堪ヘタリ斯ノ如ク國際動産ハ各國ノ際ニ貨幣市場ノ關係ヲ
親密ナラシメ加フルニ運送甚タ容易ナルモノナルヲ以テ大ニ國際ニ資本ノ移
轉ヲ容易ナラシメ又公債ノ募集ヲ容易ニス由是觀之佛國敗後ノ十億圓ノ公債
募集ニ際シ此者ノ取引盛ナリシハ亦以テ怪ムニ足ラサルナリ

右ニ説ク所ノ外國動産ハ公債證券ノ相場平均スルノ効用ヲ有ス夫レ政府
巨額ノ公債ヲ募集スルノ風聞アレハ大ニ現在公債證券ノ價格ニ影響シ延キテ
一般動産ニ及ホシ國際動産ノ價格隨テ下落スルハ數ノ免ル、能ハサル所ナリ
然ルニ此者ハ外國人モ一般ニ需要スルモノニシテ外國ニ於テ同時ニ新公債ヲ
募集スルコトナキニ於テハ新債ヲ起ス國ニ於テ國際動産ノ價格低落スルヲ見
レハ外人ハ來リテ之ヲ買去ルハ最モ自然ノ數ニシテ又實際此事アルヤ昭々ト
シテ蔽フヘカラス請フ佛國ノ例ヲ以テ之ヲ證セン佛國ノ西曆千八百七十年ノ
役ニ敗ル、ヤ巨大ノ償金ヲ獨逸ニ拂ハサルヲ得ス之ヲ拂フカ爲メニ十億圓ノ

公債ヲ起スコトニ決セリ茲ニ於テヤ各動産ノ價格大ニ動搖シ五分利付ノ伊太利公債證券佛蘭西ロンドンパルド及佛蘭西地地利鐵道會社ノ負債證券等頗ル其價格ヲ失ヘリ然ルニ此下落ハ自動ノ働キヲ以テ證券自ラ其價格ヲ失ヒシモノニアラス特ニ佛國貨幣市場ノ變動ニ由ルモノニシテ全局ヨリ論スレハ是等ノ證券ハ却テ從前ヨリ確實ナリト云フテ可ナリ何トナレハ當時古今未曾有ノ大戰爭ヲ終リ世上一般爾後數年間ハ歐洲必ス平和ナルニシトノ信用ヲ起シ動産ノ需要増加セシニ由レハナリ是ニ於テ獨、埃、伊、蘭等ノ人民主トシテ國際動産ヲ佛國市場ニ購求セリ而シテ佛人ハ此金員ヲ以テ自國ノ新債募集ニ應シ佛國ニ於テハ公債證券ノ下落ヲ免レ他ノ國々ハ其得ント欲スル所ノ者ヲ容易ニ購入スルコトヲ得タリ由是觀之歐洲大陸ニ於テ巨額ノ公債ヲ起スヤ其國際動産ヲ輸出シ外國ヨリ其價格ヲ輸入スルノ効驗アリ元來一國ニ於テ巨額ノ公債ヲ起スノ舉アレハ各種證券ノ價格之カ爲メニ資本ヲ使用シテ尙ホ殘餘アルニ際シ新債ヲ起セハ此餘剩ト新債ノ高平均ヲ失ハサル以上ハ決シテ在來證券ノ價格ヲ

下落スルコトナシト雖モ其巨額ノ公債ヲ起スハ必ス非常ノ時變ニ遭遇スル時ニシテ新債起ラスト雖モ從前大平無事ノ日ノ如ク各種ノ證券其價格ヲ保ツ能ハサル時ナレハ多少動産ノ價格下落スルハ實ニ己ムヲ得サル所ノモノアリ由是觀之國際動産ハ貨幣市場ノ矯正者ト云フモ敢テ不可ナシ斯ノ如ク物品ノ需要供給其價格ヲ平均スルハ決シテ國際動産ニ止マルニアラス萬物皆此勢ヲ呈ス試ニ佛國人民大ニ貧窮ニ陥リ其五穀ノ消費大ニ減少シタリトセヨ然ラハ其供給同時ニ減少スルニアラサレハ其價格大ニ減少スヘシ若シ此減少ヲ來セハ外國人ハ爭フテ之ヲ購入シ其供給減少シテ其價ヲ復スヘシ是レ即チ萬物ノ通理ニシテ尙モ賣買ニ供スルモノハ決シテ免ル、能ハサル所ナリ

右ニ説ク所ハ佛國カ其敗後獨逸ニ償金ヲ拂ヒシ事蹟ヲ以テ最モ明瞭ニナリタリ勿論此時以前ト雖モ此事ハ往々學者ノ説ク所ナリシ然リト雖モ未タ以テ十分ニ之ヲ實地ニ證スルヲ得サリシニ此時ヲ以テ判然實例ヲ以テ之ヲ證シ以テ學說ノ經ユヘカラサルヲ世人ニ知ラシムルコトヲ得タリ今リオン、ゼイ氏ノ報告ニ據リテ之ヲ見ルニ佛國ノ十億圓ノ巨額ヲ斯ク容易ニ支拂ヒ其財政ヲ亂サ

サリシハ紙幣ノ取扱其宜キヲ得タルニ由ルト雖モ抑、又此國際動産ノ取扱大ニ佛獨兩國ノ際ニ資本ノ移轉ヲ圓滑ナラシメシニ由ルモノト云ハサルヲ得サルナリ

西曆千八百七十一年ヨリ同千八百七十三年ニ亘リ佛國ノ輸出セシ外國公債證券株券負債證券等ノ高キ見ルニ其巨額ナル實ニ驚クニ堪ヘタリ尤モ其中ニハ佛國人民カ直ニ其代價ヲ受取リ證券ヲ讓渡セシモノ多カルヘシト雖モ其代價ヲ受取リ未タ現物ヲ渡サ、ルモノアルヘシ或ハ空ニ之ヲ賣置キテ之ヲ輸出高ニ數ヘ實際ノ讓渡ニ際シ又之ヲ計ヘ込ミ計算ノ重複スルモノモアルヘシ又ハ全ク銀行ノ手ヲ經テ讓渡シ公ケノ報告ニ登記セサルモノモアルヘシ(此高ハ公ケノ市場ノ取引ヨリ多キヲ通例トス)加フルニ巴里市場ニ於テ巨大ノ引取アル北米合衆國ノ公債證券ハ之ヲ記載セサルニ由リ實際ト符合セサルヘシト雖モ亦以テ大體ヲ窺フニ足ラン今前記時間中公ケノ市場ヲ經テ外國ニ輸出セシ外國公債ノ元金當時ノ價格ニテ凡一億三千三百八十萬圓ニシテ其利子金高ノ内譯左ノ如シ

五分利付	伊太利公債證券	九、二二三、〇〇〇圓
六分	同上	一一、二五〇圓
六分	ベルギー公債證券	三六九〇〇圓
五分	土耳其公債證券	一〇四、〇〇〇圓
六分	同上	三、一五〇圓
三分	西班牙公債證券	一一〇圓
五分	チューニス公債證券	一六七八五圓
合計		九、三九五、二九五圓

同時間ニ佛國ヨリ輸出セシ外國ノ諸株式負債證券ノ元金當時ノ價格ニテ一億四千四百四十萬圓ナリ其證券ノ名稱枚數左ノ如シ

「ナットマン」銀行株券	八〇、六五〇枚
埃國土地銀行株券及負債證券	一九三、五二五枚
同鐵道會社株券及負債證券	六四五、八二五枚
ロンバルド鐵道會社株券及負債證券	三七〇、一五〇枚

公債論

埃國北西鐵道會社株券及負債證券

六七三五〇枚

匈牙利鐵道會社株券及負債證券

一二七〇〇枚

是レ實ニ驚クヘキノ巨額ト云ハサルヲ得ス次ニ掲出スルニ表ハ西曆千八百七十年ノ戰爭前後伊太利及土耳其公債利子ノ巴里ニ於テ支拂ハレタル高チ表出スルモノニシテ當時國際動産ノ佛國ヨリ輸出セラレシ景況ヲ示スモノナリ
伊太利公債證券利子ノ内巴里府ニ於テ支拂ハレタル分

西曆年次	月	日	半季	金額	月	日	半季	金額
一八六八	一	一	上	八、六〇二、二〇〇	七	一	下	八、四〇五、〇〇〇
一八六九	一	一	上	八、四四六、〇〇〇	七	一	下	八、一六〇、〇〇〇
一八七〇	一	一	上	七、六四八、〇〇〇	七	一	下	七、二〇〇、八〇〇
一八七一	一	一	上	三、三四四、〇〇〇	七	一	下	八、〇三〇、〇〇〇
一八七二	一	一	上	五、九七四、〇〇〇	七	一	下	六、〇七八、六〇〇
一八七三	一	一	上	六、二九一、六〇〇	七	一	下	五、九七一、二〇〇

一八七四	一	一	上	五、一二〇、八〇〇
------	---	---	---	-----------

右ノ表ニ就キテ之ヲ見レハ大國ノ信用ハ外國ニ於テヨリモ内國ニ於テ厚キヲ見ルニ足ルヘシ而シテ前ニ陳述セシ所ノモノヲ以テ之ヲ見レハ大國ニ於テハ初メ外國人ニ賣渡セシ公債證券モ漸次自國ニ歸ルハ敢テ疑ナ容ル、能ハサルナリ今伊國ノ景況ニ據ラテ之ヲ見ルニ西曆千八百七十年ノ普佛戰爭前已ニ此景況ヲ示セリ即チ西曆千八百六十七年伊太利政府ノ巴里ニ於テ支拂ヒタル公債ノ利子ハ一千七百五十七萬二千八百圓ナリ右ノ表ニ照シテ之ヲ見レハ西曆千八百六十八年以降頗ル其高ヲ減少セリ是レ決シテ偶然ニ起ルニアラス前陳ノ原因ニ由リ佛國市場ニ於テ一切ノ證券ニ下落ヲ生セシト雖モ別ニ伊國公債證券カ其自動ノ働キニ由リ一般ニ下落スルノ原因ナカリシヲ以テ外國人殊ニ伊國人民ハ大ニ伊太利公債證券ヲ佛國市場ニ於テ購買セシニ由ルモノナリ看官表中ノ數ヲ審査セハ思ヒ半ニ過クルモノアラン
今土耳其公債利子ノ内巴里ニ於テ支拂ハレタルモノ、景況ヲ見ルニ次ノ如シ

西曆年次	月	日	金額
一八七〇	一	十三	五六三、一二三、四〇
一八七二	七	十三	一〇二、四一六、二〇
一八七三	一	十三	一五五、〇四五、〇〇
一八七三	七	十三	一二五、六三六、二〇
一八七四	一	十三	三四〇、〇〇〇、〇〇

上ノ表ニ據リ之ヲ見レハ西曆千八百七十四年ノ一月ノ高ハ同千八百七十年ノ高ノ殆ト半額ニ減少セリ同千八百七十二年ノ高ハ一層僅少ナリト雖モ西曆千八百七十一年同千八百七十二年ハ金貨紙幣ニ對シ

テ少シク騰貴ヲ示セシ時ナルヲ以テ自然佛國ノ資本家ハ金銀ヲ外國ニ送ラヌ土耳其ノ公債證書ヲ以テ外國へ支拂ヲ爲セシニ由リ土耳其公債證書ニ著シキ減少ヲ來シ佛國ノ公債集募ヨリ生スル減少ノ外他ニ原因ノ存スルモノアルヲ以テ本文ニ論スル所ノ如キ事實ヲ證明スルノ適例トスルニ足ラス宜シク西曆千八百七十年ト同千八百七十四年トヲ以テ比較スヘキナリ何トナレハ西曆千八百七十四年ニハ正貨ト紙幣トノ間ニ殆ト差違アルヲ見ス佛國ノ景況稍ク平日ニ歸セシニ由レハナリ其他北米合衆國及澳地利ノ公債證書ノ輸出ヲ算入セ

ハ西曆千八百七十年ヨリ同千八百七十四年マテニ佛國ノ輸出シタル外國公債證書ノ價格ハ蓋シ二億圓ヲ超過スヘシ右ノ外尙ホ方今理財ノ組織ニ於テハ外國へノ送金ヲ容易ニスルモノアリ即チ國人ノ外國公債證書及株式等ヲ所有スルヲ以テ其利子及割賦金等ニ對シテ外國ニ宛テタル手形及外人來遊者ノ費ス所ノ高ニ對シテ宛テタル手形是ナリ佛國ニ於テハ西曆千八百七十年ノ戰爭前ニハ外國公債ノ爲メニ受取ル利子年々一億乃至一億四千萬圓ニシテ旅客ノ佛國ニ於テ費ス所ハ四千萬乃至六千萬圓ナリシト云フ故ニ戰爭前ニハ此二項ヨリ佛國ハ一億四千萬乃至二億圓ノ手形ヲ外國ニ宛ツルノ力ヲ有セリ故ニ戰爭前ニアリテハ佛國ハ三年ノ間ニ五億圓以上ノ金額ヲ外國ヨリ受取リテ格別貨幣市場ニ變動ヲ與ヘス三年ノ間ニ此巨額ヲ以テ外國ノ公債證書會社株式等ヲ買入ル、ノ力ヲ有セリ戰爭ノ後ハ一時少シク此力ヲ減縮セント雖戰爭後ノ三年間ニ此二項ヨリ佛國ノ金員ヲ受取ルノ力ヲ有セシハ蓋シ僅少ニアラサルヘシボリコト氏ノ說ニ從ヘハ西曆千八百七十一年ヨリ同千八百七十三年マテニ佛國カ外國貸付等ノ爲メニ外國ヨリ受取ルコトヲ得タル高ハ四億圓ヲ下ラス

爾シテ佛國カ此時間ニ二億圓ノ外債及外國會社ノ株式等ヲ外國ニ賣却セシモ
 ノトスレハ佛國ノ獨逸ヘ支拂ヒシ債金ノ五分ノ三ハ外國公債等ノ元利金等受
 取ノ權利ヲ讓リ之ヲ仕拂ヒシモノト云フヘシ由是觀之方今理財ノ器具整頓ス
 ル國々ニ於テハ只信用ヲ遷移スルノミニテ外國ニ巨額ノ金員ヲ仕送ルコトヲ
 得ヘシ而シテ權利ヲ讓渡セタル國ノ資本家ニ於テモ他國ノ公債證券等ヲ賣却
 シテ自國ノモノヲ買入ルコトナレハ決シテ損失ナカルヘシ方今大國ニ於テ
 巨額ノ公債ヲ起スハ實ニ容易ナリト云フヘシ而シテ當時此信用ノ移轉チシテ
 一層容易ナラシムルノ事實アリキ請フ少シク之ヲ辯セン

西曆千八百七十年ノ戰爭タル古今未曾有ノ大戰爭ニシテ其後數年間ハ必ス太
 平ナルヘシトノ思想ヲ惹起スハ理ノ當然ニシテ實際此思想ヲ引起シ大ニ信用
 ナ倍獲セリ故ニ戰爭後外國ノ公債證券頗ル騰貴シ一割五分乃至二割甚シキニ
 至リテハ三割ノ騰貴ヲ示シ外國ノ鐵道事業等大ニ増進シ土耳其埃及ノ公債證
 書ト雖亦騰貴セリ是ニ於テヤ佛國ノ人民モ容易ニ其所有ノ外國公債證券等ヲ
 賣却スルコトヲ得タリ今試ニ戰爭前後ノ公債證券株式等ノ價格ヲ見ルニ西曆

六十八

千八百六十七年ニハ五分利付伊太利公債證券ノ價格ハ四十三フラン三百フラン
 立以下準之乃至五十六フラン西曆千八百六十八年ニハ四十二フラン乃至五十
 八フラン千八百七十九年ニ於テハ五十二フラン乃至五十八フラントナリシト
 雖戰爭後ハ佛國人民ノ此手形ヲ有スルモノハ六十三六十四六十五若クハ六十
 九フランニテ之ヲ賣却スルコトヲ得タリ埃地利官有財產抵當公債ハ西曆千八
 百六十七年ニハ二百十六(三百)フラン立西曆千八百六十九年ニハ二百三十乃至
 二百五十五ナリシト雖戰爭後ハ二百七十五乃至三百フランニ騰貴セリ北米合
 衆國ノ六分利付公債證券ハ西曆千八百六十八年ニハ七十九(百)ドル立一(百)ハ
 凡一圓乃至八十六ナリシニ戰爭後ハ百七十若クハ百十四ニ騰貴セリ五分利
 付露國公債證券ハ戰爭前ニハ八十五(百)フラン立乃至九十二ナリシト雖戰爭後
 殆ト平價トナリ土耳其埃及ノ公債證券モ戰爭後ハ騰貴ヲ示セリ即土耳其ノ五
 分利付公債證券西曆千八百六十七年ニ於テハ二十七乃至三十四同千八百六十
 九年ニ於テ三十七乃至四十六ナリシト雖戰爭後ハ五十五十三若クハ五十五ニ
 騰貴セリ埃及公債證券モ之ト均シキ景況ヲ示セリ其他外國鐵道會社ノ株式等

ハ非常ニ騰貴シ佛人ノ之ヲ有スル者ハ高價ニ之ヲ賣却シ自國ノ新公債證券ヲ買入ル、コトヲ得タリ元來佛國ニ於テ戰爭後ニ公債ヲ起セシハ特別ナル事實アリテ大ニ右ニ説ク所ノ働キヲ自由ニ爲セシト雖方今財政ノ器具大ニ整頓シ且ツ彼ノ國際動産ノ佛國人民中ニ存在スルアルニアラスンハ焉ソ能ク巨大ノ公債ヲ起スコト斯ノ如ク容易ナルヲ得ンヤ國際動産ノ貨幣市場ニ効力アル實ニ大ナリト云フヘシ當時諸國ハ佛國ヨリ國際動産ヲ購入シ其從前佛國ニ支拂ヒタル利子割賦金ハ之ヲ其國人ノ得ル所トナシ益々購買力ヲ加ヘ殊ニ獨逸ハ巨大ノ債金ヲ得テ一層容易ニ之ヲ買入ル、コトヲ得シヨリ國際動産ノ價格ヲ增加セシハ實ニ當然ノ事ト云フヘシ而シテ佛國モ之カ爲メ容易ニ公債ヲ起スヲ得且國際動産賣却ノ爲メ損失ヲ受クルヲ免レタリ今西曆千八百七十三年十月二月發兌ノ「ラファイナンス」新聞ニ據リ佛國ノ獨逸ニ拂ヒシ債金十億餘萬圓ノ内譯ヲ見ルニ其證書支拂ノ額實ニ驚クヘキモノアリ請フ之ヲ左ニ表出セン

實物ニテ仕拂ノ分

(東部)鐵道讓渡代金 六五、〇〇〇、〇〇〇

小計 六五、〇〇〇、〇〇〇

爲替手形ニテ支拂ノ分

獨逸宛ノ手形 四九六、八〇〇、〇〇〇

ハンボルク宛全上 六四、八〇〇、〇〇〇

フランクフルト宛全上 四六、四〇〇、〇〇〇

和蘭宛 五〇、〇〇〇、〇〇〇

白耳義宛 四五、〇〇〇、〇〇〇

英國宛 一二七、二〇〇、〇〇〇

小計 八三〇、二〇〇、〇〇〇

諸銀行紙幣ニテ支拂ノ分

佛蘭西銀行紙幣ニテ 二五、〇〇〇、〇〇〇

普魯西銀行紙幣ニテ 二〇、六〇〇、〇〇〇

白耳義銀行紙幣ニテ 一四、〇〇〇、〇〇〇

小計 五九六、〇〇〇、〇〇〇

公債論

正貨ニテ支拂ノ分

金貨幣ニテ

五四六〇〇〇〇〇

銀貨幣ニテ

四七八〇〇〇〇〇

小計

一〇二四〇〇〇〇〇

總計

一〇五七二〇〇〇〇〇

右ノ表ニ據レハ此巨大ナル債金仕拂ノ爲メニ正貨ヲ要セシハ實ニ僅々タルモノニシテ其手形ノ多キ實ニ八億餘萬圓ニ達セリ今此巨大ナル手形ノ由來ヲ尋スルニ佛國輸出ノ超過他國公債證書ノ利子等ニ由リ他國ノ佛國へ支拂フ金員ニ對シテ振出セシモノ扱カラスト雖佛國人民カ外國へ其所有スル所ノ國際動產ヲ賣却シ其代金ニ宛テ振出セシモノ多キニ位ス

以上説ク所ノモノヲ以テ之ヲ見レハ國際動產ノ理財上ニ有スル所ノ勢力實ニ大ナルモノト云フヘシ彼ノ英國カ年々五億圓乃至六億圓ノ輸入超過ヲ有シ其財政ヲ亂サ、ルモ此類ノ動產英國人民ノ手ニアルモノ多キニ由ルナリ
公債元利金支拂ハ各法律規則ノ規約スル所アリ而シテ方今文明國ノ政府ノ信

用確實ニシテ又政府ハ其信用ヲ保ツテ以テ任トスルカ故ニ國家ノ存亡ニ關スルカ如キ大亂アルニアラサレハ大ニ公債證書ノ價格ヲ失フコトナク公債證書ニシテ價格ヲ失フトキハ一般ノ財產共ニ價格ヲ失フノ時ナリ平日ニアリテハ多少其價ニ變動ナキヲ得スト雖公債證書ハ會社ノ株式等ノ如ク一盛一衰大ニ其價格ノ變動スルカ如キコトナク實ニ安全ナルモノニシテ又之ヲ有スルノ利ハ金銀ヲ有スルト相距ルコト遠カラス而シテ年々利子ヲ生スルノ便利アリ由是觀之公債證書ハ放銀物件中最モ確實ニシテ且ツ便利ナルモノナリト云フヘシ其貯蓄ヲ獎勵スルノ効驗アル取テ疑ヲ容レサルナリ又公債證書ハ此便利アルカ爲メ公債募集ニ際シテ富豪者ノ倉庫中ニ藏匿スル所ノ貯蓄金應募ノ爲メニ出ツルハ最モ親易キノ理勢ナリ此等ノ事實アルニ由リ公債募集ハ其高ト同額ノ流動資本ヲ減少スルモノニアラサルナリ然レトモ多少之ヲ減少スルハ收テ疑ヲ容ル、能ハサルナリ而シテ公債募集ノ貯蓄ヲ誘導シ庫中ノ死金ヲ起スモ亦疑ヲ容ルヘキモノナリト雖公債ハ一度起レハ必ス元利支拂ノ爲メ政府ノ費用ヲ増加セサルヲ得ス其増加ハ則チ之ヲ民財ニ徵セサルヲ得サルヲ以テ其

公債論

少シク此効驗アルカ爲メ此目的ヲ以テ起スヘキモノニアラス貯蓄ヲ獎勵シ死
 金ヲ起スハ教育ノ普及身體財產ノ保護信用ノ發達官立民立貯蓄預リ方法ノ設
 置保險會社ノ設立等ニ依ラスンハアルヘカラス公債ノ募集能ク貯蓄ヲ獎勵シ
 死金ヲ起スノ効驗アルハ只少シク其禍害ヲ輕クスルノミ公債ノ募集ハ賦款ヲ
 重クスルノ傾向アリ資本配當ノ比例ヲ亂シ國富ノ發達ヲ妨クルノ恐アリ其好
 結果ヲ得ルハ之ヲ以テ有益ノ事業ヲ起シ其利益ヲ以テ元利ヲ拂ヒ盡シ後世ニ
 其金利ヲ殘スノ場合ニアリ其已ムナ得サルハ國家ノ危急ヲ救ヒ或ハ其發達ヲ
 促スノ場合ニアルノミ苟モ公債ノ募集ヲ慎マス不急ノ事業ニ募集金ヲ濫盡ス
 ルコトアレハ徒ラニ物價ヲ騰貴シ賦款ヲ重クシ國家ヲ毒ス公債募集ノ事皆
 ニ慎マサルヘケンヤ

第五章 租稅ト公債トノ關係

公債ノ經濟上ニ示ス所ノ効驗ハ前章ニ於テ説ク所ノ如シ而シテ其募集ハ殊ニ
 之ヲ慎マサルヲ得サルハ勿論ナリト雖國家非常ノ費用及其永遠ノ改良ハ到底
 通常ノ収入ヲ以テ之ヲ支辨スルヲ得ス強テ兩三年ノ租稅ヲ以テ之ヲ支辨セシ
 トセハ民力之ニ應スルコト能ハス大ニ民ヲ苛征シ國富ノ發達得テ望ムコト能
 ハス公債ハ租稅ノ如ク強テ民財ヲ徵收スルモノニアラス民間ノ餘裕ヨリ之ヲ
 徵シ其元利支拂ノ爲メ賦款ヲ増スノ傾向アリト雖一時ニ巨額ヲ強徵スルヲ要
 セス數十年ニ涉リ之ヲ分擔スルモノナレハ其額非常ノ巨額ニ登ラサレハ未タ
 以テ民力ヲ乾涸シ國富ノ發達ヲ妨クルノ不便アルナク或ハ文武ノ事業改良ノ
 如キ國家ノ獨立ヲ維持シ其光榮ヲ後世ニ傳ヘ或ハ海陸運送ノ便ヲ開クカ如キ
 利益ヲ後世ニ遺スモノナキヲ得ス公債ハ財政上缺シヘカラサルノ要具ニシテ
 其募集ハ時ニ或ハ必要已ム能ハサル所ノモノアリ然リト雖人各其性ヲ異ニシ
 公債ノ必要ヲ見ル亦同一ナル能ハス其得失ヲ論スル各異ナリ論者或ハ曰ク公

債ハ負擔ヲ未來ニ課シ現在ヲ惠ムモノナリ現在ノ費用ハ租稅ヲ以テ之ヲ辨シ後世子孫ヲシテ今世ノ責ヲ負擔セシムヘカラスト此説タル公債ハ利益ヲ後世ニ遺スモノナレハ宜シク其責ヲ後世子孫ニ負擔セシムヘシト云フ説ヲ奇貨トシ不急無用ノ土木等ヲ起シ後世ヲ苦ムルカ如キモノ(余カ所譯ノポリユー氏地方稅ノ冊末ノ註ヲ見ルヘシト)比較スレハ稍眞理ニ近ク隨テ其害亦少シト雖抑此兩説ノ如キハ深ク事物ノ關係ヲ探究セサルニ坐スルモノニシテ共ニ偏見論タルヲ免レサルナリ公債ニシテ其使用方法宜シキヲ得ハ大ニ後世子孫ニ益ルモノナシトヒス其責ヲ分擔セシムル何ノ害カ之アラシク況ヤ國民ノ資本元ト限リアリ不慮ノ費用ノ爲メ直ニ重款ヲ負ハシムルハ到底民力ノ堪ユル所ニアラス大ニ國家ノ衰退ヲ來シ却テ後世ノ發達伸暢ヲ妨クヘク一時ノ負擔即チ租稅ノ及ハサル所ハ數年ノ分擔即チ公債ヲ以テ之ヲ補ハサルヲ得サルナリ偏見論者ノ説固ヨリ取ルニ足ラス然リト雖宇内各國ノ公債ノ景況ヲ見ルニ西班牙、土耳其、埃及、ペルー等ノ如キ財政ノ組織全カラサル國ハ暫ク措キテ問ハス方今文明ヲ以テ自負スル所ノ國々ノ公債ト雖或ハ偏見論者ノ説ヲシテ全ク無

理ナラス頗ル其實アリトノ感ヲ生セシムルモノナキヲ得ス今之ヲ道德上ヨリ論スレハ勿論經濟上ヨリ論スルニ於テモ一國モ一箇人ノ如ク少クモ自ラ先代ヨリ受取リシ丈ケノモノハ之ヲ次代ニ遺傳セサルヲ得ス如何ニ富裕ナル國ト雖世々遺留スル所ノモノ其受取リシモノヨリ少ケレハ數世ニシテ非常ノ貧困トナルヤ數ノ免ル、能ハサル所ノモノナリ公債ヲ以テ後世ヲ苦マシムルノ例實ニ僅少ナラサルナリ英國ノ巨大ナル公債ハ重ク西曆千七百九十三年ヨリ同千八百五十年ノ間ニ起リシモノナリ元來英國カ此時間ニ進歩シタルハ疑フヘカラサル事實ナリト雖若シ此間ニ泰平ヲ樂ミ巨額ノ公債ヲ起サ、リシトセハ其進歩更ニ大ナリシヤ敢テ疑ノ容ルヘキモノナシ此間ノ英國ノ進歩著シキ度ヲ示セシハ他ニ原因ナキニアラズト雖英國人民ノ貯蓄心及勉強心ノ發達ト器械ノ發明トニ職由ス若シ論者アリ只時ノ順序ヲ以テ公債コソ此進歩ノ原因ナリト云ハ、是レ若輩ニ非常ノ勞動ヲ爲サシメ其丁年ニ至リ苦役ノ爲メ天賦ノ發達ヲ得スト雖兎ニ角丁年ノ後ハ若年ノ時ヨリ筋骨逞マシキヲ見テ苦役コソ壯丁ヲ出タスノ原因トスルカ如ク實ニ思ハサルノ甚シキモノト云フヘシ英國

ニ於テハ巨大ナル公債ヲ起スト同時ニ他ノ原因アリテ後世ヲシテ其重キニ苦
 マシメサリシハ實ニ幸福ト云フヘシ若シ之ヲ起スコトナカリセハ後世ノ進歩
 更ニ著シカリシヤ又疑ヲ容ル、能ハサルナリ實ニ方今開明國ニ於テハ萬端ノ
 進歩駭々乎トシテ殆ト其止マル所ヲ知ラス今世ノ發明發見及改良ノ利益ハ多
 ク之ヲ後世ニ遺スヲ得ヘク全ク其費用ヲ今世ニ課スルヨリ後世ヲシテ之ヲ分
 擔セシムルノ容易ナルハ又獲フヘカラサルノ事跡ナリ然リト雖百年ノ大策ヲ
 審シ後世ノ隆盛ヲ計ルハ國家經綸上最モ缺クヘカラサルコトナレハ僅ニ前陳
 ノ理由アルカ爲メ安ニ現在ノ負擔ヲ以テ後世ニ遺スノ理アラサルナリ後世ハ
 後世ニ屬スルノ負擔アリ祖先ノ義務ハ併セテ之ヲ負擔セシムレハ後世ノ繁榮
 得テ期スル能ハス況ヤ事物日ニ改良ヲ加フルハ方今ノ勢ニシテ今世ノ利益ト
 スル所ノモノ必スシモ後世ノ利益ニアラス或ハ其存在スルカ爲メ却テ後世進
 歩ノ障害ヲ來スノ實アルニ於テアヤ然レトモ現時ニ於テ起ス所ノ大業後世ニ
 餘惠ヲ與フルモノ少カラス而シテ後世ノ負擔現時ノ負擔ヨリ容易ナルノ實ア
 レハ苟モ後世ニ餘惠ヲ與フルヲ過マラサルモノハ後世ヲシテ之ヲ分擔セシム

ルモ決シテ妨ケナカルヘシ偏ニ後世ノ分擔ヲ憚カレハ後世ニ餘惠ヲ遺スノ業
 ナ起ス能ハス却テ國家ノ進歩ヲ妨ケ人民ヲ塗炭ニ救フ能ハサルノ實アリ時ニ
 依リ業ニ依リ公債ヲ起シテ之ヲ辨ス亦何ノ憚ル所カ之アラシ
 由是觀之公債ハ財政ノ調理上時ニ或ハ之ヲ起サ、ルヲ得ス之ヲ利用シ大ニ國
 家ヲ益スルハ敢テ疑ヲ容レサルナリ然レトモアダム、スミスリカード、シエアン
 ハブチスト、セイ、グラッドストーン等ノ諸大家ニシテ租稅ヲ以テ全ク不慮ノ費
 用ヲ支拂フヘシトノ説ヲ唱フル者少シトセスミス氏ノ如キハ其論ヲ經濟上
 財政上ニ基ヒセス全ク之ヲ道德上ニ基ヒシ戰爭等ノ時ニ當リ政府重稅ヲ課シ
 テ民心ヲ失フヲ恐レ動モスレハ公債ヲ募集シテ其費用ヲ助ケ後世子孫ヲシテ
 重歛ヲ負ハシムルカ如キハ理ニ於テ爲スヘカラサルノ業ナリ夫レ大國ノ人民
 ニシテ遙ニ戰地ヲ距ルノ場所ニ居住スル者ハ戰爭ノ禍ヲ蒙ラス却テ日々其軍
 勢ノ勝利等ヲ聞キ快ク之ニ取ルモノニ似タリ故ニ重歛ヲ負擔スト雖決シテ不
 滿ヲ抱クモノニアラストノ意ヲ以テ不慮ノ費用ノ爲メニ公債ヲ募集スルコト
 ノ不可ヲ論ス又グラッドストーン氏カクリミヤ戰爭ノ費用ヲ拂フニ當リテ如

何ナル説ヲ主張セシヤヲ見ルニ亦財政上ノ點ヨリ之ヲ論セス寧ロ道德主義ヲ取ルモノナリ氏ノ論旨ハ公債ヲ以テ事ヲ爲スハ眞ニ之ヲ爲スニアラス後世ヲシテ其局ヲ結ハシムルモノナリ而シテ戰爭ニハ多少ノ名譽之ニ沿フモノナリハ特ニ租税ノ重キヲ覺ヘサレハ戰爭ノ難キヲ悟ラス動モスレハ國力ヲ濫用シテ凶器ヲ動カス等ノ患アルニ由リ國民ヲシテ其重キヲ覺ヘシムルハ大ニ一國人民ヲシテ事ヲ慎マシムルノ効アリトノ意ヲ論述セリ兩氏ノ說一應ノ理ナキニアラスト雖戰爭ハ必ス外國攻撃ニアリテ必ス勝利ヲ得ルモノト認定セサレハ此説ヲ爲ス能ハス斯ノ如キハ到底之ヲ望ムヘキニアラス而シテ租税ハ法律ヲ以テ如何ニ之ヲ増加スルトモ實際民力ノ堪ヘサル所ハ其増加ヲ得ル能ハス戰爭等ノ費用ヲ租税ノミニ取レハ費用十分ナルコト能ハス攻守ノ策爲メニ全キヲ得サルハ勢ノ免レサル所ナリ故ニ苟モ事起リレ以上ハ一時ニ公債ヲ起シ急ニ敵ヲ威服シ速ニ戰爭ヲ終ル方租税ヲ高クシテ從軍勝敗ヲ決セム連年兵ヲ交ユルヨリ經濟上施政上社會上萬事ニ於テ大ニ得策ナルヘシ道德ハ固ヨリ之ヲ重セサルヘカラスト雖終始之ニ拘泥シ宋襄ノ仁ニ倣フハ國家經綸ノ道ニア

ラサルナリ非常ノ費用ヲ支辨スルハ先ツ之ヲ租税ニ徴シ其度適當ノ程度ニ達シ之ヲ超過シテ租税ヲ徵課スルニ於テハ民ノ生計ヲ苦メ國富ノ發達ヲ妨クルノ恐アルニ及ヒテ短期ノ公債ヲ起シ應ニ三四年乃至八九年ヲ期シテ之ヲ分擔スヘシ費用益加ハリ短期ノ負擔困難ナルニ及ヒテ甫メテ長期ノ公債ヲ起スヘキナリ而シテ其租税ヨリ短期ノ公債ニ移リ短期ノ公債ヨリ長期ノモノニ移ルノ時機ヲ見ルハ決シテ難キニアラス疑フヘカラサルノ標準アリテ存ス即チ租税實收高増率ト等シキ比例ヲ以テ増加セサルトキハ例ヘハ稅率ハ五分ヲ増加スト雖實收高ハ三分ノ増加ニ止マルトキハ是レ増稅ノ爲メニ民ノ消費力ヲ減セシノ證ナリ新稅ヲ起スノ場合ニアリテハ其實收高豫算ニ達セサレハ苟モ不當ノ豫算ヲ爲サ、ル以上ハ是レ亦民ノ購買力ヲ減ヒシノ徵候ナリ而シテ增稅ノ前後ヲ比較シ其後ニ於テ貯藏銀行預リ金若クハ郵便預リ金等ノ減少スルモノアレハ是レ租税ノ爲メ貯蓄ノ餘裕ナキノ證ナリ斯ノ如キノ徵アレハ速ニ增稅ヲ止メ公債ニ移ラサルヲ得ス其短期ノ公債ヨリ長期ノモノニ移ルモ短期公債分擔ノ爲メ前記ノ徵候顯ハレントスルトキニアリ財政家茲ニ注意セハ誤ラ

ト欲スト雖モ豈ニ得ヘケンヤ(勿論經濟上租税ノ外ニハ他ニ變動ナキモノトシテノ論ナリ他ニ原因アレハ之ヲ斟酌スルハ無論ナリ)國家非常ノ費ヲ辨償スルノ順序ハ前陳ノモノヲ措キテ他ニ之アルヲ知ラサルナリ然ルニ之ヲ悟ラズ公債ヲ先ニ租税ヲ後ニスルカ如キハ徒ラニ利子ノ負擔ヲ蒙リ財政ノ損失ヲ來スハ數ノ免ル、能ハサル所ナリ然リト雖公債ヲ募集スルハ易ク租税ヲ徵課スルハ難キヲ以テ各箇ノ立法院行政官往々此順序ヲ誤マリ國庫ノ損失ヲ醸セシノ例少シトセス請フ其實例ヲ示スニ先チ非常ノ費用ヲ支辨スルハ公債租税孰レカ便利ナルヤヲ論セン

非常ノ費用ヲ支拂フニ當リテ租税ノ不便ナルコトハ急ニ政府所要ノ金額ヲ得ル能ハサルニアリ若シ之ヲ直税ニ徵スレハ人民負擔ノ重キニ堪ヘス徵収其宜シキヲ失ヒ大ニ人心ニ關シ隱匿等ノ弊ヲ生スヘシ又之ヲ間税ニ徵スレハ營業ヲ束縛シ詐偽ヲ獎勵スヘシ租税ノ實收高ト豫算高トノ間ニ著シキ差違ヲ生シ國費或ハ急ヲ告ケン到底非常ノ費用ヲ悉皆租税ニ徵スレハ良シヤ民力ノ之ニ堪ユルモノアリトスルモ今ヨリ一層人民開明ノ域ニ進ミ國民タルノ義務ノ重

キヲ了解スル後ニアラスンハ行ハレサルコトナリ公債ハ之ニ反シテ一時ニ巨額ヲ收ムルヲ得ルモノナリ何トナレハ後年ノ負擔ノ輕重ハ暫ク措キテ問ハス其應募ハ固ヨリ債主ノ利益ニ從フモノナレハ利子歩合ノ作用ニ由リ政府ノ需要高チ散スルコト難カラズ而シテ世治マリ事平クノ後ニ於テ更ニ低利ノ公債ヲ起シ高利ノモノヲ償還スルヲ得ヘケレハナリ果シテ然ラハ公債ハ非常ノ費用ヲ支辨スルカ爲メ租税ヨリ便利ナルモノタルヤ敢テ疑ヲ容レサルナリ租税ヲ以テ急ニ非常ノ費用ヲ徵收シ能ハサルハ前陳ノ如シト雖モ非常ノ費用アルニ際シ先ツ税率ヲ増シ或ハ新税ヲ起シ其實收ニ先チ大藏省證券ヲ發行シ急速ノ需要ニ應シ租税ノ實收アルニ及ヒテ漸次之ヲ償却スレハ永ク重斂ヲ後世子孫ニ殘スノ憂ナク且ツ急速ノ用ニ供スルコトヲ得ヘシトノ說アリ是レ又一方法ナリト雖モ只收入遲延ノ不便ヲ避クルニ止マリ未タ以テ全局ノ困難ヲ救フニ足ラス何トナレハ民財ハ固ヨリ無盡藏ニアラス必ス其限度アリ故ニ租税ハ只立法ノ決議ヲ以テ之ヲ増加スルヲ得ス其實收額ハ必ス民力ニ比例スヘキモノナレハナリ果シテ然ラハ巨額ノ費用ハ到底租税ノミナリ以テ之ヲ支辨ス

ル能ハサルナリ只此方法ヲ行フヘキハ費用ノ大ナラサル一時ノ事件ヲ處スルノ場合アルノミ茲ニ於テヤ彼ノ富裕ナル英國ノ如キモクリミヤ戰爭ノ爲メ殆ト二億圓ノ公債ヲ起セリ況ヤ其他ノ國々ニ於テヤ今英國カ西曆千八百五十四年ヨリ同千八百五十七年ノ間ニ實施セシ所ヲ見ルニ初メ所得稅ヲ倍シ麥酒其他ノ物品稅ヲ増加シ其實収ニ先チ大藏省證券ヲ發行シ漸次之ヲ償却セリ是レ非常費支辨ノ初期ニ於テハ頗ル適當ノ方法ナリト雖モ經驗上此事ハ決シテ大仕掛ニ施行スルコト能ハサルヲ示セリ請フ實例ヲ以テ之ヲ說カン當時英國ハ此試驗ヲ爲スニ無比ノ好時機ナリシニ由リ此事ノ果シテ實施スルヲ得ルヤ否ヤテ證明セント欲セハ宜シク英國當時ノ景況ヲ以テ之ヲ徵スヘキナリ英國ニ於テ之ヲ爲シ能ハストセハ北米合衆國ヲ除キ他ニ之ヲ實施スルヲ得ルノ國アラサルナリ當時英國ハ凡ソ四十年ノ泰平ヲ樂ミ諸稅殊ニ間稅ハ非常ノ減額ヲ經又ハ廢止トナリシモノ少カラス租稅ヲ増加スルト雖モ只舊稅率ヲ復シ若クハ廢稅ヲ起スノミニシテ敢テ從來國民ノ經驗セサル重稅若クハ新稅ヲ起スニアラス而シテクリミヤ戰爭ハ大ニ人氣ニ合ヒ輿論皆之ヲ可トシ本國ハ戰地

ナ距ルコト殆ト八百海里内地ノ營業ノ爲メニ障礙ニ逢フコトナク派遣ノ兵員ハ四萬ヲ越ヘス之カ爲メ勞銀増加スル等ノコトナク露國ノ海軍ハ決シテ英ノ商船港灣ヲ侵スニ足ラス露英ノ商業並ニ營業上ノ關係ハ合衆國トノ如ク親密ナラス租稅ノ増加此時ヨリ容易ナルハ蓋シ稀ナリ加フルニ當時英國ノ入費ハ他國(露佛)ノ如ク巨大ナラス且ツ其需要急速ナラサリシト雖モ租稅ヲ以テ水ソ戰爭ノ費用ヲ支エルコト能ハス其初メヨリ僅々數ヶ月ニシテ短期ノ公債ヲ起シ十有二个月ヲ經テ長期ノ公債ヲ起セリ英國ニシテ已ニ此結果アリ況ヤ他國ハ英國ノ如キ好機會ニ遭遇スルコト難ク且ツ民間稅力ノ大ナラサルニ於テ

右ノ外非常ノ費用ヲ支フルニ租稅及短期ノ公債ノミヲ以テ之ヲ爲シ能ハサル一他ノ理由アリ元來佛國ノ如キ大國カ永遠成ハ長期限ノ公債ヲ起スニ於テハ國ノ内外ヲ問ハス資本ノ多少ヲ論セス貨幣市場ノ變動ニ由リ巨利ヲ得ント試ミル者多ク瑣少ノ貯蓄ヲ有スル者ト雖モ安全ヲ計リテ先チ爭フテ之ヲ買入ルルコトアルヲ以テ政府速ニ其要スル所ノ金員ヲ得ルヲ通例トス然レトモ一年

常ノ費用ヲ要スル非常ノ事アルノ時ナリ故ニ其當時ハ勿論其後三四年ノ間ハ重税ヲ課スルノ時ニアラス却テ賦斂ヲ輕クシ休養ヲ要スルノ時ナリ是レ亦國家非常ノ事アルニ當リテ公債募集ハ大藏省證券發行ヨリ行ハレ易ク且ツ吉少キ所以ノ一理由ナリクリミヤノ役ニ當リテ英國ハ前陳ノ如キ出格ノ好況ヲ得且ツグラッドストロン氏ノ人望雄辯アリシト雖モ尙ホ租税ノミヲ以テ軍費ヲ償フ能ハス況ヤ其他ノ國及場合ニ於テオヤ抑一國非常ノ費用ヲ要スルハ國事多端國歩艱難ナル時ニシテ生産力消費力共ニ減スルノ時ナレハ通常ノ税額ト雖モ尙ホ且ツ之カ負擔ニ苦ム況ヤ之ヲ増加スルニ於テオヤ其艱難實ニ喋々ヲ要セサルナリ而シテ方今ハ昔日ノ如ク一大國ノ全ク滅亡スルカ如キハ殆ト之アルナク殊ニ公債償還ハ文明諸國ノ最モ役スヘカラサリ義務トスル所ノモノナレハ自國ノ人民之ニ應スル能ハサルモ外國人民ハ其發行價格ノ廉ナルニ由リ(斯ノ如キ時ニハ發行價格ハ安キモノナリ如何トナレハ發行國ニ於テ金圓ヲ要スルノ急ナルニ由リ其價ヲ願ミルノ暇ナクハナリ)未來ノ利益ヲ計リ之ヲ購買スルノ實アレハ斯ノ如キ時ニ於テハ公債募集ノ外他ニ金圓ヲ得ルノ

方便ナカルヘシ由是觀之一國非常ノ事アルニ際シ租税ヲ以テ全ク其費用ヲ辨スルハ決シテ行ハレサルコトナリ今佛國ノ現況ヲ以テ見ルニ(西曆千八百八十年頃泰平ノ時ニ於テ政府ノ收入スル所ノ租税額ハ凡ソ五億乃至六億圓ナリ而シテ若シ大國離雄ヲ干戈ニ試ミルカ如キコトアレハ方今ノ軍備ニ於テハ一箇年若クハ七八箇月ニシテ四億圓ヲ費スハ決シテ珍シカラス今試ニ此非常經費ヲ通常經費ニ加フレハ殆ト泰平ノ時ニ於テ徵收スル所ノ税額ヲ倍セサルヲ得ス然ルニ政治上ノ困難ハ經濟上ニ影響セサルコトナク非常ノ時ニ當リテ間税ノ收入ハ佛國ニ於テ五分ノ一若クハ四分ノ一ヲ減少ストスルモ敢テ大過ナカルヘシ然ラハ則チ直税ヲ増シテ之ヲ倍センカ此事タル實ニ至難ノコトナリ然リト雖モ非常ノ時ニ當リテ之ヲ決行スレハ之ニテ或ハ八千萬圓ヲ得ヘシ然レトモ是レ實ニ巨大ノ費用ニ對シテハ只一小部分ニシテ決シテ頼ムコト足ラス且ツ此高タルヤ果シテ間税ノ減少ヲ償フヲ得ヘキヤ否ヤ或ハ之ヲ償フコト能ハサルヘシ事實既ニ斯ノ如シ非常ノ時ニ當リテ租税ノ増加ヲ以テ全ク國費ヲ辨セント欲スルモ決シテ得ヘキニアラサルナリ若シ幸ニシテ一國ノ財政裕ナル

乃至五年ニシテ期限ノ來ル大藏省證券等ニハ外國人ノ出金スル者ナク内國人ト雖モ其手數ノ割合ニハ利益スル所少シト思考スルヤ之ニ應スル者多カラズ到底之ヲ以テ急ニ巨額ノ金額ヲ得ル能ハサルナリ論者或ハ云ハシ政府急速ノ需要アルニ際シ大藏省證券ヲ發行シ人民之ニ應セサレハ宜シク大銀行ニ命之ヲ購買セシムヘシト然リト雖モ經驗上此事モ亦巨大ノ額ヲ徵スルノ場合ニ於テ之ヲ施行スルコト能ハサルノ實アリ抑方今ノ軍儀ニ於テ一戰ノ費用實ニ四五億圓ノ巨額ニ達スル者少シトセス斯ノ如キ巨額ヲ四五年ノ間ニ貸付ケ能ク工商百般ノ事業上ニ要スル必要ノ資金ヲ缺カサルノ銀行ハ決シテ吾人ノ見サル所ナリ斯ノ如キハ全歐ノ大銀行ヲ合スルト雖モ恐クハ爲シ得ヘキコトニアラサルナリ今之ニ數歩ヲ譲リ假リニ之ヲ爲シ得ヘシトスルモ四五十年ノ間ニ之ヲ償却スルハ民力ノ之ニ應スル能ハサル所ノモノナリ論者或ハ云ハシ亂ニ際シ一般公衆ヨリ公債ヲ募集セハ非常ノ高利ヲ拂ハサルヲ得ス若カス銀行ヨリ一時之ヲ借入レ世治マルノ後公債ヲ起シ之ヲ償却スルノ便利アルニハト夫レ或ハ然ラシ然リト雖モ貸付ノ如キハ資本ヲ固定シ又大藏省證券ノ如キ

ハ前陳ノ如キ實アレハ銀行ニ於テモ巨額ノ證券ヲ賣盡スコト能ハス多クハ明限迄之ヲ所持セサルヲ得ス斯ノ如ク其資本ヲ死物トシ去ルハ決シテ銀行ノ爲スヘキコトニアラサルナリ然ルニ公債證書ハ内外人民ノ需要多キニ由リ大銀行ニ於テ一時其募集ニ應スルアルモ容易ニ之ヲ賣却スルコトヲ得ヘシ決シテ資本ヲ死守スルヲ要セサルナリ論者ノ利子云々ノ言ハ實ニ然リト雖モ是レ又借換ノ途ナキニアラサルヲ以テ治ク可トスルニ足ラサルナリ由是觀之非常ノ事アルニ際シ急ニ巨額ノ金員ヲ得ルハ甚タ難事ニシテ到底租稅及短期ノ公債ノミヲ以テ之ヲ得ルコト能ハス方ヲ長期若クハ永遠公債ニ借ラサルヲ得ス然リト雖モ現時ノ費用ノ爲メニ未來ヲ苦ムルハ固ヨリ好マシキコトニアラズ且ツ前陳ノ如ク濫用ノ恐ナキニアラサレハ公債ノ募集ハ決シテ之ヲ忽ニスルヲ得サルハ固ヨリ論ヲ俟タス國家非常ノ費用ヲ支辨スルニハ先ツ租稅ヲ以テ之ニ應シ次ニ短期ノ公債ヲ用ヒ終ニ長期若クハ永遠ノ公債ニ移ルヘキナリ茲ニ又租稅及短期ノ公債ノミヲ以テ非常ノ費用ヲ支辨シ能ハサルノ一理由アリ凡ソ一國ニシテ非常ノ費用ヲ要スルハ決シテ泰平無事ノ時ニアラズ必ス非

常ノ費用ヲ要スル非常ノ事アルノ時ナリ故ニ其當時ハ勿論其後三四年ノ間ハ重税ヲ課スルノ時ニアラス却テ賦款ヲ輕クシ休養ヲ要スルノ時ナリ是レ亦國家非常ノ事アルニ當リテ公債募集ハ大藏省證券發行ヨリ行ハレ易ク且ツ宮少キ所以ノ一理由ナリクリミヤノ役ニ當リテ英國ハ前陳ノ如キ出格ノ好況ヲ得且ツグラッドストン氏ノ人望雄辯アリント雖モ尙ホ租税ノミヲ以テ軍費ヲ償フ能ハス况ヤ其他ノ國及場合ニ於テオヤ抑一國非常ノ費用ヲ要スルハ國事多端國歩艱難ナル時ニシテ生産力消費力共ニ減スルノ時ナレハ通常ノ税額ト雖モ尙ホ且ツ之カ負擔ニ苦ム况ンヤ之ヲ増加スルニ於テオヤ其艱難實ニ喋々ヲ要セサルナリ而シテ方今ハ昔日ノ如ク一大國ノ全ク減じスルカ如キハ殆ト之アルナク殊ニ公債償還ハ文明諸國ノ最モ優スヘカラサニ義務トスル所ノモノナレハ自國ノ人民之ニ應スル能ハサルモ外國人民ハ其發行價格ノ廉ナルニ由リ(斯ノ如キ時ニハ發行價格ハ安キモノナリ如何トナレハ發行國ニ於テ金員ヲ要スルノ急ナルニ由リ其價ヲ顧ミルノ暇ナクハナリ)未來ノ利益ヲ計リ之ヲ購買スルノ實アレハ斯ノ如キ時ニ於テハ公債募集ノ外他ニ金員ヲ得ルノ

方便ナカルヘシ由是觀之一國非常ノ事アルニ際シ租税ヲ以テ全ク其費用ヲ辨スルハ決シテ行ハレサルコトナリ今佛國ノ現況ヲ以テ見ルニ(西曆千八百八十年頃)泰平ノ時ニ於テ政府ノ收入スル所ノ租税額ハ凡ソ五億乃至六億圓ナリ而シテ若シ大國雌雄ヲ干戈ニ試ミルカ如キコトアレハ方今ノ軍儀ニ於テハ一箇年若クハ七八箇月ニシテ四億圓ヲ費スハ決シテ珍シカラス今試ニ此非常經費ヲ通常經費ニ加フレハ殆ト泰平ノ時ニ於テ徵收スル所ノ税額ヲ倍セサルヲ得ス然ルニ政治上ノ困難ハ經濟上ニ影響セサルコトナク非常ノ時ニ當リテ間税ノ收入ハ佛國ニ於テ五分ノ一若クハ四分ノ一ヲ減少ストスルモ敢テ大過ナカルヘシ然ラハ則チ直税ヲ増シテ之ヲ倍センカ此事タル實ニ至難ノコトナリ然リト雖モ非常ノ時ニ當リテ之ヲ決行スレハ之ニテ或ハ八千萬圓ヲ得ヘシ然レトモ是レ實ニ巨大ノ費用ニ對シテハ只一小部分ニシテ決シテ頼ムコト足ラス且ツ此高タルヤ果シテ間税ノ減少ヲ償フヲ得ヘキヤ否ヤ或ハ之ヲ償フコト能ハサルヘシ事實既ニ斯ノ如シ非常ノ時ニ當リテ租税ノ増加ヲ以テ全ク國費ヲ辨セント欲スルモ決シテ得ヘキニアラサルナリ若シ幸ニシテ一國ノ財政裕ナル

ヲ得ハ只之ヲ以テ非常費ノ一端ニ充ツルヲ得ルノミ非常ノ時ニハ到底公債ヲ起サ、ルヲ得サルナリ

諸大家ノ租税増加ノ説ヲ主張スル者ノ中ウエアン、バプチスト、ゼイ氏ハ西曆千七百九十三年ヨリ同千八百十五年ノ間英國ニ於テ若シ租税ヲ増加セハ公債ヲ起スヲ要セサリシト云ヒヤクワツタ氏ハ租税ヲ増加シ得ル丈ケ増加セシトセハ斯ノ如ク巨額ノ公債ヲ起スヲ要セサリシト云フマクワツタ氏ノ説ハ過實ノ譏ヲ免レスト雖モ亦以テ見ルヘキモノチキニアラス元來英國ハ本件ノ論題タルニ最モ恰當セル國ニシテ他國ニ於テ見サル所ノ景況殆ト常ニ之ヲ助クルアリ請フ少シク之ヲ辯セン

英國ハ島嶼ノ國ニシテ海軍甚ク強ク敵軍其國土ヲ侵スコト甚ク難ク英國ノ軍ハ殆ト出稼キノ姿ヲ顯ハン而シテ其外國貿易ノ關係ノ廣キ固ヨリ四海ニ冠冕ス故ニ某國ト鋒ヲ交ヘ其國トノ貿易ニ損害ヲ蒙スト雖モ他ノ外國トノ貿易ハ爲メニ著シキ障害ヲ受ケス戰爭ノ爲メ政治上經濟上ノ困難ヲ惹起スコト之ヲ他國ニ比シテ實ニ僅少ナルモノト云フヘシマクワツタ氏曾テ西曆千七百九十

三年ヨリ同千八百十五年間ノ英國財政ヲ論シテ曰ク余輩ハ恣ニ空理ヲ借リテ事實行ハレ難キノ事ヲ云フモノニアラス曩ニ英國カ米國ト事アリシヤ所得稅稅率ヲ一割ヨリ一割二分ト爲セリ此租稅タル固ヨリ不公平且ツ不便ヲ免レスト雖モ英國政府ヲシテ西曆千七百九十三年ニ於テ之ニ類似スルノ方法ヲ施行セシメ以テ非常ニ關稅ト内地ノ消費稅トヲ増加セサラセメハ收入ノ増加ニ由リ戰爭ノ初メヨリ甚ク不利ナル方法ヲ以テ巨大ノ公債ヲ起スヲ要セサリシト此説タル大ニ其當ヲ得タルモノナリ一國ノ景況ニシテ苟モ之カ施行ヲ妨ケサルモノアレハ非常ノ事アルニ際シテ政府ハ宜シク直稅ヲ増加シ現在ノ事ハ其責ヲ現在ニ歸セシメ費用巨大ニシテ強テ之ヲ租稅ニ徵スレハ民業衰ヘ一國ノ衰頹ヲ來スノ勢アリテ已ムヲ得サルニアラスンハ公債ヲ起シテ現在ノ責任ヲ未來ニ負擔セシムヘカラス英國ノ西曆第十八世紀ノ財政ト同第十九世紀ノ財政ト大ニ其趣ヲ異ニシ頗ル論究スヘキモノアリト云フヘシ

今茲ニ英國公債ノ歴史ヲ陳述スルニアラスト雖モ英國カ非常ノ費用ヲ仕拂フニ當リ其幾分ヲ公債ニ取リ其幾分ヲ租稅ニ徵セシヤヲ見ンカ爲メ少シク其歴

史上ノ事蹟ヲ陳述セサルヲ得ス而シテ軍費ノ計算モ亦十分ニ其實ヲ得ルヲ期セサルモノナレハ其計算法ヲ論スルハ敢テ無用ノ業ニアラサルナリ英國ニ於テ用フル軍費ノ計算法ニアリテハ一ハ西曆千八百五十七年二月當時ノ大蔵大臣ル・ウイス氏クリミヤ戰爭ノ費用ヲ計算スルニ當リテ用ヒシ所ノ方法ナリ此方法ニ據レハ戰爭三箇年間ノ海陸軍本省其他一切ノ軍事ニ係ル費用ヨリ戰爭前三箇年間泰平無事ノ時ノ同様ノ費用ヲ控除シ其差ヲ以テ全ク軍用ノ爲メニ要セシ所ノ費用トスルモノナリ此計算法タル善ハ則チ善ナリト雖モ未タ以テ十分ナリト云フ能ハサルナリ何トナレハ戰爭前三箇年間ノ海陸軍通常經費ハ果シテ戰爭中ノ三箇年ノ通常經費ニ相當スル分ト符合スルヤ否ヤ未タ俄ニ然リト云フナ得サレハナリ他ノ一方法ハ西曆千七百八十二年財政委員ノ採用セシモノニシテ稍實ヲ得ルモノ、如シ此法ニ據レハ戰爭中海陸軍ノ爲メニ要セシ費用ニ戰爭後其決算ノ爲メニ費セシ費用ヲ加ヘ泰平ノ時ノ最モ近キ年度ノ兩三年ノ間海陸軍ノ爲メニ費セシ費用ノ一箇年ノ平均高チ取り之ニ戰爭ノ年數ヲ乘シ彼ヨリ之チ差引キ其殘額ヲ軍用ノ爲メニ要セシ所ノ費用トス今西

曆千六百八十八年ヨリ晚近ニ至ルマテ英國カ戰爭ノ爲メニ費セシ金高及其幾分チ公債ニ取り幾分チ租稅ニ取りシヤ等ヲ表出スレハ左ノ如シ尤モ計算法ハ前陳ノ第二ノ方法ニ據ルモノナリ

戰爭ノ年 間但西曆	戰爭ニ由リテ生 シタル非常費	戰爭非常入費ニ 充タル公債ノ高	租稅ノ内非常費 ニ充用セシ分	戰爭年間歳入ノ合計但 公債募集金ヲ含有セズ
自六八八 至六九七	一六三、二一八、八二〇	八二、七六六、九五五	八〇、四五二、八六五	一六三、八三三、七七〇
自七〇二 至七一一	二五三、四二四、七八〇	一四七、〇二五、四一五	一〇六、一八九、三六五	三三二、一九七、三八五
自七一一 至七二〇	二二、七三六、二一〇	五、〇一一、〇二五	一七、七二五、六一〇	一一一、九六五、〇〇〇
自七二〇 至七三九	二二八、二七五、九六〇	一四八、六二〇、九七五	六九、六五四、九八五	三二九、五一九、八二〇
自七三九 至七五八	四一三、一一八、六九〇	三〇〇、〇九一、二一五	一三、〇二七、四七五	五〇九、七七五、六一五
自七五八 至七七六	四八七、九九七、四八〇	四七二、八〇〇、三四五	一五、一八七、一三五	七〇九、五二一、一〇〇
自七七六 至七八五	四、一五七、二二二、二四五	二、二〇一、四八〇、三八五	一、九五五、七四一、八五〇	六、〇八七、七七二、一九五
自七八五 至八五五	三四六、三八八、四七〇	一九八、五七六、〇四〇	一四七、八三三、四三〇	一、〇三二、〇三五、六一

表中掲載ノ計數ハ大戰ノミニ係ルモノニシテ小戰ニ係ルモノハ之チ省略ス此表ニ據レハ西曆千六百八十八年ヨリ同千八百五十七年マテ英國ノ軍費ヲ支ヘ

シハ軍ニ租税ニ據ラス又軍ニ公債ニ據ラス租税公債ノ比例ハ例外ノ場合ナキ
 ニアラスト雖モ非常費總額ノ凡三分ノ二ハ之ヲ公債ニ取り三分ノ一ハ之ヲ租
 税ニ徴セシト云フヲ敢テ大差ナカルヘシ費用ヲ殆ト全ク租税ニ徴セシモノナ
 西曆千七百十八年ト同千八百二十一年ノ西班牙トノ戦争トス又殆ト全ク費用
 ナ公債ニ取リシモノヲ北米合衆國ノ獨立ノ戦争トス共ニ是レ例外ノ場合ナリ
 其詳細ハ表中ニ詳ナリ第一ノモノハ決シテ大戦争ト云フニアラス其費用實ニ
 僅々タルモノナリシニ由リ少シク租税ヲ増加シテ其費ヲ償フヲ得シナルヘシ
 合衆國獨立戦争ノ如キハ決シテ人民一般之ヲ賛成セシモノニアラス政略上租
 税ヲ増加スルヲ得サリシナルヘシ然リト雖モ只財政上ヨリ之ヲ論スレハ當時
 ノ執政者ニシテ戦争ノ初メ成ル丈ケ租税ヲ増加シテ軍費ヲ助ケハ永遠ニ巨大
 ノ公債ヲ國民ニ負擔セシメス後世ノ進歩更ニ一層ノ便利ヲ得シヤ敢テ疑ナ容
 ル、能ハサルナリ然リ而シテ此表ニ據リテ各戦争ノ費用支辨方法ヲ見ルニ概
 シテ人望ニ應スル戦争ニハ租税ノ部分多ク不人望或ハ戦争中英國内政ノ圓滑
 ナラサリシ時ニハ租税ノ部分甚タ少シ文武ノ兩翼ヲ張リテ一國ヲ統御スルノ

術決シテ容易ニアラサルナリ

以上説ク所ノモノヲ以テ見レハ世人カタリニヤ戦争ヨリグラツドストーン氏
 大ニ財政ノ面目ヲ改メ非常ノ費用ハ重ニ之ヲ租税ニ徴セリト云フハ事實ヲ探
 究セサルノ過チナルヲ知ルニ足レリ當時グラツドストーン氏ノ名望雄辯英國
 人民ノ富裕英國ノ出格ナル景況ニモ拘ハラス力ヲ公債ニ借ラヌハ大ニ軍務
 ナ購スル能ハサルノ場合ニ至レリ其西曆千八百五十四年ノ冬陣ニ於テ英國出
 征ノ軍備全キヲ得ス兵爲メニ寒氣ニ苦ミ士卒ノ凍死交至リ政府爲メニ人望ヲ
 失ヒ宰相ノ交迭アリシモ政府ニ於テ永ク増税ノ主義ヲ固守セシニ由ルモノ蓋
 シ少キニアラサルヘシ幸ニシテ英國政府人才ニ乏シカラス租税ハ其收入ノ過
 ヤトシテ軍備ノ急ニ應スルニ足ラス又急劇ニ租税ヲ増加セハ大ニ農工商ノ業
 ナ障害スルヲ悟リ大藏省證券ノ發行ヲ以テ遲延ノ不便ヲ避ケント雖モ天下公
 衆限ナク之ヲ買入ル、ナ好マス或ハ政府ニ於テ期限通リニ其元金ヲ拂フコ
 ト能ハス債主モ之ヲ延期スルヲ好マス西曆千八百五十四年六月法ヲ定メテ短
 期ノ公債證券ヲ發行セリ其第一組ノ發行ハ額面一千萬圓ニシテ西曆千八百五

十八年五月八日ヲ以テ仕拂フヘキモノトシ期限凡ソ四箇年其第二組ノ者モ同額ニシテ西曆千八百五十九年五月八日ヲ以テ支拂ハル、モノニシテ期限凡五箇年其第三組ノ者モ亦額面一千萬圓ニシテ西曆千八百五十七年五月八日ヲ以テ支拂ハル、モノニシテ期限凡三箇年其翌年第四組ノ者ヲ發行シ西曆千八百六十年十二月八日ニ支拂フヘキモノトセシト雖モ此最後ノ募集ニ據リテ得ル所ノ金額僅ニ四百八十八萬八千七百五十圓トス斯ノ如クニシテ英政府ハ三箇年乃至五箇年ニ於テ支拂ハルヘキ公債證書三千四百八十八萬八千七百五十圓ヲ發行セリ此法タル之ヲ財政上ヨリ論スレハ一時ニ必需ノ金高ヲ得ルノ便アリ之ヲ道德上ヨリ論スレハ非常ノ費用ハ其事ノ終リシ後僅々四五年ニシテ拂ヒ盡シ現在ノ義務ヲ未來ニ負擔セシムルノ嫌ナク大ニ増税法ト國際募集法トノ便ヲ兼スルモノ、如シト雖モ此法ニ據リテ巨大ノ費用ヲ處辨セント欲セハ戰爭後數年大ニ民力ヲ課シ又其滿期ノ年必スシモ財政富裕ナルヲ期シ難シ若シ不幸ニシテ戰爭數年ニ連レハ戰爭中或ハ支拂期限ノ來ルモ計ラレス況ヤ非常ノ事アルノ後ハ民力稠縮スルハ最モ通例ノ事ナレハ非常ノ事アルニ當リ此

法ノミニ據リテ國費ヲ支辨スルハ決シテ策ノ得タルモノコアラサルナリクリミヤノ役英國ニ於テモ尙ホ專ラ之ヲ行フコト能ハス速ニ之ヲ廢シ通常ノ公債ヲ募ルニ至レリ請フ少シク其然ラサルヲ得サル所以ノ理由ヲ辯セン英國ニ於テハ右ノ方法ヲ施行セシト雖モ此法ハ遠隔ノ地方並ニ外國ヨリ其遊金ヲ呼入ル、ヲ得ス到底此方法ヲ以テ巨額ノ金員ヲ得ルコト能ハサルヲ發見シ且ツ各種ノ大藏省證券ノ仕拂ニ苦ミ之ヲ永遠ノ公債ニ組替フルカ爲メ公債證書發行ノ事ヲ決定セリ其發行ノ月日方法ハ頗ル後學ノ論題トナルヘキモノナレハ之ヲ茲ニ掲載スルモ敢テ無益ニアラサルヘシ當時確定公債ヲ起セシハ西曆千八百五十五年四月(戰爭ノ告知ハ前年ノ四月三十日ナリ)ノ八千萬圓ヲ以テ始メトス此公債ハ三分利付ニシテ更ニ三十年間百ポンド(二)ポンドハ我金貨凡ソ五圓ニ付キ拾四(シ)リング(二)ニ(シ)リングハ凡ソ二十五錢(六)ペンス(二)ペンスハ凡ソ二錢ノ年賦金ヲ與ヘ平價ヲ以テ之ヲ發行セリ公債ニ年賦金ヲ付スルハ英國ノ流行物ニシテ決シテ宜シキヲ得ル者ニアラス(次ノ公債ハ同年度中ニ起セシ額面二千七百七十七萬七千八十五圓實收高凡二千五百萬圓此公債三分利付ニテ別ニ年

賦金ヲ付セス百十一「ポンド」ニ「ソリング」ニ「ペンス」ノ公債證書ニ對シテ百「ポンド」ノ現金ヲ受取リタリ實ニ是レ八十九「ポンド」ニ付キ三「ポンド」ノ利子ヲ與フル者ナリ次ノ年度ニ於テ更ニ額面二千六百八十八萬二千二百九十圓實收高凡二千五百萬圓ノ公債ヲ起セリ此度モ三分利付ニテ百「ポンド」ノ拂込ニ對シ百七「ポンド」ニ「ソリング」七「ペンス」ノ公債證書ヲ與ヘタリ故ニ利子ノ割合ハ凡九十二「ポンド」ニ付キ二「ポンド」ナリ其他三分利付ノ大藏省證券ヲ永遠ノ公債ニ組替ヘシモノ一千五百萬圓此公債ノ額面千六百六十六萬六千二百五十圓ニシテ九十二「ポンド」ニ付キ利子三「ポンド」宛ノ割合ナリ而シテ英國カ當時三箇年乃至五箇年ノ期限ニテ借入レシ高凡三千五百萬圓ナレハ之ヲ右ニ記載スル確定公債ノ實收高ニ合算セハ凡一億八千萬圓ニ達ス今前ニ掲載セシ公債ト租稅トノ比較高ヲ見ルニ英國カ當時軍費ノ爲メニ借入レシ高ハ一億九千八百五十七萬六千六百圓餘ナレハ右ニ記載スル者ノ外尙ホ凡千萬圓ハ大藏省證券ニテ借入レシナルヘシ右ニ陳述スル所ヲ以テ見レハ英國ハクリミヤ戰爭ノ費用ノ過半ハ租稅及短期公債ヲ以テ支辨シ其確定公債ノ支辨ニ係ルモノ一億四千五百萬圓之ヲ軍費全

額三億四千六百餘萬圓ニ比較スレハ其半額ニ達セサルヤ遠シ此支辨方法ハ大ニ其當ヲ得タルモノト云フヘシ當時英國政府カ偏理ヲ守リ増稅論ヲ主唱セシハ頗ル慮リテ缺クノ議ナキヲ得スト雖モ是レ或ハ戰爭ノ初期増稅ハ財政上ノ得策ナルヲ察シ之ヲ實施センカ爲メ政略上故ラニ極端論ヲ取リシモノナルヤ又知ルヘカラス若シ夫レ然ラズ之ヲシテ米國戰爭及ナポレオン戰爭中英國ノ理財家大ニ公債ヲ増加セシヲ見テ先者ノ過失ヲ矯正セント欲シ却テ他ノ極端ニ走リシモノトセハ是レ實ニ思ハサルノ甚シキモノニシテ所謂藥ニ懲シテ蓋ナク吹クノ譏ヲ免レサルナリ財政ノ局ニ當ルモノ宜シク謹ムヘキノコトナリ當時英國政府カ熱心ニ増稅主義ヲ唱ヘシハ果シテ何等ノ情ニ據ルヤ知ルヘカラスト雖モ兎ニ角クリミヤ戰爭ノ時ノ財政ハ實蹟上大ニ其當ヲ得タルモノナリ然レトモ西曆千八百六十年ヨリ同千八百六十九年ニ至ルマテ歐洲大陸ノ景況穩ナラサルニ際シ警備ノ爲メ二千七百二十五萬圓ノ公債ヲ奏平無事ノ日ニ起セシハ決シテ策ノ得タルモノニアラサルナリ英國人民ノ富裕ナル何ソ國家護衛ノ爲メニ僅々二千七百餘萬圓ノ増稅ヲ奏平無事ノ時ニ負擔スルヲ苦マンヤ

當時此公債ヲ起セシハ英國財政ニ於テ最モ取ラサル所ナリ然ルニ當時英國政府カ此公債ヲ永遠ノモノトセス西曆千八百八十四年四月五日ヲ限リ之ヲ償還スヘキモノトセシハ少シク想スル所アルニ似タリ凡公債ヲ起スハ時ヲ期シテ之カ返済ヲ約スルハ頗ル不便チ來タスノ恐ナキヲ得スト雖モ已ニ巨額ノ永遠公債アレハ妄リニ之ヲ増加セサルヲ良トス而シテ國防ノ爲メニ起ス所ノ公債ハ他ニ著シキ差支ナキニ於テハ二三十年即チ現行人ノ在世中或ハ砲臺建築大砲製造ノ進歩未タ現在ノモノヲ不用ニ歸セシメサルノ時間ヲ豫期シ其償却ヲ計ルハ或ハ其當ヲ得ルモノナランカ

以上説ク所ノモノヲ以テ之ヲ見レハクリミア戦争ノ費用ヲ辨スルカ爲メニ英國ノ實施セシ所ノモノハ大ニ其當ヲ得セモノト云フヘシ已ニ説ク所ノ如ク租稅ハ無限ニ之ヲ増加スルヲ得ス而シテ重稅ノ弊ハ最モ恐ルヘシ故ニ非常ノ費用ハ長ク租稅ヲ以テ之ヲ支辨スル能ハサルナリ元來租稅法ヲシテ完全無缺ナラシムルハ人智ノ及ハサル所ニシテ吾人ノ爲ス所ハ只其不公平ト其不便ヲ減少スルヲ得ルノミ如何ニ理論上公平ナル租稅ト雖モ實施上或ハ定稅法ノ不十

分ナルモノアリ徵稅者ノ性質ニ寬嚴ノ差アリテ其實際ノ負擔ハ意外ノ結果アルモノアリ或ハ被稅者中正直ナルモノアリ隱蔽ニ巧ナルモノアリ決シテ實際ニ公平ヲ得サルハ租稅其者ノ性質トシテ必スヤ免ル、能ハサル所ナリ輕稅ニ於テハ是等ノ不便尙ホ忍フヘシト雖モ重稅ニ於テハ到底民力ノ能ク堪ヘ得ル所ニアラサルナリ實ニ重稅ノ弊害タル國民ノ資産ニ關係スルハ勿論大ニ道徳上ニ影響スル所アレハ彼ノ道徳主義ヲ基礎トシテ公債ハ現在ノ爲メニ未來ニ負債ヲ殘スノ説ヲ墨守スル輩ト雖モ大ニ慮カラサルヲ得サルナリ英國當時ノ財政彼是ヲ斟酌シテ實ニ宜シキヲ得セモノト云ハサルヲ得ス

クリミア戦争ノ費用支辨ノ爲メ英國ノ財政其宜シキヲ得タルコト斯ノ如シト雖モ今溯リテ合衆國獨立ノ戦争及ナポレオン戦争時代ノ英國政府ヲ見ルニ頗ル其當ヲ失スルモノナキヲ得ス合衆國獨立戦争ノ總費用ハ四億八千七百餘萬圓其内租稅ヲ以テ支辨セシモノ價ニ千五百餘萬圓其他ハ盡ク公債ヲ以テ之ヲ支辨セリ是レ實ニ費用ヲ公債ニ取ル多キニ過クルモノト云ハサルヲ得ス然レトモ當時英國ノ財政ヲシテ租稅ヲ増スヲ得サルモノタラシムレハ余輩又何チ

カ云ハン然ルニ該戦争ノ初メ即チ西曆千七百七十七年十月十日ニ於テ終ル所
 ノ會計年度ノ英國歳入ヲ見ルニ其總額凡五千六百萬圓ニシテ其末年即チ西曆
 千七百八十五年十月十日ヲ以テ終ル所ノ會計年度ノ歳入ヲ見ルニ殆ト八千萬
 圓ニ増加セリ而シテ此間英國ノ經濟上ニ非常ノ變動アルヲ見ス故ニ該戦争中
 所得稅其他或ハ間稅ヲ増加シ之ヲ以テ軍費ニ充ツルコトハ決シテ爲シ得サル
 コトニアラス加之戰費ノ爲メ大ニ通常經費ヲ節減セハ公債ノ高ヲ減少スルコ
 トヲ得シヤ敢テ疑ヲ容レサルナリ然ルニ策茲ニ出テス殆ト專ラ該戦争ノ費用
 ナ公債ニ取リシハ施スヘク且ツ施シ能フ所ノ術ヲ捨テ姑息ノ方法ヲ取リ禍ヲ
 後世ニ遺セシモノト云ハサルヲ得ス是レ蓋シ當時政略上已ムテ得サルモノア
 リテ然ルヤ否ヤナ知ラスト雖モ單ニ財政ノ一點ヲ以テ之ヲ論スレハ大ニ間然
 スヘキモノナキヲ得サルナリ

ナポレオン戦争ノ時ノ財政ニ於テモ亦公債ヲ先ニシ租稅ヲ後ニシ大ニ財政ノ
 順序ヲ過マリ徒ニ公債利子支拂ノ爲メニ費用ヲ増加セシノ狀アルヲ免レヌ當
 時租稅ノ増加ヲ見シハ西曆千七百九十六年即チ戦争開始後三年ノ後ニアリ而

シテ其増加ノ割合戦争前ノ租稅ニ比シテ僅ニ五分ニ止マリ西曆千七百九十八
 年ニ至ルマテハ漸ク増加ヲ示スモノ僅ニ一割八分ニ過キス然レトモ是レ政府
 ニ於テ増稅ヲ力メシノ結果ニアラスシテ大陸ノ諸國ニ於テハ戦争ノ爲メ百般
 ノ事業隆盛ナルヲ得ス英國ノ事業此處ニ乘シ大ニ發達シ且ツ有益ナル發明此
 間ニ起リシニ由ルモノ多キニ居ル西曆千七百九十九年以降ハ租稅大ニ増加セ
 リ是レ實ニ租稅ノ減少ヲ怠リシモノト云ハサルヲ得ス試ニ西曆千七百九十三年
 年ノ英國政府歳入ト同千八百十六年ノ歳入トヲ比較スルニ其初期ノ者ハ凡九
 千七百萬圓後期ノ者ハ凡三億六千二百萬圓尤モ此二十四年間ノ英國ノ進歩ハ
 ワントヘヤグレイフアークライト等ノ新發明アリ殊ニ大陸諸國ハ戦争ノ街ト
 ナリ泰平ノ事業ニ從事スル能ハス英國ハ幸ニ佛軍ノ蹂躪ヲ免レ大陸ニ對シ供
 給者トナリ戦争ノ爲メ却テ事業ノ擴張ヲ來タシ戦争ノ初期ト其末期トニ於テ
 人民ノ被稅力ハ固ヨリ同日ノ論ニアラス且ツ人口ト租稅トノ比例ヲ以テ之ヲ
 論スレハ西曆千七百九十三年ニハ英國愛蘭ハ末々英國ト同一ノ制度ニ歸セス
 附屬王國ナリシニ由リ之ヲ加ヘスノ人口八百萬乃至九百萬ニシテ歳入ハ九千

七百萬圓ナリシヲ以テ假ニ人口ヲ八百五十萬ト見レハ一人ニ付キ十一圓五十四錢餘ニ相當セリ是レ已ニ輕稅ニアラサルナリ而シテ西曆千八百十六年ノ人口ハ凡一千萬愛蘭ヲ込テ元來愛蘭ハ非常ノ貧國ナルヲ以テ英蘇人民ノ負擔高ハ蓋ニ平均高ヨリ超過スルモノナリニシテ歲入ハ三億六千二百萬圓ナリ實ニ是レ一人ニ付キ三十六圓二十錢ノ割合ニシテ非常ノ重稅ト云ハサルヲ得ス晚近英國ノ人口ハ凡三千五百二十四萬千四百八十二人(西曆千八百八十七年ノ調)政府ノ歲入ハ凡四億五千三百八十六萬三千七百九十圓(西曆千八百八十七年ノ實收高)ナルニ由リ一人ノ割合ハ十二圓八十七錢餘ナリ而シテ佛國ハ文明國中租稅最モ重キモノナリト雖モ兩三年以來一人ノ負擔高凡十六圓四十錢餘ナリ加フルニ英國ノ西曆千八百十六年ノ富ハ遠ク方今ノ英佛ノ富ニ及ハサルハ固ヨリ論ヲ俟タサルナリ然ルニ前陳ノ如キ重稅ヲ課スルハ實ニ是レ非常ノコトニシテ斯ノ如キノ重稅ハ決シテ之ヲ課スヘキニアラサルナリ故ニ單ニ西曆千七百九十三年ノ歲入ト同千八百十六年ノ歲入トニ著シキ差違アルヲ以テ戰爭ノ初期ニ大ニ租稅ヲ增加シ以テ公債ノ募集ヲ避クヘシト論スルハ頗ル倉卒ノ

說ナリト雖モ幾分カ所得稅及間稅ヲ增加シ得シヤ故テ疑ヲ容レヌ然ルニ戰爭ノ初期五六年間ハ增稅ヲカメヌ專ラ費用ヲ公債ニ取り其末期ニ至リ非常ニ重稅ヲ課セシハ財政ノ順序其宜シキヲ得シモノニアラサルナリ而シテ初期ノ失政公債ノ額ヲ増加シ末期ノ租額隨テ増加セサルヲ得サリシハ又以テ數ノ免ル、能ハサル所ノモノナリ而シテ公債ノ増加ハ費用ヲ後世ニ遺シ次回ノ非常費支辨ノ爲メ多少ノ不便ヲ與フルナキヲ得ス財政ノ順序ヲ過マルノ結果凡斯ノ如シ豈ニ之ヲ忽ニスルヲ得ンヤ

英國ノ非常費支辨ノ景況ハ已ニ之ヲ略陳セリ今又佛國ノ景況ヲ見ルニ大ニ英國ト異ナルモノアリ佛國ニ於テハ軍費ハ殆ト盡ク之ヲ公債ニ取レリ往古ノ事ハ措キテ問ハス請フ西曆千八百五十三年ヨリ同千八百七十年マテノ景況ヲ陳述セシ佛國政府ハタリミヤノ役中公債ヲ起スコト前後三回第一ハ西曆千八百五十四年ニ第二第三ハ同千八百五十五年ニ於テ之ヲ起セリ其總額四億四千三十萬圓餘利子千四百三十四萬千八百八十圓實收高三億七百六十四萬八千七百八十九圓餘ナリ斯ノ如キ巨大ノ金額ハ固ヨリ僅々一兩年ノ租稅ヲ以テ徵收ス

ル能ハスト雖ニ戦争ノ初メ税率ヲ増加シ新稅ヲ起シ以テ公債ノ募集ヲ減スルハ敢テ爲シ能ハサルノ業ニアラザリシカ如シ何トナレハ當時佛國ノ財政大ニ進歩シ租稅ノ減少廢止少カラザリシニ由レハナリ然ルニ佛國政府ハ西曆千八百五十四年五月却テ之ヲ減少シ郵便稅ヲ五錢ヨリ四錢ニ減少シ爲メニ暫時ハ其收入高百四十萬乃至百六十萬圓ヲ減少セリ此減少タル固ヨリ泰平無事ノ時ニ於テハ大ニ好ミスヘキモノナレトモ當時大戰未タ其局ヲ結ハス國費多端ナルニ際シ故テニ之ヲ減セシハ策ノ得タルモノニアラザルナリ西曆千八百五十五年ニ至リ稍ク僅々タル增稅ヲ議決シ同年五月株式及受取證書ノ記録稅ヲ再徵シ百四十萬圓ノ收入ヲ得同年清酒ニ消費稅ヲ課シ二百九十二萬千六百圓ノ收入ヲ増シ鐵道運送ニ十分一稅ヲ課シ旅行稅ヲ改正シテ二百五十萬四千圓ノ收入ヲ得其他西曆千八百十六年ノ法令ニ據リテ定メタル十分一ノ間稅ヲ負擔スル物品ニ暫時ナ期シテ更ニ十分一稅ヲ重課シ千二百九萬九千四百圓ヲ得タリ由是觀之佛國政府ハクリミヤ戰爭ノ初マリシヨリ一週年ヲ經過シタル後ニ租稅ヲ増加セシコト千八百九十餘萬圓ナリ然レトモ其間郵便稅ノ減少アレハ

十八

十九

純増加ハ凡千七百三十萬圓ナリ然レトモ此増加ニ付キテハ二三ノ論難ヲ試ミサルヲ得サルモノアリ請フ之ヲ論セン

第一租稅ノ増加ハ戦争ノ初マリシヨリ十五箇月乃至十八箇月ノ後ニ施行セラレ此間ノ費用ハ全ク公債ニテ仕拂ハレ利子ノ爲メ徒ニ費用ヲ増加セリ元來クリミヤ戰爭ハ突然ニ起リシモノニアラス其前兆アルヤ久シ故ニ戦争前ヨリ租稅ヲ起シ之カ準備ヲ爲スノ猶豫アリシト雖モ戦争已ニ起ルモ尙ホ之ヲ増加セス右ノ如キ遲延ヲ來スハ財政ノ不注意ト云ハサルヲ得ス

第二其増加ハ僅ニ歳入ノ六分ヨリ七分ノ間ニシテ未タ十分ナリト云フ能ハス第三此增稅ヲ保存セシ時期短キニ過キタリ

元來戦争ノ爲メニ起ル所ノ費用ハ其終ルニ及ヒテ直ニ消滅スルモノニアラス其間信用ヲ以テ買入レ又ハ注文ヲ爲シタル物件ノ代價ヲ戦争終ルノ後ニ支拂ハサルヲ得ス又其間ニ起セシ公債ノ利子モ支拂ハサルヲ得スシテ兩三年ノ間ハ必ス非常費ノ支出ヲ免レス若シ戦争後直ニ費用ノ減少スルヲ得ハ勿論軍費ノ爲メニ起シタル租稅ハ之ヲ廢止スヘシト雖モ其間ニ起セシ公債ハ之ヲ償却

セザルヲ得ス又佛國當時ノ景況ノ如ク其後尙ホ公債ヲ増加スルノ要アルニ於
 テハ其稅ニシテ有害措ク能ハサルモノニアラサル以上ハ暫ク之ヲ存スト雖モ
 何ノ妨ケカ之アラザル然ルニ西曆千八百五十七年六月佛國政府ハ已ニ五百四十
 萬圓ヲ生スル第二ノ十分一稅及二十萬圓ヲ生スル商業廣告稅ヲ廢棄セリ然レ
 トモ同時ニ動産即チ公債證書諸株式ノ授受ニ證印稅ヲ課シ凡百三十八萬圓ノ
 增稅ヲ得シテ以テ純減少ハ凡四百二十二萬圓ナリ實ニ佛國カクリミヤ戰爭ノ
 爲メニ費セシ金高ハ重ニ公債ニ據リ其增稅ヨリ生セシモノハ僅々二千萬圓内
 外ニシテ公債ヲ以テ支拂ヒシモノハ三億七百六十萬圓ノ巨額ニ達ス而シテ當
 時ノ增稅ハ減稅シタルモノヲ差引キ凡千二百萬圓ナルニ由リ僅ニ戰爭ノ爲メ
 ニ起セシ公債ノ利子及之ニ關スル費用ヲ支辨スルニ足ルノ小額ニ止マルモノ
 ナリ當時佛國ノ財政ニシテ增稅ヲ施行シ能ハサルモノタラシメハ余輩亦何ヲ
 カ云ハン然ルニ實況決シテ然ラズ增稅ノ事非常ニ困難ナラサルモノアリ若シ
 佛國政府ナシテ西曆千八百五十四年ノ初メニ於テ同千八百五十五年ニ於テ施
 セシ所ノモノヲ爲サシメ郵便稅ノ減少ヲ將來財政ノ寬裕ナル時ニ讓ラシメハ

此等ハ財源ヨリ一箇年凡三千萬圓ヲ得ルコト難カラズ而シテ西曆千八百四十
 八年以來廢止セシ所ノ諸稅ハ非常費ノ爲メ之ヲ回復スルコトヲ得ヘシ何トナ
 レハ往日後擔セシ所ノ租稅ハ之ヲ當時ニ負擔スルニ難カラサレハナリ(外ノ情
 況ハ變動セストスレハ)即チ西曆千八百四十八年ニ廢止シタル鹽ノ十二分稅ヲ
 復セハ一千二百二十萬圓ヲ得ヘシ地租ノ十七(サンチム)ノ副稅ヲ復セハ五百
 六十四萬圓ヲ得ヘシ西曆千八百五十二年三月ニ廢止シタル入市稅ノ國庫收入
 ニ係ル者ヲ復セハ二百五十九萬七千六百圓ヲ得ヘシ之ニ加フルニ西曆千八百
 五十七年ニ於テ設立シタル動産授受ノ稅ヲ同千八百五十四年ニ設立セハ戰爭
 ノ初メヨリシテ百三十八萬圓ヲ得ヘシ今此等ノ增稅ヲ合算シ郵便稅ヲ減少セ
 サレハ凡四千八百八十餘萬圓ヲ得之ヲ西曆千八百五十八年ノ歲尾迄保存スレハ
 一億六千七百二十餘萬圓ヲ得ヘク而シテ戰爭後ニ其增稅ノ幾分ヲ廢止シ其幾
 分ヲ保存シ以テ戰爭費ノ未拂金ヲ支辨セハ額面四億四千餘萬圓ノ公債實收高
 三億七百餘萬圓ヲ起シ爲メニ千四百二十餘萬圓ノ利付支拂ヲ要セス只凡一億
 四千萬圓餘ノ實額ヲ借入レ每年利子ノ爲メニ千四百二十四萬圓ヲ拂フヲ要セ

ス只八百萬乃至九百萬圓ニテ足レリ而シテ此増稅ヲ爲ス固ヨリ名義ノ争フヘ
 カラサルモノアリ加フルニ既廢ノ者ヲ起シ後ニ起セシ者ヲ前ニ起スノミニシ
 テ決シテ困難ト云フヲ得ス余輩ノ當時軍費ノ爲メニ回復セシト云ヒシ租稅中
 有害ノモノナキニシモアラスト雖モ是レ初メクリミヤ戰爭ノ數年前迄佛國人
 民ノ負擔セシ所ノモノニシテ全ク新稅ヲ起スモノニアラス非常ノ困難ヲ惹起
 スノ恐ナキヤ敢テ疑ヲ容レサルナリ

クリミヤノ役佛國政府其財政ヲ誤ル斯ノ如シ今一步ヲ進メテ伊太利戰役中ノ
 佛國財政ヲ見ルニ更ニ一層ノ不齊ヲ見ル抑佛國政府ハ此役ニ於テ實額一億三
 百三十三萬三千五百七十五圓餘ヲ借入レ公債ノ額面一億七千百十二萬七千百
 餘圓ヲ増加シ利子支拂ノ爲メニ五百十五萬四千六百七十四圓ヲ増加セリ彼等
 ハ此實額ノ全額ヲ該戰爭ノ爲メニ使用セス土木ノ爲メニ費セシモノ掛カラス
 ト雖モ伊太利戰爭ノ如キハ成ルヘキ丈ケハ租稅ヲ以テ其費用ヲ償フヲ要スル
 モノナリ何トナレハ該戰爭ハ佛國後世ノ爲メニ利スル所甚タ少ケレハナリ元
 來非常ノ費用ヲ全ク租稅ニ徵スルハ固ヨリ爲シ能ハサル所ニシテ其幾分ハ之

ナ公債ニ取ラサルヘカラスト雖モ公債ヲ起スノ要アレハ之ニ先チ非常ニ不良
 ノ稅ニアラサル以上ハ増稅ヲ計ラサルヲ得ス然ルニ佛國政府ハ此役ニ於テ銳
 意増稅ヲ計ルノ舉アルヲ見ス却テ之ヲ減少セリ減稅ノコトタル固ヨリ美舉ナ
 リト雖モ國費多端公債ヲ起サレテ得サルノ急アルニ當リテ之ヲ行フハ策ノ
 得タルモノニアラサルナリ(減稅ノ爲メニ大ニ營業振起シ公債ノ元利ヲ數年ノ
 後ニ拂フハ舊稅ヲ保存シ又ハ其増率ヲ拂フヨリ容易ナルノ見込アレハ格別ナ
 リ)抑佛國政府ハ當時西曆千八百五十九年六月價格付ノ郵便物ノ遞送稅ヲ課
 シテ十萬圓ヲ得タリト雖モ同千八百六十年間稅ヲ減セシコト二千六百二十萬圓
 其千八百八十萬圓ハ砂糖ニ減シ其四百十二萬圓ハ珈琲ニ減シ(此二品ハ非常ノ費
 用ヲ支フルニハ最モ適當ナル稅ナリ何トナレハ此等ノ稅ハ他ニ影響スルコト
 多カラサレハナリ)同時ニ酒精稅ヲ増加シ四百五十六萬圓ヲ得(酒精ハ諸製造品
 ノ原質トナリ又ハ學術上ノ使用多クシテ適當ノ被稅品ニアラス)煙草ニ六百六
 十萬圓ノ増稅アリシト雖モ未タ前記ノ減少ヲ償フニ足ラス然リト雖モ是等ノ
 減少ハ西曆千八百六十年ノ英佛貿易條約ニ由ルモノニシテ已ムテ得サルモノ

ナルニ由リ暫ク不問ニ付セサルヲ得スト雖モ池ニ増税ノ道ナキニアラサルナリ即チ戦争ノ初メ西暦千八百五十七年ニ於テ廢止シタル記録税ノ第二ノ十分一税ヲ再興セハ五百四十萬圓ヲ得ヘク同時ニ酒精税及ヒ煙草税ヲ増加セハ千六百十六萬圓西暦千八百五十年ニ廢止シタル地租ノ十七サンチームノ副税ヲ復スレハ五百六十四萬圓ヲ得ヘクシテ通計一箇年凡二千二百二十萬圓ヲ得ヘシテ而シテ記録税ノ第二ノ十分一税及ヒ十七サンチームノ地租ノ副税ヲ兩三年モ保存セハ伊太利ノ役ニ於テモ凡實收高四千萬圓ノ公債ヲ起シ其費用ヲ辨償スルヲ得シナルヘシ加フルニ藝ニクリミヤノ役ニ於テ初メヨリ増税ヲ決行スレハ千四百二十餘萬圓ノ利子支拂ヲ要セス之ヲ八百萬圓乃至九百萬圓ニ減少シ得タルノ實アレハ若シ彼ノ役ニ於テ財政其順序ヲ過マルコトナカリセハ此役ニ於テハ初メヨリ凡五百萬圓乃至六百萬圓ノ非常費ニ充クヘキモノアリ此役ニ公債ヲ償マサルモ後世ニ之ト等シキ餘殃ヲ殘スヤ敢テ疑ヲ容レス公債募集ノ事豈ニ慎マサルヘケンヤ

佛國政府ハ非常ノ費用ヲ所辨スルカ爲メニ租税ト公債トヲ併用スルノ方法ヲ

採ラス伊太利戦争ノ後ト雖モ屢々公債ヲ募集シ非常費ノ爲メ租税ノ増加ヲ計テス西暦千八百六十二年以降普佛戦争ニ至ルマテ前後三回其借入ノ實額凡二億六千六百萬圓額面凡三億五百六十萬圓ニ達シ爲メニ利子支拂ヲ増加スルコト九百十七萬千二百三十四圓餘西暦千八百七十年以降同千八百八十六年ニ至ルマテ確定公債ヲ起セシコト前後五回其額十四億四千八百四十餘萬圓利子三億三千八百餘萬圓ニ増加セリ右ノ外尙ホ巨大ノ公債ヲ起セシト雖モ多クハ流動公債ノ塊集預金ノ支拂舊公債ノ借換事業ノ補助等ニ係ルモノニシテ必スシモ費用ヲ増加スルモノニアラサレハ之ヲ省略ス實ニ是レ巨大ノ公債ニシテ佛國富強ナリト雖モ豈ニ之ヲ瑣少ノ數トスルヲ得ンヤ彼ノ普佛戦争後ノ公債ノ如キハ西暦千八百八十六年ノ一億七千餘萬圓ノモノヲ除キ皆戦争ノ爲メニ起ルモノニシテ當時租税負擔高モ一人ニ付キ十八圓以上ニ昇リシヲ以テ實ニ止ムヲ得サルモノナリト雖モ戦争前ノモノハ西暦千八百六十二年ノ五千五百六十萬圓實收額ノ公債ヲ除クノ外大ニ負擔ヲ後世ニ殘セシモノト云フヘシ何トナレハ右ノ五千五百餘萬圓ノ公債ハ三十年期ノ公債ヲ永遠ノモノニ借換ヘシモ

公債論

ノニシテ敢テ之カ爲メニ利子ノ負擔ヲ増加セシモノニアラスト雖モ他ノモノハ新ニ起セシモノニシテ當時ハ未タ戰爭後ノ如ク租税ノ負擔極度ニ過セサレハ少シク之ヲ増加シテ借入額ヲ減少スルコトノ敢テ爲シ難キノ業ニアラサレハナリ

今願ミテ當時ノ租税増減ノ景況ヲ見ルニ前年非常ノ減少ヲ決行セシニ拘ハラヌ西曆千八百六十一年更ニ間税百七十萬八千八百圓ヲ減少シ之ニ對スルノ増加ハ禁制品ノ輸入免許ヨリ生セシ所ノ九十七萬六千圓ニシテ之ヲ以テ彼ノ減少ヲ償フコト能ハヌ西曆千八百六十二年同千八百六十三年ニ於テ公債元利仕拂ノ爲メ國幣急テ告テ記録税第二ノ十分一税ヲ復シテ五百四十萬圓砂糖税ヲ増加シテ五百九十四萬六千八百圓印紙税ヨリ三百五十八萬六千八百圓ヲ得ンカ爲メ種々ノ計畫ヲ爲シ又車馬税ヲ課シテ五十四萬圓ヲ得ント試ミタリ然レトモ同時營業税ニ十一萬五千六百圓營業ノ爲メニ使用スル鹽税ニ於テ百六十六萬圓關稅並ニ郵便税ニ四十萬圓ヲ減少シ差引純増加凡千三百五十萬圓ヲ得タリ然ルニ西曆千八百六十四年佛國政府再ヒ減少ヲ行ヒ馬税ハ之ヲ縣稅トシ記

三

録税第二ノ十分一税ヲ廢シ公文ノ郵便税ヲ減シ加フルニ伊太利トノ貿易條約ニ由リテ關稅若干ヲ減少シ總減少三百五十五萬圓ニ達シ増加ハ該年中印紙税ヲ以テ最トシ總増加額凡百萬圓ヲ得タリ然リト雖モ未タ減少ノ三分ノ一ヲモ償フコト能ハサルナリ

由是觀之佛國政府ハ非常費支辨ノ爲メニ重ニ公債ヲ募集シ未タ曾テ之カ爲メ租税ヲ増加シ後世ノ負擔ヲ輕クスルノ策ヲ取ラサルモノト云フヘシ抑減稅ノ事タル財政ノ一大美舉ナリト雖モ一方ニ公債ヲ起スノ急アラハ苟モ其稅ニシテ有害措クヘカラサルモノタラサル以上ハ暫ク之ヲ保存シ後世ノ爲メ公債元利支拂ノ義務ヲ減少セサレハ後世ノ財政大ニ害ヲ受クルハ數ノ免レサル所ノモノナリ豈ニ慎マサルヘケンヤ

公債ノ募集ヲ慎マサルヲ得サル夫レ斯ノ如ク然リト雖モ非常ノ費用ハ到底租稅ノミヲ以テ之ヲ辨スル能ハヌ公債ヲ起サ、ルヲ得サルハ已ニ説ク所ノ如ク然ルニ一國非常ノ困難ニ陥リ外國ニ非常ノ巨額ヲ拂ハサルヘカラサル等ノ事アレハ一時非常稅ヲ徵シ之ニ應セサルヘカラストノ論ヲ主唱スルモノ少カラ

公債論

ス即チ佛國ノ西曆千八百七十年ノ敗後當時ノ國會議員ナルラツワ一及ヒフヒ
 リポト一ノ二氏ノ如キハ大ニ此説ヲ主唱シ偶與論ノ賛成スル所トナリテ一時
 頗ル勢力ヲ得タリ彼等ノ説ニ曰ク佛國人民ハ普國ニ十億圓ヲ拂ハサルヲ得ス
 而シテ佛國人民ノ財産ハ二百億圓ニ下ラサルヘシ故ニ奮發シテ一時ニ其二十
 分ノ一ヲ拂ヘハ公債ヲ起シ此償金ヲ支拂ヒ其元利支拂ノ爲メ種々ノ租稅ヲ起
 シ永ク營業ヲ苦ムルヨリ遙ニ上策ナルヘシ而シテ此非常稅ヲ施行セハ人々大
 ニ節儉心ヲ起シ其初メ失フ所ノモノハ速ニ之ヲ回復スルコトヲ得ヘシト此類
 ノ説ハ人民ノ財産ハ皆現金ニテアルモノト妄想セシモノニシテ決シテ實際行
 ハレサル所ノモノナリ元來世ニ至難ナルノ業甚タ多シト雖モ完全無缺ノ稅法
 ヲ設クルカ如キハ實ニ至難中ノ至難ナルモノニシテ實際上租稅ニ不公平アル
 ハ決シテ免ル、能ハサル所ノモノタリ幸ニシテ賦歛重カラサレハ一種ノ稅ノ
 不當ニ輕キハ他種ノ稅ノ不當ニ輕キニ由リテ償ハレ多少ノ不公平アルモ尙ホ
 或ハ忍フヘシト雖モ佛國當時ノ場合ノ如ク十億圓ノ巨額ヲ要シ之ヲ單稅トシ
 テ資本若クハ所得ニ徵集スルニ於テハ殊ニ非常ノ不便且ツ不公平アルヲ免レ

五

ス(ボリユ一氏財政論中租稅論ノ篇單稅ノ部ヲ見ルヘシ)抑人民各個ノ財政調査
 ハ多少假定ノ方法ニ據ラサルヲ得ス而シテ人民ノ財産ハ意外ニ種類多ク且ツ
 大小アルモノナレハ調査上遺漏誤謬隱蔽等ナキ能ハス或ハ檢稅ノ方法嚴ニ失
 シ苛征ノ弊ナキヲ保セス或ハ寬ニ失シ財産ノ一部租稅ヲ免ル、モノナシトセ
 ス良シ想像ヲ以テ人民各個ノ財産ヲ細密ニ査定スルヲ得テ非常ニ實際ト齟齬
 スルコトナシトスルモ租稅ヲ以テ巨額ノ金額ヲ徵收スルハ收入甚タ遲鈍ナル
 モノニシテ急速ノ間ニ合フコト能ハサルノ恐ナキヲ得サルナリ
 然リ而シテ人民ノ財産タル貨幣ニテ積立アルモノニアラス多クハ他ノ動産不
 動産ヨリ成立チ只貨幣ノ名稱ヲ借リテ之ヲ計算スルニ過キス殊ニ不動産ノ如
 キハ急ニ之ヲ貨幣ニ變換スルコト難シ只想像ヲ以テ其價格ヲ計算シ直ニ其五
 分ヲ租稅トシテ支拂フヘシト命スレハ被稅者ハ之ニ從フヲ欲セサルハ勿論假
 令之ニ從ハント欲スルモ之ヲ爲スコト能ハス強ヒテ之ニ從ハシメント欲セハ
 人民ハ租稅ヲ以テ公債ノ利子ヲ支拂フヨリ却テ高キ割合ニテ他ヨリ金員ヲ借
 入レサルヲ得サルヘシ果シテ然ラハ方今佛國ノ景況ヲ以テ之ヲ論スレハ人民

公債論

ノ三分二ハ負債ノ爲メニ大ニ苦ミ百般事業ノ發達ヲ障害スヘシ斯ノ如ク強ヒ
 ナ非常ノ費用ヲ租稅ニ徵セハ緩急ヲ區別スル能ハス急ナル者ヲシテ益急ヲ告
 ケ緩ナル者ハ急ナル者ノ膏血ヲ絞リ益緩ナル者得ルノ効驗ナキヲ保セス之ニ
 反シテ若シ其幾分ヲ公債ニ取レハ一時緩ル者ヨリ出ツル者多ク經濟ノ順序
 ナ紊亂スルコト少カルヘシ而シテ方今歐米各國ノ際ニハ資本ノ流通甚タ容易
 ナレハ外國ノ資本ヲ借リテ一時ノ急ヲ辨スルハ又容易ノ業ナルニ由リ強ヒテ
 巨大ノ租稅ヲ徵シ國民ヲシテ此極ニ陷ラシムルハ決シテ策ノ得タルモノニア
 ラサルナリ若シ又事非常ニ急ナレハ銀行ノ組合ヲ立テ急ニ其資本ヲ借入レ暫
 時之ヲシテ不換紙幣ヲ發行セシムルモ其方法ノ宜シキヲ得ハ未タ以テ國家ノ
 經濟ヲ混亂スルニ至ラサルヘシ固ヨリ斯ノ如キハ所謂非常手段ナルモノニシ
 テ決シテ容易ニ之ヲ用フヘキモノニアラスト雖モ特ニ或ハ之ヲ爲スノ要ナシ
 トセス公債ノ募集ハ元利ノ支拂ニ由リ幾分カ租稅增加シ營業上ノ障礙ヲ來タ
 スノ傾向アリト雖モ之ヲ一時佛國ノ西曆千八百七十年ノ敗後ノ如ク十億圓ノ
 巨額ヲ要スルカ如キ場合ニ於テ國民一般ノ資本ニ五分ノ稅ヲ課スルカ如キ方

六

七

法ト比較セハ其害タル實ニ僅々タルモノナルヘシ
 以上説ク所ノモノハ重ニ戰爭其他非常費ノ支辨ニ付キ之ヲ論セリト雖モ土木
 等ノ爲メニ要スル費用ノ支辨モ亦之ト異ナルコトナシ元來政府ニ於テ有益ナ
 ル土木ニ著手シ時ニ或ハ國庫ヲ開キテ之ヲ助クルハ決シテ無益ノ業ニアラサ
 ルナリ只不急或ハ過當ノ弊ニ陷ラサルヲ力ムルノ要アルノミ有益ノ土木ハ一
 國生産ノ發達ヲ促シ其利益ハ公債ノ一時流動資本ヲ減少スルノ害ヨリ多シ殊
 ニ外債ヲ以テ之ヲ爲セハ此不便アルコトナシ濠洲殖民地ノ公債ノ如キハ皆土
 木ノ爲メニ起セシモノナリ歐洲諸國ト雖モ土木ノ爲メニ公債ヲ起スコト甚タ
 多シ若シ海陸運送等ノ便ヲ開カント欲シ其費用ヲ租稅ニノミ徵セハ其進歩甚
 タ遅ク富ノ發達隨テ遅延スヘシ國家ノ進歩ヲ促スノ事業ハ其業ニシテ苟モ時
 勢ニ適スルニ於テハ公債ヲ起シ其費用ヲ内外人民ノ遊金ヨリ取ルヲ良シトス
 果シテ然ラハ資本家ハ其資本ノ用途ヲ得人民ノ被稅力ハ此業ヨリ増加シ後年
 ニ至リ敢テ元利支拂ノ爲メニ痛痒ヲ感セス之ヲ拂ヒ盡スノ後ハ夫ヨリ出ツル
 所ノ利益ハ之ヲ全收スルヲ得ヘク其事ニシテ其當ヲ得ハ公債ヲ募集シテ之ヲ

公債論

起ス何ノ不可カ之アラン然リト雖モ其業ニシテ其當ヲ得サレハ之カ爲メニ費
 セシ眞實ノ資本(即チ勞力者ノ就業中衣食住ノ爲メニ消費セシ者其事ノ爲メニ
 消費セシ材料等)ハ徒ニ消費ニ歸シ他ノ有益ナル事ノ爲メニ其程ノ資本勞力ヲ
 減少シ其程物價ノ騰貴ヲ來タスヘシ又或ハ資本勞力減少ノ割合ヨリ一層物價
 ナ高クスルコトナキヲ得ス何トナレハ此公債ニ由リテ貨幣流通高ク増加スル
 ナキヲ保セサレハナリ加フルニ此公債元利支拂ノ爲メニ費用ヲ要シ租税増加
 スルノ傾向アリ果シテ然ラハ人民ハ一方ニ於テ物價ノ騰貴ニ苦ミ一方ニ於テ
 ハ租税ノ増加ニ遭遇シ一ノ活路ヲ得ル能ハス進退茲ニ谷リ狼狽措ク能ハス國
 富ノ發達得テ望ムヘカラサルナリ顧ミテ債主ノ地位ヲ見ルニ彼等ハ其業ノ成
 否ニ關セス元利ノ支拂ヲ受クヘキニ由リ其成績如何ハ敢テ彼等ノ利害ニ關係
 セサルモノ、如シト雖モ公債其目的ヲ達セス徒ニ物價ヲ騰貴シ租税ヲ増加ス
 ルニ於テハ外國債主ニアラサル以上ハ消費者及ヒ被稅者トシテ應分ノ損失ヲ
 蒙ラサルヲ得ス甚シキニ至リテハ或ハ元利共ニ失フノ恐ナキニアラサルナリ
 現ニ土耳其埃及ニ貸付ケタル者ノ實蹟其他之ヲ表スルノ例實ニ堪カラズ若シ

不幸ニシテ斯ノ如キ事アラハ債主ハ其財ヲ失ヒ政府即チ負債主ハ財ハ勿論名
 譽マテモ之ナクヒ其禍實ニ止マル所ヲ知ラス勿論事ニ大小ノ別アリ幸ニ事小
 ナレハ禍亦隨ヒテ大ナラズト雖モ大小ニ拘ハラズ禍害ハ即チ禍害損失ハ即チ
 損失ナレハ決シテ忽ニスヘカラサルナリ若シ租税ヲ以テ事ヲ誤ラハ一時ノ禍
 害ニ止マルヘシト雖モ公債ヲ以テ事ヲ誤ルニ於テハ禍ヲ後世ニ傳フル斯ノ如
 シ豈ニ慎マサルヘケンヤ然リト雖モ是レ只公債其目的ヲ誤リシモノ、結果ナ
 リ公債必スシモ目的ヲ過マルモノニアラサルナリ然ルニ世上漫ニ英國ノ例ヲ
 引キ直接間接ニ政府カ一國土木ノ事ニ關スルヲ批難スル者尠カラズ勿論彼等
 ノ論スルカ如ク政府大ニ土木ヲ起シ民業ト競争シ或ハ政府過當ニ之ヲ起シ民
 業ノ創立ヲ妨クルカ如キハ固ヨリ爲スヘキノ事ニアラズト雖モ英國ノ例ヲ以
 テ未タ遠ニ之ヲ他國ニ推スコト能ハス英國ハ四海ノ富國其人民ノ活潑ニシテ
 進取ノ氣象ニ富ムハ大ニ他國ノ羨望スル所ナリ而シテ英國島嶼ニ位シ歐洲大
 陸諸國ノ如ク兵備ヲ厚クスルノ要多カラス隨テ賦歛重カラズ民力餘裕アリ故
 ニ土木ノ業ト雖モ全ク之ヲ民業ニ放任スルヲ得ルノ便アリ他國ニ於テハ即チ

公債論

然ラス其富英國ニ及ハス(北米合衆國ヲ除キ其人民)アングロ、サキソン種族即チ英國人民ノ如ク進取ノ氣象ニ富マス故ニ直接若クハ間接ニ政府之ヲ誘導スル所ナキヲ得ス彼ノ英人ト雖モ決シテ土木等ノ爲メニ負債ヲ起サ、ルニアラス其中央政府ニ於テハ之ナシト雖モ地方政府ニ於テハ土木等文事ノ爲メニ債ヲ起サ、ルモノ殆ト稀ナリ即チ西曆千八百六十七年同千八百六十八年ハ掛ケテハ凡五千萬圓ノ負債ヲ有シ西曆千八百七十一年同千八百七十二年ニ跨リテハ少シク減少シテ凡三千萬圓トナリシト雖モ西曆千八百七十二年同千八百七十三年ニ亘リ増シテ三千四百餘萬圓トナリ西曆千八百七十三年同千八百七十四年ニ亘リ更ニ増加シテ四千百餘萬圓トナレリ此等ノ負債ハ多ク之ヲ土木ノ爲メニ起セシモノナリ而シテ英國ニ於テハ中央政府ヨリ地方政府ニ貸付ヲ爲スコトアリ此内又土木等ノ爲メニ使用セラル、モノ少シトセス由是觀之英國ト雖モ土木等有益ノ事業ノ爲メ公債ヲ起サスト云フヲ得ス北米合衆國印度濠斯地利加奈多喜望峯殖民地ノ如キハ英國ト同種族ナル(アングロ、サキソン)ノ種族相集リテ國ヲ爲スト雖モ國ニ新舊ノ別アレハ資本勢力其景況ヲ異ニシ隨

テ經濟ノ情況ナ一ニセス是等ノ國ニ於テハ土木ノ爲メニ公債ヲ起シ或ハ其他ノ方法ニ據リテ其發達ヲ助ケシ例少カラズ即チ米國政府カ(パンフヒック)鐵道線路ニ當ル官有地ヲ無代價ニテ會社ニ與ヘシカ如キハ(線路ノ左右十英里ヲ與フ)毫モ金員ノ補助ト異ナルコトナシ印度ノ公債ハ西曆千八百七十三年ニハ凡六億三百五十萬圓ニ達セリ是レ重ニ土木ノ爲メニ起スモノナリ同年濠斯地利ノ公債ハ凡二億千三百萬圓ニ達シ皆土木等文事ノ爲メニ起セシモノナリ而シテ印度濠洲ノ發達ハ此公債ニ成ルモノナルハ皆世人ノ知ル所ナリ由是觀之公債ヲ起シテ土木等文事ニ從事スルモ其業時ト所トニ適當スルニ於テハ決シテ不可ナルコトナシ租稅ノモヲ以テ爲シ得サル事ヲモ之ヲ爲スヲ得テ大ニ後世ニ餘惠ヲ遺スモノナキニアラス然レトモ茲ニ最モ注意ヲ促スハ一國モ一箇人ノ如ク驕奢ニ流ル、ノ弊ヲ免レス或ハ一國ハ一箇人ヨリモ之ニ陷リ易キノ實アルコト是ナリ何トナレハ一箇人ハ驕奢ノ効驗ヲ感スルコト甚ク適切ナリト雖モ政府ニ於テハ然ラス其痛痒ヲ感スルコト一箇人ノ如ク甚シカラサレハナリ而シテ公債ハ現在ニ負擔ヲ増加スルコト租稅ノ如ク多カラズ政

府或ハ大工事ヲ起シテ其當時ヲ修飾スルカ如キコトナキヲ保シ難シナボレオ
 ノ第三世ノ爲ス所或ハ之ニ近キコトナシト云ヒ難シ且ツ租税ヲ以テ之ヲ爲ス
 モ公債ヲ以テ之ヲ爲スモ一時ニ大事業ヲ起スコトアレハ忽チ不動資本ト流動
 資本トノ關係ヲ亂シ貨幣市場ノ激動ヲ惹起スコトナキヲ保セサレハ有益ノ事
 業ニシテ差措キ難キモノト雖モ劇ニ巨大ノ工事等ヲ起スハ決シテ策ノ得タル
 モノニアラス徐々トシテ其歩ヲ進ムルヲ良シトス(兵事政略等ニ係ルモノハ格
 別ナリ)之ヲ經營スルハ宜シク半ハ資ヲ租税ニ取り半ハ之ヲ公債ニ取ルヘキナ
 リ果シテ然ラハ財政調和シテ利益ヲ後世ニ遺ス蓋シ僅少ニアラサルヘシ
 以上説ク所ノモノヲ以テ之ヲ觀レハ文武ノ事業ニ就キ公債ヲ起スハ財政上ノ
 一策ニシテ時ニ由リ所ニ由リ之ヲ施行スルハ決シテ失當ノ策ニアラサルナリ
 然レトモ公債募集ノ事タル其濫用最モ容易ニシテ後世子孫ニ煩ヲ遺スコト已
 ニ陳述ノ如クナレハ最モ慎ムヘク租税ノ増加ノ如キモ前陳ノ困難アレハ決シ
 テ之ヲ忽諸ニ付スヘカラス凡文武ノ事件ニシテ非常ノ費用ヲ要スルモノアレ
 ハ其費用ヲ租税公債ノ二者ニ取ラサルヲ得ス其之ヲ租税ニノミ取り或ハ之ヲ

公債ニノミ取ルヘシト云フカ如キハ皆偏見僻説固ヨリ取ルニ足ラサルナリ故
 ニ苟モ非常ノ事件アルニ際セハ須ラク此二者ヲ以テ財政ヲ調理セサルヲ得サ
 ルナリ豈ニ他ニ奇策妙計ノ存スルモノアラシヤ

第六章 公債ノ區分並ニ各種公債ノ得失

第一款 公債ノ區分

公債ノ區分ニ性質上ノ區分アリ形容上ノ區分アリ今性質ヲ以テ區分スレハ強
 募法任意法契約法ノ三種トス任意法ハ之ヲ分チテ二種トス曰ク愛國公債曰ク
 普通公債契約法ハ之ヲ分チテ二類トス曰ク支給若クハ支拂約束曰ク特別借入
 又形容ヲ以テ之ヲ區分スレハ確定公債流動公債及年金ノ三種トス而シテ確定
 公債中永遠公債有期隨時支拂法有期定期支拂法及有期一時支拂法ヲ含有シ流
 動公債中短期公債預金等アリ年金中一生年金有期年金アリ請フ詳ニ其區分ノ
 アル所ヲ陳述セン

強募法トハ國家非常ノ費用ヲ要スルニ際シ政府ノ威力ヲ用ヒ強テ人民ニ貸付
 ナ命スルモノニシテ恰モ昔日ノ御用金ヲ政府ノ借入ト爲スカ如キモノナレハ
 到底此方法ヲ以テ政府必要ノ金額ヲ徵スル能ハサルナリ任意法ハ敢テ強迫ヲ

用ヒスト雖モ愛國公債ノ如キハ人民ノ愛國心ニ訴ヘ幾分カ低利ヲ以テ負債ヲ
 起サント欲スルモノナリ是レ頗ミ難キノ情誼ヲ頼ミ據ルヘキノ根據ヲ得サル
 モノナレハ決シテ此方法ヲ以テ巨額ヲ得ル能ハサルナリ獨リ普通公債ニ至リ
 テハ強迫ヲ用ヒス情誼ニ訴ヘス只内外人民ノ利益ニ訴ヘ利子歩合ハ此ノ如シ
 元金償還ノ方法ハ此ノ如シ依リテ之ヲ利トスル者ハ募リニ應スヘト天下ニ
 公言スルモノナレハ苟モ政府ニシテ普通ノ信用ヲ保チ利子歩合ニシテ市場ノ
 歩合ヨリ低カラス募集價格不當ニ高カラス償還ノ方法其宜シキヲ失セサレハ
 内外ノ人民之ニ應セサルノ理ナシ是レ專ラ諸國ニ於テ普通公債ノ行ハルノ所
 以ニシテ前陳二方法即チ強募法及愛國公債ノ如キハ方今開明國ニ於テ其跡ヲ
 滅シ復タ其用アルヲ見サルナリ

契約法トハ政府カ定期中又ハ無定期ニ支拂若クハ支給ヲ約束スルモノニシテ
 政府發行ノ紙幣會社又ハ一個人へ若干年間ヲ約シ又ハ事情ヲ限り與フル所ノ
 補給金又ハ恩給年金ノ如キモノナリ是等ノ費用ハ其形ニ於テハ公債ノ如クナ
 ラス又之ヲ公債費トセハ所轄應ノ費用ニ編入スルコトヲ得ヘト雖モ契約一

度成リ若干年間若クハ生涯補給金又ハ恩給金ヲ支給スルコトヲ定ムレハ即チ受給者ハ政府ヘ對シ約束ノ高ヲ請求スルヲ得ヘク是レ政府ノ爲メニハ負債タルヲ免レス支拂約束ハ政府發行ノ兌換若クハ不換紙幣ナリ元來紙幣ハ發行者ノ約束手形ニシテ兌換質ノモノナレハ請求次第不換ナレハ或未來ノ時ニ於テ之ヲ支拂ハサルヲ得ス故ニ政府紙幣ハ負債ノ一部分タルヲ免レサルナリ特別借入トハ政府公然公債證書ヲ發行セス特ニ銀行其他ノ資本家ト契約ヲ爲シ利子歩合償還年限等ヲ定メテ借入ル、モノナリ故ニ此類ノ借入ハ隱密公債ノ名アリ然レトモ故ヲニ之ヲ秘スルニアラス只天下ニ廣告シ廣ク公衆ヨリ資金ヲ募集セサルノミ立法部ノ承諾ヲ受クヘキハ勿論ノコトナリ

確定公債トハ法律ヲ以テ其募集額ヲ定メ或ハ其償却ヲ永遠ニ期シ或ハ法律ヲ以テ其償還期限ヲ定メ其元金額ノ確定スルモノナク云フ此類ノ公債中永遠公債トハ豫メ元金償還ノ年月ヲ定メス政府財政ノ寬裕ナルヲ待チ隨時償還ヲ行フモノナリ例ヘハ募集ノ年ヨリ五年間ハ之ヲ償還セス六年目ヨリ隨時財政ノ都合ニ依リ之ヲ償還スルト定ムルカ如シ是レ英佛等ノ如キ信用ノ厚キ國ニ於テ

十六

最モ多ク行ハル、所ノモノナリ元來公債證書ハ賣買自由ノ財産ナルヲ以テ債主ニ於テ資金ヲ要スルトキハ何時ニテモ之ヲ賣却スルヲ得ヘク又公債證書ハ貯蓄ノ爲メニ之ヲ有スル者多キカ故ニ屢償還セラル、ハ却テ不便ナルニ由リ開明國ニ於テ此類ノ公債ノ行ハル、ハ又以テ怪ムニ足ラサルナリ

有期隨時支拂法トハ豫メ償還末期ヲ定ムト雖モ償還年額ヲ定メス末期マテニ何時ニアモ財政ノ緩急ヲ計リ元金ヲ償却シ末期ニハ必ス全額ヲ償還スヘシト約スルモノナリ例ヘハ整理公債ノ償還期限ヲ同條例第九條ニテ證書發行ノ年ヨリ五箇年据置其翌年ヨリ向フ五十箇年間ニ抽籤法ヲ以テ償還スルモノト定メタルカ如キハ則チ此法ノ適例トス其他我國ノ公債ハ概テ此法ニ據ルモノトス北米合衆國ノ諸公債モ亦概テ此法ニ據ル

有期定期支拂法ハ募集ノ時償還年限ハ勿論償還ノ年額ヲ定メ通例元利成崩法即チ前年ニ若干額ヲ償還セシヨリ生スル利子ノ餘裕金ヲ其年ノ償還金ニ加ヘ漸次ニ元金償還ノ額ヲ増加シ年限中ニ償還ナ了スルモノナリ即チ此法ニ據レハ募集ノ時償還表ヲ調製シ嚴ニ之ヲ執行スルモノナリ故ニ償還ハ年額ヨリ多

キコト能ハス又少キコト能ハス頗ル變通ノ便ヲ缺クモノトス土耳其埃及等ノ如ク信用薄キ國へ貸付クルトキハ重ニ此方法ヲ用フ
有期一時支拂法ハ豫メ償還年限ヲ定メ其期限ニ至リ一時ニ之ヲ償還スルモノナリ故ニ巨額ノ公債ハ到底此法ニ據ルヲ得ス只至極小額ノ公債ニ適用スルヲ得ルノミ

流動公債トハ其額確定セス外面ノ情況ニ據リ變動スルモノナリ大藏省證券大藏省預金局ノ預リ金遞信省郵便局ノ爲換貯金ノ如キ即チ是ナリ大藏省證券ハ歳入ニ先チ歳出ヲ要スルトキ未來ノ收入ヲ以テ償還ヲ豫期シ一時歳入不足ヲ補フモノニシテ短期ノ公債ニ外ナラス而シテ其素質此ノ如キモノナレハ歳出歳入ニ伴ヒ一時ノ不足少ケレハ之ヲ發行スルノ要亦少ク之ニ反シテ歳入其時ヲ失ヒ或ハ歳出ヲ要スルコト曾テ豫期セシヨリ速ナル等ノコトアレハ勢其高ヲ増加セサルヲ得ス其増減ハ外物ノ變動ニ從フモノニシテ政府自ラ其額ヲ定ムルコト能ハサル所ノモノナリ各種ノ預金ニ於テモ亦然リ其増減ハ利子歩合ヲ増減シテ少シク之ヲ左右スルヲ得ヘシト雖モ政府カ案ニ預金ノ利子ヲ増減

シテ民立ノ貯藏銀行ト競争スルカ如キ結果ヲ生スルハ固ヨリ策ノ得タルモノニアラス其増減ハ到底市場ノ景況ニ從ヒ預ケ人ノ意ト其經濟上ノ情況ニ任セサルヲ得ス政府ノ意ヲ以テ之ヲ左右スル能ハサルナリ即チ商業沈滯細民職ヲ失ヒ租税ノ收入隨テ減少シ政府融通ヲ預金ニ取ラントスルニ際シテハ却テ引出ノ請求多ク百業活潑租税ノ收入増加シ政府融通ニ苦マサルニ際シテハ却テ其高ヲ増加ス是レ流動公債特殊ノ性質ニシテ世ノ認メテ以テ之ヲ危險トスル所以ナリ然レトモ流動公債ハ財政ノ要具ニシテ決シテ之ヲ廢止スルヲ得ス其効用及取扱方法ノ如キハ大ニ論究スヘキモノナリ

年金トハ政府若干ノ金額ヲ借入レ債主ニ對シ利子ト元金トヲ區別シテ支拂ハス元利ヲ込メタル金高ナ年賦ニテ支拂フコトヲ約束スルモノナリ例ヘハ三十年ノ年金ナレハ第一年ニハ元金ノ三十分一ト元金全額ニ係ル利子ヲ合セタル金額ヲ支拂ヒ第二年ニハ元金ノ三十分一ト已ニ前年ニ於テ一年分ノ元金ヲ償還セシメテ以テ其元金全額ヨリ其高ナ差引キタル殘高ニ係ル利子ヲ合セタル金員第三年ニハ元金三十分一ト其全額ヨリ二年間ノ償還高ヲ差引キタルモノニ

係ル利子ヲ合セテ支拂ヒ漸次此順序ニテ年限マテニ元利ヲ支拂フモノナリ然
 レトモ實際ハ年額ニ差違アリテハ債主ニ不便ナルヲ以テ右ノ如ク年々支拂フ
 ヘキ高チ算出シ之ヲ合シ其總高チ年金ノ年數ニテ除キ毎年同額ヲ債主ヘ支拂
 フモノトス或ハ五圓若クハ十圓ト云フカ如キ計算ニ容易ナル高チ年賦金ノ高
 トシ利子歩合年限ヲ計算シ之ニ應スルノ元金ヲ拂込マシムルモノアリ方今諸
 國ニ於テ年金ヲ算スルニ多ク此第二ノ方法ヲ用フ一生命年金ハ請求者ノ年數ニ
 從ヒ生命保險會社ノ生命調ニ據リ例ヘハ三十歳ノ者ナレハ三十年、四十歳ノ者
 ナレハ二十年生存スヘシト豫定シ年金ノ額ヲ定ム故ニ長命ハ政府ノ支出ヲ增
 シ短命ハ之ヲ減ス是レ已ムヲ得サルノ數ナリ年金ノ方法斯ノ如キモノナレハ
 小額ノ資本ヲ以テ定數年限中最大ノ收入ヲ得ント欲スル者又ハ老後餘年ノ逸
 樂ヲ求メント欲スル者ノ爲メ甚タ便利ニ且ツ財政上ニ於テモ大ニ利用スヘキ
 所ノモノアリ其効用ノ如キハ後詳ニ之ヲ論究スル所アルヘシ有期年金ハ其年
 限中其所持人ニ年金ヲ支拂フモノナレハ年限中所持人死亡スレハ其相續人ニ
 於テ年金ヲ受取ルコトヲ得ヘク又買賣讓與スルコトヲ得ヘキモノナリ

第二款 各種公債ノ得失

公債ノ區分ニ付キテハ前款ニ於テ之ヲ詳悉セリ請フ今一步ヲ進メテ其得失ヲ
 論究セン抑政府ハ國中ニ於テ最大ノ勢力ヲ有シ特ニ人民ノ財産ニ付キ未ダ以
 テ十分ト云ヒ難シト雖モ租據ルヘキノ記録ヲ有スルモノナレハ之ヲ濫用シテ
 強募法ヲ試ミシコト少カラス(方今ハ斯カル無法ノ事ナケレトモ往時ハ隨分行
 ハレタリ)斯ノ如キ公債ハ之ヲ非常強迫稅ト云フト雖モ或ハ不可ナルコトナカ
 ラシカ何トナレハ此二者ハ甘シテ之ニ應スル者ナク其之ニ應スルハ勢抗拒
 スル能ハサルニ出ツレハナリ然リト雖モ此二者ノ間自ラ差異ナキニアラス強
 迫借入ニ於テハ通例利子ハ市場相當ノモノヨリ低シト雖モ尙ホ多少ハ之ヲ得
 ヘク元金ハ固ヨリ政府ニ於テ拂戻スノ義務アリ而シテ證書ハ通常公債ト等シ
 ク付與セラル、カ故ニ債主ニ於テ之ヲ賣却スルコトヲ得ヘシ然ルニ租稅ハ一
 度之ヲ納ムレハ決シテ歸ルコトナシ故ニ強募公債ハ無法ハ則チ無法ナリト雖
 モ強迫租稅ニ比スレハ尙ホ或ハ忍フヘキモノアラシカ

元來強募法ニ二種アリ

第一 政府カ非常ノ費用ヲ要スルトキ其假定シタル國民各箇ノ財産ニ割合ヒ貸付ヲ請求スルコト

第二 人民カ政府ヘ物品ヲ供給シ若クハ政府カ人民ヘ損害ヲ辨償スルトキ若クハ其他ノ原因ニ依リ政府カ人民ヘ支拂ヲ要スルトキ現金ニテ支拂ハス公債證書ヲ付與スルコト

強募法ハ往時屢非常費ヲ得ンカ爲メ又ハ負債辨償ノ爲メニ實施セラレシ所ノモノナリ抑此等ノ方法ハ正道ヨリ論スレハ勿論便宜上ヨリ論スルモ決シテ宜シキヲ得タルモノニアラサルナリ其最モ不良トスル所ノモノハ政府公平ニ借入高チ人民所有ノ財産ニ割付クルノ方法ナキト其收入ノ速ナラスシテ急速ノ需用ニ應シ難キコト是ナリ時トシテハ政府ハ先ツ各府縣ヨリ出タスヘキ高チ定メ之ヲ府縣ニ付シ府縣ハ之ヲ郡ニ付シ郡ハ之ヲ其管内市町村ニ付シ市町村ハ之ヲ各人ニ付シテ各人ノ出タス所ノ高チ定メシコトアリ時トシテハ政府直ニ各人ノ拂フ所ノ直税ノ歩合増ニテ之ヲ募集シ又時トシテハ國中最高裕ノ

六

七

聞アリテ最モ巨額ノ租税ヲ拂フ地方ヲ撰拔シ其通常ノ租税ヲ免シ之ニ出金ヲ命セシコトアリ是等ノ方法ハ共ニ不公平ニシテ且ツ不便ヲ免レスト雖モ第三ノ方法ニ於テハ其最モ甚シキモノト云ハサルヲ得サルナリ而シテ其不公平ニシテ且ツ不便ナルモノハ此方法ニ存スルモノナレハ此方法ヲ施行スル以上ハ決シテ之ヲ免レサルナリ請フ少シク之ヲ辯セン

今數歩ヲ譲リ政府詳ニ各人民ノ財産ヲ知ルヲ得ルト假定セヨ果シテ然ラハ公平ニ募集高チ財産ニ割付クルコトヲ得ルヤ否ヲ決シテ然ラサルナリ元來財産ハ其性質千差萬別ニシテ同額ノ財産ト雖モ決シテ其被稅力ヲ等クセス隨テ公債募集ニ應スルノ力ヲ同クセス此差異アルニ拘ハラス元高同額ノ財産ヨリ同額ノ金員ヲ募集セントセハ非常ノ困難ヲ免レサルナリ今國民財産ノ景況ヲ見ルニ某ハ其財産ノ大部ハ不動産ナルアリ某ハ其財産ヲ舉ケテ長期ノ業ニ使用スルアリ然ルニ格別ニ富裕ナルニアラサレトモ其財産ハ重ニ内外公債證書又ハ銀行預ケ金等ヨリ成立スルモノ妙カラス然ラハ同額ノ財産ニ同比例ヲ以テ金員ヲ募集スルト雖モ第一第二ノ者ニハ重ク第三ノ者ニハ割合ニ重カラサル

へ第一第二ノ者ハ或ハ其業ヲ失フニ至ルモ計リ難カルヘシ實ニ是レ強募法ノ不便ナリ抑此ノ方法ハ緩急ヲ區別シテ遊金ヨリ非常ノ費用ヲ償フコト能ハス之ヲ極度ニ推ストキハ出金者多クハ之ヲ爲メ負債ヲ起サ、ルヲ得サルヘシ而シテ債主ハ負債主ノ必ス其金員ヲ要スルノ實アルヲ知ルヲ以テ非常ノ高利ヲ貪ルヤ敢テ疑ヲ容レサルナリ斯ノ如キ不公、平且ツ不便アレハ此方法ハ大ニ民心ニ背戻シ入金急速ナラス其高豫期ノ願ニ違セズ政府ニ於テモ共ニ不便ヲ免レサルヘシ加フルニ人民カ其方法ノ廢止ヲ望ミ種々其施行ヲ妨ケ或ハ隱蔽甚ク種々ノ不便ヲ免レサルヘシ然ラハ則チ政府人民ノ財産ヲ區別シテ各、其種類ニ據リ貸付ノ比例ヲ定メンカ財産ノ總高ヲ知ルコト已ニ難シ何ソ其種類ヲ詳ニスルヲ得ン斯ノ如キハ到底爲シ得ヘキノ業ニアラサルナリ畢竟スルニ此方法ハ害アリテ益ナキモノト云ハサルヲ得ス然リト雖モ往時諸國ニ於テ此方法ニ據リテ非常ノ費用ヲ辨セシトセシ例少カラス請フ之ヲ左ニ陳述セン往時佛國ニ於テ強募法ヲ以テ金員ヲ募集セシ例少カラス澳地利及西班牙ニ於テモ亦屢此方法ヲ用ヒタリ佛國ニ於テハ西曆千七百九十三年此方法ニ據リ二

億圓ヲ募集セントセシニ人民大ニ之ニ抗シ數月ヲ開ミスルノ後稍クニシテ二千萬圓ヲ募集スルヲ得タリ當時人民ノ財産ヲ定ムルヤ或ハ單ニ官ノ假定ニ據ルモノアリ或ハ出金者ノ同意ヲ得テ之ヲ定ムルモノアリ而シテ此強迫借入ニハ利子ヲ附與セス「アツシニヤ」紙幣ヲ以テ之ヲ拂込マシメ世治マルノ後二年ニシテ之ヲ償還スルモノトセリ指令官政府ノ時ニ於テ強募法ヲ試ミントセシコト前後二回共ニ審察官ヲシテ各出金者ノ負擔スル直税及ヒ其他ノ標準ニ據リ出金高ヲ配當セシメントシタリト雖モ終ニ果サス直税ニ二十五「サンチム」ノ副税ヲ課シテ之ニ代用セリ次ノ強募債ハ西曆千八百十五年王政回復後ルイ公ノ宰相タリシ時ニ行ハレシモノナリ當時政府ハ二千萬圓ノ非常費ヲ國民ヨリ請求シ各府縣ヲシテ其高ヲ分擔セシメ而シテ其高ハ各地方ノ委員ノ定ムル所ニ依リ地方ノ豪商及財產家ヨリ之ヲ徵收セントセリ然レトモ其後國會ニ於テ各府縣ノ出金高ヲ定メタリ而シテ此借入ハ全額ヲ償却セス只其大部分ノミヲ償却セシニ依リ純然タル強迫借入ニアラスシテ幾分カ租税ノ性質ヲ含蓄セリ幸ニ當時ノ政府ハ信ヲ人民ニ得人民モ亦亂ニ飽キテ秩序ノ尊フヘキヲ覺知シ

且ツ其需要高ノ巨額ナラサル等ニア此強募債ハ好結果ヲ得テ豫期ノ如ク西曆千八百十五年九月十五日全ク二千萬圓ノ全額ヲ實收スルヲ得タリ澳地利ニ於テハ強募法ヲ試ミシコト最モ多ク前後六回ニ及ヘリ即チ西曆千七百五十年同千七百六十年同千七百九十四年同千八百六年同千八百五十年同千八百五十九年ノモノ是ナリ其募集方法ハ或ハ直税ヲ基礎トシ或ハ地方ヲ區劃シ是ニ據リテ之ヲ徵セリ而シテ募債ノ目的ハ之ヲ達スル能ハス儘々ノ金額ヲ得ルニ止マレリ其他パデ州ニ於テモ強募法ヲ試ミタリ西班牙ニ於テモ屢之ヲ試ミ就中其著名ナルモノハ西曆千八百三十八年ノモノナリトス

右ノ外貧國ノ政府カ物品供給者又ハ其他ノ債主ニ代金ヲ拂ハス公債證書ニテ之ヲ支拂フコトアリ此公債發行ニシテ政府ト債主トノ約束上ヨリ生スルモノナレハ敢テ強迫ト云フコト能ハスト雖モ元來公債ノ増加ハ賦稅ヲ増加スルノ傾向アルヲ以テ公然法律ヲ以テ之ヲ許可スヘキハ勿論ノ事ニシテ斯ノ如ク行政官ノ方寸ヲ以テ公債ヲ増加スルカ如キハ決シテ許スヘキコトニアラサルナリ又法律ヲ以テ此ノ如キ發行ヲ許スモ決シテ策ノ得タルモノニアラス何トナ

レハ此事タル其々ノ中ニ起リ其高幾何ニ達スルヤ豫シメ計リ知ルヲ得ス最モ濫用ノ恐アレハナリ而シテ一度濫用セラル、ニ於テハ物品供給者ハ重ニ商人ナレハ決シテ猶豫アル資本金ヲ有スルモノニアラス公債證書ハ決シテ其永遠ニ所持セント欲スルモノニアラス必スヤ之ヲ賣却シ金員ヲ收得セサルヲ得ス然ルニ公債證書ノ賣買固ヨリ勞働ト時間トヲ要スレハ此供給者ハ勞ト時トヲ償補スル丈ケノ價格ニテ物品ヲ賣却セサルヲ得ス果シテ然ラハ政府ハ徒ラニ物品ヲ高價ニ買入レ費用ヲ増加セサルヲ得サルヘシ經費ノ不足ハ到底不足ニシテ之カ補充ハ早晚免ル、能ハサルノ數ナルニ由リ其不足ヲ生セサラシムル様注意スルハ勿論ナリト雖モ不幸ニシテ之ヲ生スルニ至レハ初メヨリ公然大藏省證券ヲ發行シ又ハ普通ノ公債ヲ起スヲ好シトス何チ苦ミテ不法ノ濫用多ク且ツ費用ヲ増加スルノ法ヲ採ルヲ要センヤ

斯ノ如ク政府カ物品供給者又ハ其他ノ債主ニ公債證書ヲ以テ支拂ヲ爲スニ兩様アリ

第一 證書ノ時價ニテ支拂フコト

第二 平價即チ額面價格ニテ支拂フコト
 債主ノ同意ヲ得ス公債證書ニテ支拂ヲ爲ス固ヨリ不可ナリト雖モ之ヲ時價ニ
 ア算スレハ尙ホ或ハ怒スヘキノ場合ナキニアラサルヘシ然レトモ證書額面ヲ
 以テ之ヲ算出スルニ至リテハ實ニ是レ不公平ノ極ニシテ強迫最モ甚キモノ
 ト云ハサルヲ得ス故ニ此類ノ支拂ハ政府ノ損失ヲ醸サ、レハ債主ノ損失トナ
 リ徹頭徹尾不便ヲ極ムルモノト云フヘシ然ルニ往時ニ於テハ其例ナキニアラ
 ス即チ佛國ニ於テナポレオン第一世ノ時公債證書ヲ以テ平價ニテ其債主ニ支
 拂ヒ時價ヨリ一割五分若クハ二割丈ケ高價ニテ之ヲ債主ニ押付ケタリ茲ニ於
 テ信用地ニ墜チ政府殆ト負債ヲ起スコト能ハサルニ至レリ王政回復ノ時モ議
 院右黨中第一帝國ノ支拂殘額ハ五分利付公債證書ヲ以テ平價ニテ支拂フヘシ
 トノ説ヲ起セシモノアリシト雖モ當時ノ宰相ルイ公及マルウエト氏大ニ之ヲ
 不可トシ終ニ之ヲ止メ政府ノ信用ヲ保フヲ得シハ佛國政府ノ爲メ大ニ賀スヘ
 キモノト云フヘシ
 又時トシテハ政府カ各種公債ノ元金支拂ヲ爲ス能ハス現金ヲ以テ之ヲ支拂フ

十二

代リニ新ニ公債證書ヲ發行シ之ヲ債主ニ交付スルコトアリ此方法モ法律ノ許
 ス所ニシテ債主ト協議ノ上之ヲ行フモノトセハ時ニ或ハ怒スヘキノナキニ
 アラサルヘシト雖モ強迫手段ヲ用フルモノ、如キハ非常ノ不便ヲ免レス然ル
 ニ往時ニ於テ其例ナキニアラス即チ西曆千八百四十八年七月佛國共和政府ハ
 二箇ノ法令ヲ以テ大藏省證券ノ期限來リシモノ及請求拂ノ政府預リ金ヲ變
 テ公債證書ト爲スノ議ヲ決シ滿期大藏省證券ニ對シ三分利付ノ公債證書ヲ五
 十五フランニテ付與セリ然ルニ當時三分利付ノ公債證書ハ實際額面百フラン
 ノモノ四十三フランナリシ故ニ政府ハ大藏省證券ノ所有者ヨリ凡ニ割以上ヲ
 剝奪セシモノナリ預金ニ對シテハ五分利付ノ公債證書ヲ八十フランニテ付與
 セリ然ルニ當時五分利付ノ公債證書ハ市場ニ於テ七十三フランナリシカ故ニ
 政府ハ預ケ人ニ凡一割ノ損失ヲ與ヘタルモノナリ此損失ハ其後ニ至リ償補セ
 ラレシト雖モ實ニ是レ非常ノ專横ニシテ斯ノ如キハ斷シテ之ヲ惡意アル身代
 限ト云フテ妨ケナカルヘシ若シ政府ニシテ市場ノ價格ニ從ヒ別ニ公債ヲ起シ
 其募集金ヲ以テ滿期ノ短期又ハ請求拂ノ負債ヲ支拂ヘハ前記ノ如キ害ナシト

十三

公債論

確モ短期公債及預金ハ全ク長期又ハ永遠ノ公債ト其質ヲ異ニスルヲ以テ此ヲ以テ彼ニ換フルニ於テハ債主チシテ大ニ其目的ヲ過ラシメ政府ノ信用ヲ傷フコト甚ク強迫ノ借換法ハ決シテ行フヘカラサルモノナリ抑政府カ前陳ノ如キ強迫手段ヲ決行スルハ其財政困難ナル時ナリ財政困難ナル時ハ市場活潑ナル能ハス民其業ニ安ニスルヲ得ス大藏省證券ノ支拂預金ノ拂戻ヲ望ムノ時ナリ此時ニシテ此不正ヲ行フ其害亦甚シト云フヘキナリ今一步ヲ進メテ大藏省證券ヲ購入スルハ如何ナル階級ニ属スル人民ナルヤヲ討尋スルニ彼等ハ其資本ヲ永遠ニ利付ノ證券ニ放下スルヲ欲スル者ニアラス多クハ商工ニシテ證券ノ期限ニ於テハ之ヲ以テ現金ヲ得其使用ヲ期スル者ナリ故ニ一朝之ヲ長期又ハ永遠ノ公債證券ニ交換セラル、ニ於テハ其狼狽決シテ少小ナラサルヘシ假令其交換ハ時價ヲ以テ之ヲ爲スト雖モ金員ヲ得ント欲セハ之ヲ賣却セサルヲ得ス果シテ然ラハ時間ト手數トニ於テ多少ノ損失ヲ免レス其手數ノ如キハ尙ホ或ハ堪フヘキモ商賈ノ時間ハ一分千金爲メニ商機ヲ過ルコトナキヲ保セス果シテ然ラハ其損失實ニ止マル所ヲ知ラサルナリ又政府ニ預金ヲ爲ス者ハ重

ニ細民ニシテ些少ノ貯蓄ヲ有スル者ナレハ政治上或ハ財政上ノ困難アルニ際シテハ彼等ハ平日ノ如ク勞銀ヲ得ル能ハス其信用ヲ使用シテ他人ヨリ金員ヲ借入ル、カ如キハ平日ト雖モ彼等ノ難シトスル所ナリ況ヤ世亂レ商況不振ノ時ニ於テチヤ斯ノ如キ機運ニ際會スレハ彼等ノ生命ハ平日ノ貯蓄ニ頼ラサルヘカラス然ルニ卒然之ヲ長期又ハ永遠ノ公債證券ニ交換セラル、ニ於テハ彼等ハ又之ヲ如何トモスル能ハス或ハ路頭ニ迷フノ極ニ至ルヘシ論者或ハ云ハシ彼等ハ其付與セラレタル公債證券ヲ賣却シ露命ヲ繼クヲ得ヘシト夫レ或ハ然ラン然リト雖モ斯ノ如キ時機ニ於テハ公債證券ヲ購入スル者甚タ少ク非常ノ低價ニアラスンハ却テ之ヲ賣却スルコト能ハス而シテ彼等ハ素ト貧窮ノ細民ニシテ貨幣市場ノ景況ヲ審ニスル者ニアラス加フルニ目下燒眉ノ急アレハ決シテ其公債證券ヲ相當ノ價ニ賣却スルヲ得ス熟練ナル資本家ノ爲メニ踏倒サレテ勢非常ノ廉價ニアラサレハ之ヲ賣却スルコト能ハサルヘシ果シテ然ラハ數年間汗水ノ勞ヲ厭ハス漸クニシテ造リ成セシ財寶モ政府ノ都合ニ依リ其半ヲ消滅スルモノト云フヘシ豈コ之ヲ不正不法ノ處分ト云ハスシテ何ソヤ政

府ニシテ此ノ如キ處分ヲ爲セハ一時或ハ其急ヲ免ルヘシト雖モ將來ニ於テ大藏省證券ヲ購入スルモノナク政府ニ預ケ金ヲ爲スモノナク爲メニ政府ノ財政國家ノ經濟共ニ非常ノ不便ヲ蒙ルハ敢テ疑ヲ容レサルナリ佛國ニ於テ西曆千八百四十八年強迫手段ヲ決行シ後ニ證書ノ法價ト市價トノ差違ヲ辨償セント雖モ其信用ヲ失ヒシハ亦掩フヘカラサルノ實跡ナリ夫レ信用ハ社會ノ據リテ以テ起ル所ナリ信用一度亂ルレハ何ニ據リテ社會ノ安全ヲ計ルヲ得ンヤ斯ノ如キノ禍機ニ遭遇セハ政府ハ宜シク債主ト協議シ延期又ハ借換法ヲ行フヘシ若シ聽カレサレハ新ニ普通ノ方法ニ據リ公債ヲ起シ舊債ヲ支拂フヘシ良シ少シク利子ハ高シト雖モ世治マリ亂鎮マルノ後更ニ公債證書ヲ發シ此高利ノモノヲ償還スル亦何ノ難キコトカ之アラソ

任意法ト雖モ眞ニ財政ノ要具トシテ使用シ得ルモノハ普通公債ノミ其愛國公債ノ如キハ決シテ頼ムニ足ラサルナリ然レトモ佛國ノ新聞記者等ハ大ニ愛國公債ヲ主張スル者アリ彼等ノ說ニ曰ク例ヘハ巴里貨幣市場ニ於テ五分利付公債證書八十四若クハ八十五フランヲ價スルトキハ之ヲ此法ニテ平價即チ百フ

ラソニテ發行スヘシ而シテ此法ハ決シテ其目的ヲ過ラサルヘシト然レトモ斯ノ如キハ決シテ計算ニ精妙ナル資本家ニ望ムコト能ハサルモノニシテ假令小數ノ人民ノ義捐ノ精神ヲ以テ之ニ應スルコトアルヘシト雖モ到底此法ヲ以テ政府ノ需要スル巨額ヲ得ルコト能ハス今試ニ數歩ヲ譲リ愛國公債ハ果シテ施行シ得ルモノトスルモ是レ決シテ策ノ得タル者ニアラサルナリ抑愛國心ナルモノハ其國人ノミニ存スルモノナレハ此公債ヲ起スニ於テハ專ラ金員ヲ内國ニノミ募集セサルヘカラス而シテ巨額ノ公債募集ハ必ス一國流動資本ノ缺乏ヲ來スハ已ニ論究シタル所ノモノ、如シ果シテ然ラハ是レ即チ國家經濟上ノ一大不便ニシテカメテ避クヘキコトナリ豈ニ之ヲ財政ノ得策トスルヲ得ンヤ今佛國ノ實況ニ據リ之ヲ見ルニ愛國公債ハ果シテ其目的ヲ達スル能ハサルヲ知ルニ足レリ西曆千八百三十年及同千八百四十八年ノ革命後佛國ノ財政甚々急ナリ茲ニ於テ政府ハ人民愛國ノ情ヲ喚起セント欲シ彼等ニ諭スニ國民タルモノハ斯ノ如キ時ハ宜シク私利ヲ顧ミス政府ヲ助クヘシ其政府ヲ助クルハ則チ自己ヲ助クルナリ何トナレハ之ニ據リテ公債ヲ復シ凡百ノ事業隨テ活潑ナ

ルヲ得ヘキノ意ヲ以テセリ當時革命ノ後ニシテ民情尙ホ平ナラス幾分カ平日ヨリハ眞ニ愛國心ヲ惹起シ居ルノ時ナリシト雖モ墓々シク之ニ應スル者ナク兩度共政府ハ其目的ヲ達スルコト能ハサリキ又西曆千八百三十一年ニ於テハ平價ヲ以テ五分利付ニテ公債證書ヲ發行セシニ僅ニ四百八萬七千七百八十圓ヲ得タリ當時政府ハ資本家中ニハ頗ル人望ヲ有セント雖モ尙ホ僅ニ此小額ヲ募集シ得ルニ止マレリ西曆千八百四十八年ニモ五分利付ニテ平價ヲ以テ二千萬圓ヲ募集セントセシニ應募額僅ニ五百二十一萬六千四百圓ヲ得タリ西曆千七百八十九年ニモ之ニ類似スル法ヲ施行シ之ニ類似スル結果ヲ得タリ伊太利ニ於テモ亦其結果ヲ同クス由是觀之愛國公債ハ決シテ廣ク之ヲ施行スル能ハス之ニ據リテ非常ノ費用ヲ得ルハ得テ望ムヘカラサルナリ公債ヲ以テ國家非常ノ費用ヲ辨セント欲セハ到底通常公債ニ據ラサルヲ得サルナリ元來普通公債ナル者ハ強迫ノ性質ヲ含マシ情誼ニ訴アルコトナク廣ク内外人民ニ利子歩合其支拂期日元金拂込及償還ノ方法等ヲ告ケ之ヲ利トスル者ニ向ヒテ募集ニ應スヘシト令スルモノニシテ全ク公衆ノ利益ニ訴ヘ其資本ノ放下

ヲ促スモノナレハ其公平無偏且ツ有効ナル素ヨリ論ヲ俟タス故ニ方今開明諸國ノ公債募集ハ確定トナク流動トナク年金トナク皆此方法ニ依ラサルハナシ蓋シ是レ萬世不朽確乎不拔ノ法ナリ其永遠公債有限支拂方法ノ得失ノ如キハ後大ニ論究スル所アラントス

又契約法ニ據リ生スル給與金ノ内社會若クハ一箇人ノ補給ニ係ルモノハ其金高ニハ差違アルヘシト雖モ人民ノ負擔上ニ於テハ恰モ政府カ年金ヲ起シ事業ヲ企圖シ之ニ對シ年賦金ヲ支拂フカ如キ効驗アリ補給費經濟上ノ利害ハ茲ニ之ヲ論スルヲ要セスト雖モ財政上ニ費用ヲ増加スルハ公債増募ノ効驗ニ異ナラス然レトモ築港運輸ノ如キ大事業ハ其經濟上ノ關係ハ勿論兵事上甚ク重要ナル關係ヲ有スルモノナレハ時ニ或ハ政府會社ヲ補給シ又ハ公債ヲ起シテ其募集金ヲ會社ニ貸付ケ大ニ其事業ヲ擴張セサルヲ得サルモノアリ今政府カ會社ニ補給ヲ與フルヲ見ルニ大略左ノ三方法ノ外ニ出テサルカ如シ

第一 政府興業ノ爲メ會社ニ資金ヲ與ヘ鐵道最後ノ部分ノ敷設ヲ助ケ其業

ヲ成就セシメ他線トノ連絡ヲ通シ其他築港船路道路開鑿等ノ事業ニ

レテ資本不足シ最後ノ部分ヲ全クスル能ハサルモノアルトキハ之ヲ
補給シテ其業ヲ全クセシムルコト

第二 政府軍ニ會社ニ補給金ヲ與フルコト

第三 政府期限ヲ定メ薄利ノ會社ニ其利益若干(例ヘハ一割)ニナルマテハ補
給金ヲ與フルコト

是レ政府カ鐵道會社等ヲ補給スルノ三方法ナリ第一ノ方法ハ其高僅少ニシテ
一時政府ノ支出ヲ増加スルノミナレハ必スモ公債ト云ヒ難シ然レトモ巨額
ニ登レハ公債ヲ起サ、ルヲ得ス第二第三ノ方法ニ據レハ數年ノ間年々政府ハ
會社ノ爲メニ支出セサルヲ得サレハ其間ハ政府カ會社ニ負債スルト同様ナリ
此等ノ補給金ハ通例一時ニ之ヲ拂ハス期限ヲ定メテ年々之ヲ支拂フモノナリ
佛國帝政ノ末ニ鐵道會社ニ向ヒ一年兩度ツ、八箇年間補給金ヲ支拂フヲ約束
セシカ如キ即チ是ナリ此金高ハ都合一億四千萬圓ニ達シ頗ル巨大ナル額ニシ
テ帝政ノ時ハ年々兩度ツ、八箇年間若干圓ツ、ヲ支拂フモノトシ之ヲ臨時歳
出ノ部ニ組入レ純然タル公債ノ取扱ニアラサリシト雖モ共和政府ニ於テ舊約

ヲ改メ年々若干圓ツ、ヲ支拂ヒ八十年ニシテ右ノ一億四千萬圓ヲ拂盡シ毎年
利子ヲ支拂フコトヲ約シ全ク取扱方法ヲ變更セシニ依リ初メハ臨時歳出ノ補
給金モ今ハ通常經費ヨリ支拂フ費途ト爲リ純然タル公債ト爲レリ
然レトモ其起リハ公ケニ募集セシモノニアラス會社ト締結セシ約束ノ變更ニ
依リ突然公債ノ起リシモノ、如キ狀ヲ示セリ鐵道會社利益ノ補給ハ一般ノ補
助ト聊違フ所アリ然レトモ其起リハ立法院ノ承認ヲ要スルニ止マリ公債募集
ノ如ク明ナラサルモノアリト雖モ隱然一種ノ公債ヲ醸成シ人民ノ負擔トナル
ニ於テ彼是差異アルコトナシ請フ今其性質ヲ略陳セン抑彼ノ利益補給ノ方法
ハ補給ヲ受クル會社ニ政府ヨリ貸付クル姿ニテ其償付時期シ一般ノ補給ノ如
ク拂切リノ者ニアラス彼ノ利益補給ノ方法ハ政府カ或期限ノ間ニ之ヲ受タル
會社ノ利益或歩合(例ヘハ一割)ニ至ラサレハ其餘額ノミヲ補給シ若シ會社ノ利
益其比例ヨリ多キトキハ其超過高ヲ政府ヘ領収スル者ナリ故ニ政府ニ於テ拂
出セシ高ハ之ヲ回収スルノ道自ラ其間ニ存ス利益補給ノ性質此ノ如クナレハ
政府ニ於テ年々會社ノ爲メニ支拂フ高ハ會社ノ利益ノ多少ニ依リ大ニ左右セ

ラレ甚タ不同ナルモノヲササルヲ得ス而シテ佛國ニ於テハ補給ヲ得ル所ノ會社年々其業ヲ擴張シ補給額大ニ増加スルノ勢アリ然レドモ爾來補給ヲ與フルヲ慎ミ正ニ與フヘキ者ト與フヘカラサル者トナ區別シ濫給ノ弊ニ陥ラサルニ於テハ政府ニ於テモ爲メニ収入ヲ増シ収支相償フコトヲ得ヘシ西曆千八百六十七年ニハ佛國政府鐵道會社利益補給ノ爲メ五百十萬圓ヲ支出シ西曆千八百七十年ニ於テハ八百萬圓ノ収入ヲ得或年ニハ收入金一千百萬圓ニ達セシコトアリキ斯ノ如ク利益補給ハ年々政府ヘ領収スル高ク増シ終ニハ全ク支出セシモノヲ回收スルコトヲ得ヘクシテ當初ノ豫算ニテハ西曆千八百七十四年ヨリ同千八百八十五年マテニ支拂殘四千六百六十萬圓ヲ拂盡シテ全ク補給ヲ止メ年々會社ノ収益中ヨリ補給高ク償戻セシムルノ目的ニテ西曆千八百七十三年同千八百七十四年ニハ收支共ニ豫定スル所ニ違ハサリシ然レドモ爾後補給ヲ受クル會社ノ數頗ル増加シ其支給ノ年限モ隨テ延長セリ佛國政府ハ會社ニ補給金ヲ與ヘ其事業ヲ助クルコト頗ル多シ或ハ政府時々公債ヲ募集シテ有益ノ事業ヲ起ス所ノ會社ニ其募集金ヲ貸付ルコトアリ是レ政府ハ會社ヨリ信用厚

ク幾分カ低利ヲ以テ負債ヲ起スヲ得ヘシ事業ハ政府自ラ之ヲ營ムヨリ會社ナシテ之ヲ營マシムルニ便アレハ彼是ノ長ヲ取り短ヲ捨ツルノ策ニ出ツルモノナリ果シテ此ノ如クナレハ會社ハ株金ヲ募リ割賦金ヲ拂フノ不便ナシ只政府ノ起セシ負債ノ利子ヨリ少々高キ利子ヲ政府ニ支拂ヒ又ハ政府ニ於テ徐々ト元利金ヲ支拂ヒ得ル丈ケノ年賦金ヲ政府ヘ支拂ヘハ政府モ敢テ此負債償ノ爲メ賦款ヲ重クスルノ要ナク實ニ一舉兩全ノ策ト云フヘシ
 特別借入ハ政府カ文武ノ事業ヲ改良セントスルニ當リ其費用巨大ナラス未ダ堂々天下ニ布告シ公債ヲ募集スルヲ要セスト雖モ只其主務省ノ豫算ニ兩三年若クハ四五年間費用ヲ支給シ徐々トシテ之ヲ施行セシメハ或ハ時期ニ後レ却テ費用ヲ増加スル等ノ不便アルトキ銀行若クハ資本家ト約シテ資金ヲ借入レ其事業ノ爲メ主務省ヘ支給スヘキ定額金ヲ支給セス之ヲ以テ元利ヲ支拂フモノナリ是レ實ニ急行ヲ要スル小事業ノ爲メニハ頗ル便利ノ方法ナリ只其口數ヲ増加シ濫用ヲ戒ムルノミ
 確定公債トハ已ニ陳述セシカ如ク其元金ノ確定スル者ニシテ諸國公債ノ大部

分ヲ占ムル者ナリ而シテ永遠公債及有期公債ハ皆此中ニ含有セラレ、モノト
 ス抑、永遠公債ハ元金支拂ノ年限ヲ豫定セス財政ノ緩急ニ應シ隨時之カ償還ヲ
 施行スルモノナレハ財政上最モ便利ナルモノナリ債主ニ於テ元金ノ償却ヲ
 得ルハ低價ノ公債ニアラサル以上ハ強チニ之ヲ望ムモノニアラス其望ム所ハ
 毎年ノ利子ニアリ若シ又元金ヲ得ント欲セハ其證書ヲ賣却スルハ固ヨリ容易
 ノ業ナリ且ツ國家ハ固ヨリ永久ノ目的ヲ以テ設立スルモノナレハ一箇人ノ如
 ク數十年ニシテ死亡スルモノニアラサルナリ往古ハ措キテ問ハス方今ニ於テ
 ハ未開國ノ場合ニアラサル以上ハ國家ノ信用甚タ固ク未來ニ於テ益、其信用ヲ
 増加スルハ敢テ疑テ容ル、能ハス由是觀之永遠公債ハ政府ノ爲メ債主ノ爲メ
 至便ノモノニシテ其大ニ開明諸國ニ行ハレ公債ノ基礎ヲ爲スコト亦偶然ニア
 ラサルナリ今試ニ公債ノ基礎ヲ有期支拂ノモノトセンカ有期公債ハ其期限ニ
 ハ必ス之ヲ支拂ハサルヲ得ス然ルニ國家ノ治亂商況ノ浮沈ハ豫メ年ヲ隔テ、
 之ヲ知ルヲ得ス公債支拂ノ期限ニ際シ兵亂凶愾等ノ禍アレハ政府ハ公債ヲ償
 還スル能ハス之ヲ償還セザレハ信用忽チ墜チ益、世上ノ狂瀾ヲ高クスルノ

恐アルニ由リ此不利ノ時ニ當リ政府ハ高利若クハ低價ヲ以テ新ニ公債ヲ起サ
 サルヲ得サルノ不幸ヲ免レサルヘシ斯ノ如キノ不便アルニ依リ公債ノ大部分
 ハ必ス之ヲ永遠公債ト爲サ、ルヲ得ス而シテ公債ノ償還ハ成ルヘク之ヲ後世
 ニ譲ルヘシト云フニアラス之ニ反シテ其償還ハ成ルヘク之ヲ後世ニ於テ爲サ
 サルヲ得サルハ勿論ナリト雖モ後世ハ今世ノ發明發見其他學藝上進歩ノ餘榮
 ヲ受ケ其富ヲ増スヤ疑テ容レズ貨幣ノ供給信用ノ發達益、其度ヲ進メ貨幣ノ價
 格ハ假令カリフォルニア及ヒ濠洲金抗發見ヨリ方今マテノ程度ニ及ハサルヘ
 シト雖モ尙ホ少シク之ヲ減スヘシ公債ハ必ス二十年若クハ三十年ニ於テ之ヲ
 償還スルモノト爲スヨリ其償還ヲ永遠ニ期スルハ頗ル便利ナルヘク又富ノ發
 達ニ從ヒ利子歩合ヲ減少スルハ數ノ然ラシムル所ニシテ今世ノ公債ハ後世ニ
 於テ大ニ高利ノモノトナリ低利ヲ以テ之ヲ借換ヘ國家ノ費用ヲ減少スルコト
 又容易ノ業ナルヘシ果シテ然ラハ公債募集ニ際シ法ヲ他ニ求メス永遠公債ノ
 方法ニ據ルヘキハ殆ト論ヲ俟タサルモノ、如シト雖モ財政ノ經營未タ此ノ如
 ク單純ナルヲ得ス公債ヲシテ盡ク永遠公債タラシムル能ハサル所ノモノアリ

元來永遠公債ハ財政ノ都合ヲ計リ其元金ヲ償還スルモノニシテ政府ヘ償還ノ義務ヲ強ヒス政府或ハ力ヲ公債ノ償還ニ盡サス事ヲ等閑ニ附スルノ恐ナキヲ得ス然ルニ公債ハ累積ノ傾向ヲ有シ一公債ノ償還ヲ終ヘサルニ已ニ他公債ノ起ルハ勢ノ已ムナク得サルモノアリ不幸ニシテ償還ヲ等閑ニ附スルコトアレハ公債累積シテ後世ノ負擔大ニ加ハリ或ハ其發達進歩ヲ妨クルノ恐ナキヲ保セサルナリ故ニ永遠公債已ニ巨額ニ達スルニ於テハ募集ニ際シ少シク有期ノ公債ヲ起シ以テ此公債累積ノ禍ヲ避ケサルヲ得ス只其高多キニ失シ爲メニ財政ノ變通ヲ妨ケ不便ヲ惹起スルコトナキヲ力ムルノ要アルノミ

有期隨時支拂法ハ證書發行ノ年ヨリ何箇年据置何箇年目ヨリ向フ何箇年目マテニ支拂フヘシト定ムルモノナリ佛國ノ「五ヨリ十」北米合衆國ノ「五ヨリ十」「六ヨリ二十」等ト號スル公債ハ皆此類ニシテ即チ證書發行ノ年ヨリ四箇年据置キ五箇年目ヨリ向フ十箇年目マテ又ハ五箇年据置キ六箇年目ヨリ二十箇年目マテノ間ニ財政ノ都合ヲ謀リテ支拂フヘシ然レトモ滿期ノ節即チ十箇年目若クハ二十箇年目ニハ必ス支拂フヘシト約束スル所ノモノナリ故ニ此方法ニ據レハ

元金ハ財政ノ緩急ニ拘ハラヌ毎年必スシモ之ヲ支拂フヲ要セス又永遠公債ノ如ク負債ヲ後世ニ殘スコト多カラヌ大ニ便利ナルモノ、如シ然リト雖モ又其不便ナキヲ得ス請フ今其不便ヲ論究セン

此方法ニ據レハ期限中ノ各年度ニハ必スシモ支拂ヲ要スルニアラサルヲ以テ政府ニ於テ年々ノ豫算ニ必ス其償却ヲ見込ムヤ否ヤ未タ遠ニ之ヲ保證スルコト能ハス若シ立法部又ハ行政部ニ於テ只其年ノ經費ヲ減少スルヲ策トシ未來ヲ顧ミサルカ如キコトアレハ滿期ノ年ニ當リテ非常ニ歳出ヲ増サ、ルヲ得ス果シテ然ラハ財政ノ不便是ヨリ甚シキハナシ而シテ滿期ノ年ニ於テ政治上或ハ經濟上ノ困難ヲキチ保セス然レトモ之ヲ支拂ハサレハ大ニ信用ヲ傷ヒ益、其困難ヲ増加スルハ敢テ疑フ容ル、能ハス若シ此ノ如キ不幸ニ遭遇スレハ高利ノ公債ヲ起シ之ヲ辨償セサルヲ得サルコトナキヲ保セス是レ此類ノ公債ノ最モ不便ナル所以ナリ又償還ノ期限短キニ過シレハ五六年間財政困難ノ連續スルハ珍シカラサルコトナレハ此間ニ公債ヲ償却スルハ甚ク困難ナルヘシ現ニ佛國ノ西曆千八百七十年後五六年ノ景況其他歐米各國ノ商業沈滞ハ實ニ五六

年ニ渉ルノ例少カラス然レトモ若シ償還年限ヲ四五十年トシテ政府ニ於テ償却
 ナ決行シ成崩ノ法ニ從ヒテ其償還ヲ怠ルコトナク若シ又幸ニシテ歳入殘餘ア
 レハ之ヲ其償却ニ宛テ平年ニ於テ之カ償還ヲ怠ラサレハ滿期ニ至リ收テ困難
 ナ生スルコトナク又此法ハ据置年限ヲ過クレハ何時ニテモ償還ヲ行フコトナ
 得ルヲ以テ市場ノ景況低利ノ公債ヲ起スヲ得ルニ至レハ直ニ借換ヲ行フヲ得
 ヘク實ニ此方法ハ政治上經濟上ノ原因ヨリ財政ノ裕ナラサル時ニハ強テ償却
 ヲ爲スヲ要セス又永遠公債ノ如ク償還ヲ永遠ニ期セサルヲ以テ自然償還ニ注
 意スルノ勢アリ只滿期ニ至リ或ハ困難ナキヲ保セスト雖モ平常右ノ如ク銳意
 償還ヲ決行セハ假令滿期ニ際シ多少ノ困難ナキヲ保セスト雖モ大ニ之ヲ減少
 スルヲ得ヘシ而シテ滿期ノ年ニ困難アルハ期限中ノ年ニ之アルヨリ少キハ數
 ノ然ラシムル所ナリ然レトモ期限中ニ時々償還ヲ爲サレハ滿期ニ至リテ困
 難アルハ是レ又數ノ然ラサルヲ得サルモノナレハ平日其償還ヲ怠ラス假令法
 律ハ毎年ノ償還ヲ強ヒスト雖モ政府ニ於テハ毎年若干額ヲ償還シ滿期マテニ
 償還ヲ盡スノ胸算ナカルヘカラス尙モ注意ヲ怠ラスンハ此方法ハ大ニ用フヘ

キモノアリ我國ノ諸公債ハ多クハ此法ニ據ルモノナリ北米合衆國ハ新開ノ國
 ニシテ未タ歐洲諸國ノ如ク古國ノ體裁ヲ爲サレニ由リ永遠公債ノ發達未タ
 盛ナラス其公債中此類ニ屬スルモノ甚タ多シ又是レ自然ノ勢ナリト云フヘシ
 有期定期支拂ハ豫メ償還年限ヲ定ムルモノナレハ政府ヲシテ明ニ支拂ノ義務
 ナ負擔セシメ其支拂高ハ年ニ著シキ差違アルコトナク又非常ノ巨額ニ登ラス
 容易ニ年々ノ豫算ニ之ヲ組込ムコトナク一見甚タ便利ナルモノ、如シト
 雖モ少シク其關係ノ及フ所ヲ見ルニ大ニ然ラサルモノアリ今如何ニ此法ヲ實
 施スルヤヲ見ルニ先ツ第一ニ十五年、二十年、三十年、五十年若クハ九十九年(九十
 九年ヲ以テ通例最モ長キモノトス)ト云フカ如ク償還ノ期限ヲ定メ支拂表ヲ制
 スルヲ通例トス其支拂方法ハ通例成崩ノ方法ニ據リ初年ノ償還ハ最少額ニシ
 テ第二年ヨリハ前年ノ償還ニ由リテ減少セタル利子ノ金高ヲ元金ノ償却ニ加
 算シ累年此法ヲ用フルニアリ故ニ年々之カ爲メニ別ニ増額ヲ要スルコトナク
 自然ニ償却高ヲ増加スルヲ得ルモノトス是ヲ以テ國家幸ニ平穩無事ナルヲ得
 毎年巨額ノ歳入殘餘ヲ有シ償還ヲ豫期スルヲ得ヘキ彼ノ北米合衆國ノ如キ國

ニ於テハ此方法ハ最モ適當ノ法ナリトス然リト雖モ國ニ盛衰治亂アルハ數ノ免レサル所ニシテ三四十年若クハ四五十年ノ間太平無事ナルハ決シテ期ヲ得ル所ニアラス其間政治上經濟上ノ波瀾起ルニ際スレハ大ニ其年ノ支拂ニ苦ムヘシ然リト雖モ斯ノ如キトキハ政府ノ信用大ニ動搖スルモノナレハ之ヲ支拂ハサレハ益以テ其信用ヲ害スヘシ故ニ力メテ之ヲ支拂ハサルヲ得ス斯ノ如キ時運ニ際シ政府前約ヲ履行セントスレハ高利ニテ更ニ公債ヲ起サ、ルヲ得サルヘシ是レ此方法ノ一大不便ナリ而シテ又此方法ハ永遠公債若クハ有限隨時支拂法ノ如ク低利ニ借換ユルノ便利ナク市場ノ景況借換ヲ爲シ得ルニ至ルモ之ヲ施行スル能ハサルナリ實ニ有期定期支拂ハ財政整頓セス信用薄キ國ニ貸付クルニ當リテ用フルノ方法ニシテ負債主ヲ攻ムルニ嚴ニ過キ財政ノ變通ヲ妨クルモノト云フヘシ由是觀之有期定期支拂方法ハ政府ヲシテ其支拂ヲ力メシムルノ便アリト雖モ歲計ノ緩急ヲ問ハス必ス其支拂ヲ強フルモノナルニ由リ前約ヲ履行スルカ爲メニ新ニ高利ヲ以テ公債ヲ起サ、ルヲ得サルノ場合ナキヲ保セス且ツ市場ノ景況ニ據リ借換ヲ爲シテ國費ヲ減スルノ便利ナク故

ニ公債ヲ起スニ專ラ此方法ニ據レハ活潑ノ財政得テ行フ能ハス殊ニ期限五六年十年ノ長キニ涉ルモノハ甚タシキ不便ヲ感スヘシ現ニ獨逸諸州ノ如キハ此方法ニ由リ公債ヲ起シタルカ爲メ假令市場ノ歩合ハ三分半トナリシ時ト雖モ尙ホ五分ノ利付公債ヲ借換ユルコト能ハスシテ今ニ五分利ヲ支拂ハサルヲ得サルモノアリ

有期一時支拂法ハ償還ナ一時二期スルモノナレハ其年期中財政甚タ緩裕ニシテ大ニ償還ヲ施行スルノ好果ヲ得ルト雖モ進ミテ之ヲ償却スルヲ得ス其期限ニ至リ財政甚タ困難ナリト雖モ必ス之ヲ償還セサルヲ得ス又期限中利子大ニ低落スト雖モ低利ノ公債ヲ起シテ償還ヲ行フコトヲ得ス頗ル不便ノ方法ナリ而シテ其額巨大ナルニ於テハ困難益加ハリ假令政府ハ之ヲ償還シ得ルト爲スト雖モ債主ニシテ一時ニ償却ヲ受タルニ於テハ其償還金ヲ以テ他ノ動産ヲ買入ル、者大ニ増加シ動産ノ價格爲メニ騰貴シ投機ヲ誘導スルコトナキヲ保セス又内國市場ニ於テ動産ヲ購買スレハ其價格ヲ増加スルニ由リ巨額ノ資金ヲ輸出シ外國市場ニ於テ動産ヲ買入レ爲メニ外國爲換ノ逆戻ヲ來タシ市場ノ混

亂ヲ惹起スコトナキヲ保セス又償還金ヲ以テ他ノ動産ヲ購買スレハ必ス其價格ヲ増加シ所得ヲ減スルヲ以テ償還ヲ受ケタル者ハ之ヲ不便トシ事ノ緩急需要ノ景況如何ヲ顧ミス各種ノ事業ヲ試ミ或ハ投機者流ノ爲メニ欺カレ或ハ未熟ノ爲メニ資金ヲ蕩盡スルノ恐ナシトセス由是觀之有期一時支拂法ハ巨額ノ公債募集ニ之ヲ用フルヲ得ス只僅々少額ノ公債ニ之ヲ用フルヲ得ルアルノミ一流動公債ハ國庫一時ノ不足ヲ補ヒ又ハ一年度ノ不足ヲ補フカ爲メ後年度ノ收入ヲ以テ償還ヲ期シ又ハ政府カ人民ノ貯蓄ヲ獎勵保護センカ爲メ預リ金ヲ爲ス等ヨリ起ルモノニシテ是レ亦財政上施政上避クヘカラサル所ノモノタリ請フ逐一其起ラサルヲ得サル所以及其効用ヲ論セン

流動公債中短期公債ハ大藏省證券ニシテ其効用ハ歲計上一時ノ歲入不足ヲ補ヒ或ハ歲入ノ減少又ハ臨時意外ノ歲出等ノ爲メ一年度ノ收支相償ハス償還ヲ後來ノ三四年度ニ期シ其年度ノ歲計ヲ結了スルモノナリ元來政府カ歲計豫算ル立ツルヤ其年度收支ノ景況ヲ審查シ丁寧反覆非常ノ注意ヲ以テ之ヲ定ムル者ナルニ由リ非常ノ事件アルニアラサレハ年度ノ終結ニ至リ著シキ過不足ナ

キヲ得ヘント雖モ歲出ハ歲入ヲ待チテ之ヲ支辨シ得ヘキモノニアラス公債利子俸給、廳費等各支出ノ期アリ而シテ警察兵事等ノ爲メ不意ノ費用ヲ要スルモノアリ又天變地殃疫病等不測ノ變ナキヲ得ス此等ノ事アレハ假令幸ニシテ其事大ナラス結局其年度ノ收入ヲ以テ其費用ヲ支辨シ得ヘントスルモ收入未タ納マラサルニ支出ヲ要スルコトナキヲ得ス殊ニ我國ノ如ク政府ノ歲入ヲシテ多クハ收入期節アルモノヨリ生スルモノタラシメハ大藏省證券發行ノ要多キハ實ニ數ノ免レサル所ノモノタリ又不幸ニシテ天變地殃等ノ爲メ歲入ヲ減スルカ或ハ費用ヲ増加スルカ又ハ歲入ノ減少歲出ノ増加交至リテ事未タ大ナラス確定公債ヲ募集シテ之ニ應スルヲ要セスト雖モ到底其年度ノ歲入ヲ以テ之ヲ支辨スル能ハス歲計ノ不足ヲ生スルトキハ兩三年若クハ四五年ヲ以テ償却シ得ル所ノ大藏省證券(我國ニハ年度ヲ越スモノナシ)ヲ發行シテ其費用ヲ支辨スルヲ可トス又彼ノ特別借入ヲ爲スニ當リ債主ニ此類ノ大藏省證券ヲ與フルコトアリ元來大藏省證券ハ賣買ノ自由ナルモノナルニ由リ普通貸金證文ヨリモ債主ノ爲メニ便利ナルモノナルヤ敢テ疑ナ容レサルナリ

右陳述スルカ如キ原因ヨリ借入ヲ要スルニ際シ確定公債ヲ起スハ所謂是レ鶏
 ナ割クニ牛刀ヲ用フルモノナリ世上ノ事固ヨリ大小緩急ノ別アリ事ニ據リ之
 ニ應スルノ術ナキヲ得ス流動公債ノ起ル亦已ムヲ得サルモノアリ
 短期公債ハ前陳二様ノ使用ニ充ツルモノニシテ佛國ニ於テハ其使用頗ル多シ
 元來流動公債中短期公債ノ存在スルハ歳入歳出其順序ヲ得サルカ或ハ信用甚
 タ薄ク尋常ノ公債ヲ起ス能ハス又ハ民力乾涸シ豫定ノ租稅ヲ徵收スル能ハサ
 ル等ヨリ生スルモノニシテ財政上不幸ノ現象タルヲ免レサルナリ革命前ノ佛
 國方今ノ土耳其埃及等ハ公ケニ尋常ノ公債ヲ起ス能ハス密ニ銀行等ヨリ或ハ
 非常ノ高利ヲ約シ或ハ或地方ノ租稅金ヲ抵當トシ或ハ債主ニ或特典ヲ與ヘ或
 ハ負債ノ償却セラレサル時ハ他人ニ賣渡シ得ル所ノ證書ヲ與ヘ或ハ其他ノ方
 法ニア流動公債ヲ起スコト實ニ妙カラス西班牙、土耳其埃及ノ財政史ニ於テハ
 是等ノ借入最モ多ク資本家ノ高利ヲ貪ルコト實ニ甚タシ數ヶ月ニ涉ル短期借
 入ニシテ年利一割五分、一割八分、二割若クハ二割五分ノ高利ニ違スルノ例妙カ
 ラス此等ノ借入ハ只利子ノ高キノミナラス其期限甚タ短ク多クハ期限ニ至リ

三十四

三十五

之ヲ償還スルヲ得ス借繼ヲ爲スノ必要ヲ生セリ加之其筋道明了ナラス其高ナ
 確知スルコト甚タ難シ西曆千八百七十四年諸國ノ銀行家委員ヲ命シ土耳其ノ
 流動公債ヲ調査セシメントセシニ終ニ其高ヲ確知スルコト能ハス又英佛等埃
 及ノ流動公債ヲ調査セント欲セシニ等シク其高ヲ知ルコト能ハサリシト云フ
 然レトモ此類ノ借入ハ信用厚キ國ニ於テハ年ヲ經テ退縮スルノ勢アリ英國ノ
 如キハ其最モ著シキモノナリ即チ該國西曆千六百九十一年ヨリ同千八百六十
 一年マテノ流動公債ノ増減ヲ見ルニ此時間ノ初期即チ西曆千六百九十一年ヨ
 リ同千七百十一年マテハ流動公債ノ元金當ニ確定公債ノ高ヲ超過セリ其内最
 モ好結果ヲ得シハ西曆千七百九年トシ該年ノ流動公債ノ額ハ五千八百四十七
 萬圓ニシテ確定公債ノ額ハ三千六百十九萬五千圓其他ノ年ニ於テハ流動公債
 ノ額ハ尋常公債ノ二倍若クハ三倍ニ違セリ

西曆千七百十二年以來ハ大ニ面目ヲ改メ流動公債ノ額ハ常ニ定額公債ノ額ニ
 及ハス然レトモ其高尙ホ頗ル大ナリシ西曆千七百五十四年ヨリ同千八百七十
 三年マテハ其高巨額ニ登ラス西曆千七百五十五年ニハ僅ニ三百六十八萬二千

公債論

五十圓トナリ此時期ニハ彼ノ有名ナル七年ノ戰亂起リシニ由リ又増加ヲ示セシト雖モ其高二千五百十五萬圓ニ止マレリ元來戰爭其他政治商業上ノ混雜ハ收入ヲシテ其時ヲ失ハシメ支出大ニ増加スルヲ以テ流動公債ノ高ニ増加ヲ來スハ勢ノ免ル、能ハサル所ノモノアリ實ニ英國ノ如キハ其土地兵燹ヲ蒙リ收入時ヲ失ヒシト云フニアラスト雖モ西曆千八百七年ヨリ同千八百十九年ノ間ニハ流動公債大ニ増加シ二億圓ニ達セサルコト甚タ稀ニシテ西曆千八百四年ニハ凡三億三百萬圓ニ達シ西曆千八百十七年ニハ三億千三百萬圓ニ達セリ此高ニハ愛蘭ノ流動公債ヲモ含蓋ス西曆千八百十九年ヨリ同千八百四十年ニ至ルマテハ大ニ減少セシト雖モ其高尙ホ一億圓ヲ下ラス未タ以テ満足スヘキノ結果ト云フヲ得ス西曆千八百四十年ヨリ同千八百六十二年マテハクリヒヤ戰争ノ時ヲ除キ八千萬乃至一億圓ノ間ヲ昇降セリ而シテ該戰爭中ハ一時一億四千萬圓ニ達セリ西曆千八百六十二年ヨリ同千八百六十九年マテハ漸ヘス之ヲ減少シ此時期ノ後ハ四千萬圓ヲ超過セザリシ是レ實ニ永遠公債ニ比スレハ凡一分半ノ高ニシテ亦以テ巨額ト云フ能ハサルナリ西曆千八百六十九年ヨリ同

三六六

千八百七十四年マテハ漸次之ヲ減少シ西曆千八百七十四年ニハ凡二千二百四十萬圓トナレリ是レ永遠公債ノ凡千分ノ五ニシテ英國公債中僅々タル數ト云フヘシ然レトモ西曆千八百七十五年以來流動公債復々増加シ同千八百七十七年中ニハ凡七千萬圓ニ達セリ是レ從前埃及ノ領主ニ屬セシスエス運荷ノ株式二千萬圓ヲ購入セシト露土戰爭トニ由リ歐羅巴ノ景況穩ナラザリシカ爲メ種々ノ用意ヲ爲セシニ原因セルモノナリ該年以來英國屬印度亞弗利加等ニ事アリシニ由リ流動公債ハ益々増加セリ英國ノ流動公債ハ種々ノ性質ヲ有スルモノニシテ佛國ノモノヨリ其期限永キモノ多シ英國ノ流動公債ハ之ヲ別チテ三種トス

- 第一 三箇月六箇月若クハ一箇年ヲ以テ期限トスル大藏省證券
- 第二 一箇年ヲ超過スル大藏省證券
- 第三 數箇年ニ渉ル大藏省證券

西曆千八百七十七年ニ於テハ第一種ノ發行高凡九千二百萬圓第二種ノ發行高二千九十六萬九千圓第三種ノ發行高三千七百七十五萬圓ナリ此第三種ハ英

國ノ豫算ニテ雜種ノ證書ト名クルモノト同様ナルモノナリ今英國ノ例ヲ以テ之ヲ見ルニ流動公債ハ財政ノ整頓スル國ニ於テハ大ニ減少スヘシト雖モ固ヨリ之ヲ廢棄スルコト能ハサルナリ若シ之ヲ廢棄セント欲セハ政府ハ必ス相應ノ準備ヲ有スルカ又ハ年々相應ノ歲入殘餘ヲ有セサルヲ得ス然ルニ準備ヲ有スルノ弊害ハ已ニ第三章ニ於テ說キンカ如ク又年々歲入殘餘ヲ見込ムモ租額ヲ高クスルカ爲メ其利害或ハ相償ハス流動公債ヲ起ス方却テ財政ノ得策タルヘシ何トナレハ事ニ當リテ之ヲ起シ其元利償却ノ爲メニ租額ヲ増スハ平常之ヲ起サ、ルカ爲メニ永ク租稅ヲ重クスルヨリモ事業ノ發達ヲ妨グルコト少ナケレハナリ

今眼ヲ轉シテ佛國ノ景況ヲ見ルニ該國ニ於テハ豫算ノ決定其宜シキヲ得ス歲出ノ歲入ニ超過スルコト殆ト財政ノ常勢ニシテ大藏省證券ノ發行甚タ巨額ニ達ス而シテ佛國ノ流動公債ハ其種類モ亦尠少ナラス之ヲ第一支拂フヘキ手形第二諸預リ金第三用達人ヨリノ借入ノ三級ニ分チ每級又種々ノ者ヲ含有ス右ニ記載スル所ノ支拂フヘキ手形ハ重ニ大藏省證券ナリ此手形ハ利子付ニシ

テ三箇月六箇月若クハ一箇年ニシテ滿期トナルモノ多シ尤モ佛國ニ於テモ年度ヲ跨ル所ノ四五年期ノ大藏省證券ナキニアラス利子歩合ハ大藏大臣ノ定ムル所ニシテ二分三分四分五分又ハ六分位ナリ尤モ手形支拂期限ノ長短政府ノ信用或ハ資本ノ多少ニ由リ利子ノ歩合ニ増減アリ輒近佛國政府ノ信用甚タ厚ク三箇月ヨリ五箇月ノ期限ノモノニハ僅々半朱六箇月ヨリ十一箇月ノ者ハ一朱ノ四分ノ三、一箇年ノ者ニシテ稍ク一朱ナリ此手形ノ發行高ハ年々ノ豫算法ヲ以テ之ヲ決定シ其額以内ニテ大藏大臣ニ發行ノ權ヲ付與ス而シテ其期限モ立法官ニ於テ之ヲ決定シ大藏大臣ハ其高ヲ超過シテ發行スルヲ得ス此手形ハ即時ニ金員ヲ要セザル者ニシテ或未來ノ時之ヲ要スル者ノ爲メニ最モ便利ナルモノナリ又或ハ政府カ融通借入ヲ爲ストキ中央銀行ト特約ヲ結ビ低利ニテ之ヲ交付スルニ由リ斯ノ如ク市場ノ歩合ヨリ非常ニ低キ歩合ニテ之ヲ發行スルヲ得ルナリ抑、大藏省證券ナルモノハ財政上一時ノ便利ニ充ツルモノニシテ英米ノ如ク財政整頓シ且ツ其歲入ハ重ニ間稅ヨリ之ヲ得人民富裕ニシテ其所持金ノ一時ノ使用法ヲ撰ムヨリモ永久ノ貯蓄ヲ好ム國柄ニ於テハ從前ノ如ク

頻りに之カ發行ヲ要スルコトナク又人民ノ之カ爲メニ出金スルモノモ多ク
 サルヘク又中央銀行ノ紙幣發行等ノ爲メ有スル所ノ特典ニ對シ國庫融通ノ爲
 メニハ金高ヲ限リ無利子貸付ヲ爲サシメハ或ハ其發行ヲ廢止スルヲ得ヘク假
 令廢止シ得ルニ至ラサルモ大ニ之ヲ減少スルヲ得ヘント雖モ佛國ノ如キハ之
 ナ發行スルコト尙ホ巨額ニ達シ其發行亦容易ナリ當時ノ大藏大臣レオン、ゼイ
 氏カ西曆千八百七十三年十二月國會ニ報道セシ所ニ據レハ該年豫算法決定高
 ハ八千萬圓ニシテ其現發行高ハ同年三月六日ニハ二千五百四十萬圓爾後漸次
 ニ増加シ同年十一月十日ニハ六千萬圓ト爲レリ此實況ニ就キテ之ヲ見レハ佛
 國ノ如キ財政ノ器具備ハル國ト雖モ其發行未ダ以テ僅少ナリト云フヲ得ス而
 シテ其發行ノ容易ナル亦實ニ驚クヘキモノナリ
 前章ニ於テ略陳セシカ如ク流動公債中大藏省證券ノ外尙ホ諸預リ金アリ是等
 ハ政府カ細民ノ貯蓄ヲ保護獎勵スルノ政略ニ出ツルモノナレハ散テ公然募集
 スルモノニアラスト雖モ等シク是レ公債ノ一部分ニシテ此物ナクハ特ニ募
 集ヲ試ミサルヲ得サルニ當リ暫時之ヲ使用シ以テ募集ノ費用ト手數トヲ免ル

ハナ得ルモノナレハ本款ニ於テ之ヲ論スルモ敢テ不當ニアラサルヘシ又政府
 カ用達人ヨリ一時借入ヲ爲シ國庫ノ融通ヲ計ルコトアリ元來大藏省預金局遞
 信省爲換貯金局ノ如キハ諸國ニ於テ多ク設置スルモノナリト雖モ其最モ種類
 多ク制度ノ整頓セルハ蓋シ佛國ノ右ニ出ツルモノナシ故ニ佛國ノ例ニ據リ是
 等ノ流動公債ノ素質及取扱方法等ヲ論究セシ

諸預リ金ハ佛國ニ於テ受働體ノ公債ト號クル所ノモノニシテ既積立金ヨリノ
 預リ金貯藏銀行ヨリノ預リ金預金局預リ金其他之ニ類似スル所ノ預リ金ヨリ
 成立ヲモノナリ此等ノ預金ニハ各其主管者アリテ特ニ金櫃ヲ有シ種々殖益ヲ
 計ル者ニシテ其自ラ運轉セサル淨金アルトキハ之ヲ國庫へ貸付クルモノナリ
 今西曆千八百七十三年ノレオン、ゼイ氏ノ報告ニ據リ貯藏預リ金等ノ景況ヲ陳
 述セシ

レオン、ゼイ氏曰ク流動公債中貯藏預リ金ノ勘定ハ甚ク重要ナル部分ヲ占ム
 今茲ニ該金櫃ニ付キ詳細ノ點ヲ論スルヲ要セサルヘント雖モ其組織ヲ略陳
 スルハ蓋シ無用ノ業ニアラサルヘシ吾人ノ夙ニ熟知スルカ如ク公衆ハ其貯

金ヲ貯藏銀行ニ預ケ入ル、コト固ヨリ自在ナリ然ルニ貯藏銀行ハ其預金ニ對シテ利子ヲ支拂フヘキモノニシテ其預金ヲ死守スルコトヲ得ヌ是ヲ以テ豫メ政府ト勘定ヲ開キ自ラ運轉シ得サル高ハ之ヲ大藏省貯金局ヘ預ケ入レ該局ヨリ利子ヲ得以テ營業費ノ幾分ヲ支拂シ其餘ハ利子トシテ預ケ人ニ支拂フモノトス預金局ニ於テモ貯藏銀行ヘ利子ヲ支拂ハサルヲ得サルニ因リ是レ又其預金ノ殖益ヲ計ラサルヲ得ヌ該局ノ殖益ヲ計ルノ道ニアリ第一當座貸付勘定ニテ國庫ヘ貸付クルコト第二公債證書ヲ買入ル、コト是レナリ一戰爭前ハ貯藏銀行ヨリ預リ金ハ凡一億四千五百萬圓ニ達シ内凡四千萬圓ハ預金局ヨリ國庫ヘ貸付ケ其餘ハ公債證書ノ買入ニ使用セラレタリ貯藏銀行ヨリ預金ヲ以テ買入レタル公債證書ハ預金局カ他ノ資金ノ運轉ノ爲メニ買入レタル公債證書ト區別シ置キ貯藏銀行預ケ人ノ預ケ入レ金額制限高ニ達シタルトキハ其望ニ由リテ預金ト交換スルノ用意ヲ爲スモノトス

預金局ハ其預リ金拂戻ノ請求アルトキハ國庫ヨリ當座勘定ノ高ヲ引戻シ之

ニ應スルモノトス其請求額大ニシテ引戻高ノミヲ以テ之ニ應スル能ハサルトキハ所有ノ公債證書ヲ賣却シテ之レニ應ス然レトモ戰爭後ハ預金大ニ減シ方今西曆千八百七十三年十二月貯藏銀行ヨリノ預リ金ヨリ國庫ノ當座勘定ニ入ル者甚タ多シ然リト雖モ戰亂既ニ平キ凡百ノ事業其緒ニ就クヲ得シヲ以テ數年ヲ出テスシテ戰爭前ノ景況ニ復シ曾テ千八百四十八年ノ亂ニ際シ貯藏銀行ノ預ケ金ヲ引出ス者甚タ多ク預金局ヲ通シテ國庫當座勘定ニ入ルモノ大ニ減少シ其高三千七百二十一萬圓ヨリ二百萬圓ニ減少セリ然レトモ千八百五十一年ニ至リ既ニ二千五百二十萬圓ニ増加シ千八百六十八年ニハ三千五百六十萬圓トナリ千八百六十九年及千八百七十年ニハ四千萬圓ニ増加セリ由是觀之騷亂ニ際スレハ細民ハ平生ノ貯蓄ヲ引出シ預金局ノ國庫當座勘定ハ大ニ減少シ世上平和ニ歸スルニ及ヒテ漸次其高ヲ増スヤ敢テ疑ヲ容レサルナリ是レレオンセイ氏カ國會ニ向ヒテ爲セシ所ノ預金報告ノ大略ナリ此報告ニ據レハ預金ハ自然ト公債ニ變換スルノ道アリテ頗ル奇巧ノ組織ナルヲ見ルニ足

レリ元來預ケ金ハ政府ノ意ヲ以テ之ヲ増減スルヲ得ス財政困難ナルノ時ニ際
 シ拂戻ノ請求ニ遭遇スルモノナレハ豫メ其危險ヲ免ル、ノ策ヲ講セヌンハア
 ルヘカラス平生ニ於テ一人ノ預金ノ高若干圓例ヘハ五十圓ニ登レハ之ニ對シ
 公債證書ヲ與フルノ法ヲ開クニ於テハ預ケ人ハ公債ノ利子ハ少ク預ケ金ノ
 利子ヨリ多キヲ以テ益貯藏心ヲ起シ政府ハ預金ヲ減少スルヲ以テ拂戻ノ需要
 ニ應ジ易ク又預金ヲ公債證書ニ變換セシヨリ其元金ヲ支拂フヲ要セサルヲ以
 テ其丈ケノ金額ハ預金局ヨリ國庫ヘ收メシメ國庫ハ之ヲ以テ他ノ公債證書ヲ
 償還セハ之カ爲メ決シテ公債ヲ増加スルコトナク流動公債ヲ減シテ確定公債
 ヲ増シ公債ノ基礎ヲシテ鞏固ナラシムルコトヲ得ヘシ
 流動公債ノ第三種即チ用途人ヨリノ借入ハ政府用途人ニ相當ノ報酬ヲ與ヘ借
 入ヲ請求スルモノナリ

佛國ノ豫算調製法ハ頗ル其法ヲ失シ歲計ノ變動甚ク隨ヒテ流動公債ヲ要ス
 ルコト多ク其高一億六千萬圓乃至二億圓ニ達ス實ニ是レ非常ノ巨額ト云フヘ
 シ元來流動公債ノ要ハ既ニ陳述シタルカ如ク歲計ノ不足ヲ補ヒ又ハ國庫ノ融

通ナ計ルニアリト雖モ佛國ニ於テハ茲ニ又第三ノ用アリ何ソヤ縣又ハ區ニ道
 路基金トシテ貸付クルカ爲メ起ス所ノ者即チ是レナリ號シテ特別勘定ト云フ
 此貸付ハ豫算書ニ於テ之ヲ議決セサルニ由リ其需要アルトキニハ必ス之ヲ國
 庫ニ求メサルヲ得ス國庫モ亦豫算ナキヲ以テ流動公債ヲ起シテ之ニ應セサル
 ヲ得サルナリ抑、地方政府ハ中央政府ノ如ク信用厚カラサルニ由リ中央政府之
 ニ代リテ負債ヲ起シ資金ヲ地方政府ヘ供給シ地方政府ヲシテ元利支拂ニ充ツ
 ル金員ヲ年々中央政府ヘ納メシメ以テ四五年ニ渉ルノ流動公債ヲ起スハ或ハ
 場合ニ依リ多少ノ便利ナキニアラサルヘシ佛國ニ於テ輒近此類ノ流動公債凡
 一千萬圓ヲ要スト云フ是レ又僅少ノ額ニアラサルナリ流動公債ノ起因及其使
 用ハ已ニ之ヲ陳述セリ故ニ今一步ヲ進メテ其來歴及利害ヲ説明セン佛國ニ於
 テハルイ、フヒリツアノ治世ノ初メニ當リ流動公債ハ五千萬圓ナリシカ當時財
 政裕ナラス歳入殆ト常ニ不足ヲ告ケ數年ヲ出アスシテ一億圓乃至一億五千萬
 圓ニ昇リ西曆千八百四十八年一月一日ニハ一億三千萬圓ヲ超過セリ其内五千
 七百萬圓ハ大藏省證券及貯蓄銀行ヨリ預リ金ナリシ此高ハ當時ノ歳入ニ比シ

甚々大ナル者ニシテ革命假政府ハ同年二月ノ革命ニ由リ起リシ混雜ノ外之ヲ
 處分スルノ方法ニ苦ミ同年三月七日銀行預ケ金ノ拂戻ヲ減セシカ爲メ其利子
 ナ五分トセシト雖モ未タ之ヲ以テ拂戻ヲ止ムルニ足ラス終ニ己ムコトヲ得ス
 シテ同月九日流動公債ヲ整聚シ或ハ之ニ對シテ公債證書ヲ與ヘ或ハ之ニ大藏
 省證券ヲ與ヘタリ同月十六日更ニ議ヲ決シ大藏省證券ノ期限ヲ延長セリ當時
 共和政府カルフヒリツプノ政府ヨリ引繼キシ流動公債ノ幾分ハ既ニ償却セ
 シト雖モ其高尙ホ五千四百九十萬餘圓アリ其他償却ノ爲メニ買戻サレシ三百
 二十五萬餘圓ハ未タ其償却ヲ了セズ此巨額ノ處分ニ苦ミ右ノ延期ヲ決定セリ
 而シテ右ノ五千四百九十萬餘圓ハ重ニ資本家カ政府ヘ預ケ置キシモノニシテ
 直ニ之ヲ商工等ノ業ニ用フルヲ要セサルモノナリシニ由リ之ヲ六箇月拂ノ五
 分利付證書ニ組換ヘ發行價格ヲ廉ニシテ其發行價格ト償却價格トノ差違ヨリ
 生スル所ノ利益ヲ以テ公衆ヲ誘導シ容易ニ此組換ニ應セシメント計レリ然レ
 トモ預ケ金ヲ以テ證書ニ組換ヘルニ於テハ急ニ現金ヲ得ル能ハサルノ不便ア
 ルヲ以テ公衆ハ此組換ヲ不便トシ爲メニ狼狽セシ者尠カラズ頗ル不快ノ感覺

ヲ惹起セリ當時佛國政府ハ財産ノ困難ヲ忍ビ力メテ之カ整理ヲ計ラス狼狽措
 ク所ヲ知ラス急ニ市場ノ割合ヨリ高キ割合ニテ其流動公債ノ處分方法ヲ定メ
 シニ依リ困難外ニ顧ハレ頗ル人心ヲ動搖セリ斯ノ如キ時ハ非常ノ節省ヲ行ヒ
 財政ノ器具ヲ整ヘ通常ノ公債ヲ起シテ以テ之ヲ整理スルモ亦敢テ妨ナカルヘ
 シ徒ニ狼狽ノ色ヲ顯ハシ公衆ヲシテ妄想ヲ逞フセシメ一犬虛ニ吠ヘテ萬犬實
 ナ傳フルカ如キ結果ナキチカムヘキナリ然リト雖モ當時ノ景況ニ付キテ最モ
 咎ムヘキハ共和政府ノ處置ニアラスシテ寧ロ前政府ノ無謀ニ一億二千六百萬
 圓ノ流動公債ヲ起セシコト是レナリルイフヒリツプノ政府ニ於テ斯ノ如キ巨
 額ノ流動公債ヲ起スコトナク時々之ヲ整聚シ以テ之ヲ半額或ハ三分ノ一ニ減
 少シ置カハ西曆千八百四十八年ニ當リ少シク佛國ノ困難ヲ減輕スルコトヲ得
 シヤ敢テ疑ナ容ル、コト能ハサルナリ勿論流動公債ハ國家ノアラン限リハ多
 少之ナキヲ得スト雖モ稍巨額ニ達スルノ傾向アレハ速ニ之カ處分ヲ爲サハル
 ナ得ス何トナレハ預リ金ハ商業上政治上ノ困難ニ當リ公衆ハ直ニ之ヲ引出ス
 ノ力ヲ有シ大藏省證券ハ財政困難ノ時ニ當リ延期ヲ爲ス能ハサルニ由リ其高

公債論

巨額ニ達スルニ於テハ非常ノ不便ヲ生スヘケレハナリ第二帝國ニ於テハ屢通
 常公債ノ募集アリシニモ拘ハラヌ流動公債モ非常ニ増加セリ即チ西曆千八百
 六十四年一月一日ニハ驚クヘキノ巨額ニ昇リ其高凡二億七百四十一萬圓ニ達
 セリ其ヨリ少ク減少ヲ告ケ同千八百六十八年一月一日ニハ凡一億八千二百
 四十萬圓同千八百七十年ニハ一億五千八百八十三萬餘圓ト爲リ其内六百四十
 萬圓ハ大藏省證券千二百萬圓ハ佛國國立銀行へ振出セシ證券五千百六十萬圓
 ハ區積立金及會社等ヨリノ預金三千九百萬圓ハ貯蓄銀行ヨリノ預リ金九百四
 十萬圓ハ同銀行ヨリノ特別借入ナリトス今西曆千八百七十年一月一日ノ流動
 公債ト同千八百四十八年一月一日ノモノトチ比較スルニ其高ニ於テハ第一ノ
 モノヨリ多シト雖モ之ヲ兩時期ノ總歲入高及信用ノ厚薄等ト比スレハ第一ノ
 モノハ却テ少キコトヲ見ルヘシ而シテ流動公債ノ内危險ナル性質ヲ有スル者
 モ西曆千八百七十年一月一日ニ於テハ割合ニ少カリキ實ニ是レ財政ノ一進歩
 ト云ハサルヲ得サルナリ次ノ表ハ右ノ兩時期ニ於ケル流動公債ノ内譯ヲ示ス
 モノナリ

佛蘭西流動公債	西曆千八百四十 八年一月一日	西曆千八百七 十年一月一日
第一 民間流通大藏省證券	五六・八〇	六・四〇
第二 貯藏銀行ヨリノ預リ金(預金局)	一四・四四	三九・〇八
第三 諸種條約先ヨリノ借入	四・二〇	一一・六二
第四 金庫支拂官長ヨリノ前借	一〇・〇六	一八・六四
第五 大藏省中央支拂官約束手形	七・五八	二・八四
第六 諸手形	一・〇八	一・八四
第七 區積立金及公立會社預ケ金(預金局)	二六・六〇	四九・六四
第八 海陸軍隊ヨリノ預ケ金	一・二〇	一・一四
第九 一箇人當座預ケ金(預金局)	六・一二	九・五二
第十 佛蘭西銀行引受大藏省證券	……	一一・〇〇
第十一 佛蘭西土地銀行ヨリノ預ケ金	……	三・四八
第十二 軍隊扶助金	……	二・五四
合計	一二八・〇八	一五八・七四

公債論

右ノ表ニ據リテ之ヲ觀レハ西曆千八百四十八年ノ流動公債ハ之ヲ西曆千八百七十年ノ流動公債ニ比シテ甚ク不穩ノ景況ヲ示スモノト云フヘシ右兩年度ニ於ケル佛國富裕ノ差異ハ暫ク措キテ問ハス只其數ヲ以テ之ヲ論スルニ民間ニ流通スル大藏省證券ノ如キハ西曆千八百四十八年ノ方凡九倍ノ多キヲ致セリ實ニ是レ財政ノ不肅ヲ示スモノト云ハスシテ何ツヤ其他諸預リ金ノ如キハ西曆千八百七十年ノ方多數ヲ示スト雖モ是レ佛國富源ノ發達ニ由ルモノニシテ敢テ財政ノ不整頓ヲ示スモノニアラサルナリ宜ヘナル哉前ニハ流動公債ノ爲メニ非常ノ混雜ヲ生セシト雖モ後ニハ之カ爲メ混雜ヲ見ス流動公債ノ事豈ニ之ヲ忽ニスルヲ得ンヤ

西曆千八百七十年以來佛國流動公債ノ景況ハ少シク面目ヲ改メタリ今試ニ西曆千八百七十八年三月三十日ノ流動公債ヲ見ルニ二年乃至五年ノ期限ノ九千六百六十萬餘圓ヲ除キ一億六千二百五十九萬餘圓ニシテ其內譯ノ重ナル者ヲ示セハ左ノ如シ

第一 大藏省證券流通高

七〇二

第二 諸預ケ金(預金局)

二七・八六

第三 金庫支拂官長流通勘定

二二・九四

第四 佛蘭西土地銀行通常勘定

〇・九六

第五 區積立金及地方公立會社預ケ金

五〇・九二

第六 巴里府預ケ金

一六・六〇

第七 巴里諸會社預ケ金

三・七八

第八 預金中一箇人當坐預ケ金

二四・六八

右ハ當時佛國ノ流動公債中重要ナルモノニシテ皆政府カ利子ヲ支拂フ所ノモノナリ而シテ其高ハ凡ソ一億五千四百九十四萬圓ナリ其他無利子ノモノ凡ソ六百十萬圓アリ此二項ヲ合セタル金額ヲ流動公債ノ總計トス右ノ表ニ據リテ之ヲ見レハ西曆千八百七十八年ノ流動公債ノ景況ハ六ニ改良セシモノト云フヘシ大藏省證券ハ少シク増加セシト雖モ概近佛國人民大ニ其便利ナルヲ覺ヘ西曆千八百七十九年ニハ利子ハ期限ノ長短ニ由リ三ヶ月六ヶ月一ヶ年(半朱ヨリ一朱マテ)ニテ自在ニ發行スルコトヲ得タリ故ニ政府ハ支拂官ヨリノ前借區

積立金預金局ヨリノ借入ヲ止メ大藏省證券ヲ以テ國庫ノ融通ヲ爲スナリ
 ス種々ノ借入金ノ中ニハ三分半ノ利ヲ支拂フ者尠カラス故ニ大藏省證券ヲ以
 テ之ニ換ユレハ大ニ利子ヲ減少スヘシト雖モ巨額ノ金高ナリ一時ニ大藏省證券
 ニテ得ント欲スレハ必ス其利子ヲ増加スルニ至ルハ敢テ疑ヲ容レサル所ナル
 ニ由リ盡ク諸借入ヲ廢止スルコト能ハサルヘシ然リト雖モ大藏省證券ノ利子
 低キハ事實疑フヘカラサルモノナレハ成ルヘキ丈ケ之ヲ以テ一時ノ融通ヲ爲
 シ他ノ借入ヲ減少スルハ佛國ノ爲メ頗ル便利ノ方法ナルヘシ
 抑佛國ニ於テハ歲入不足アルハ殆ト財政ノ常況ニシテ流動公債ノ増加ハ殆ト
 免ル、コト能ハサルノ勢ナリト雖モ自今大ニ財政ニ改良ヲ施シ歲入不足ヲ避
 クルヲ得ハ之ヲ減少スルコト必シモ難カラサルヘシ然レトモ他ノ景況ヲ顧ミ
 ス痛ク之ニ減少ヲ加フルモ亦得策ニアラサルナリ方今佛國ノ景況ヲ見ルニ政
 府ニ於テ一億乃至一億五千萬圓ノ流動公債ヲ有スト雖モ非常ノ時ニ際シ之カ
 爲メニ財政ノ困難ヲ惹起サ、ルヘケレハ(西曆千八百七十年ノ景況能ク此事ヲ
 證ス)強テ之ヲ減少スルヲ要セサルヘシ然レトモ若シ強テ之ヲ減少セント欲セ

ハ之ヲ整聚スルカ若クハ租稅ヲ増加スルカ孰レカ其一ニ出テサルヲ得ス今普
 通公債ノ利子ト流動公債ノ利子トヲ比較スルニ第一ノモノハ遙ニ第二ノモノ
 コリ高シ第二ノ者ノ内大藏省證券ノ如キハ利子非常ニ低キモノニシテ亦放銀
 ニ便ナリ他ノ預リ金モ預ケ人ニ於テ請求次第金員ヲ得ルノ便利アレハ其利子
 ハ公債證券ノ利子ヨリ低シトス故ニ佛國ニ於テハ流動公債ノ高モ一億五千萬
 圓ニ止マルニ於テハ強ヒテ之ヲ減少スルヲ要セサルヘシ又永遠公債ノ高少キ
 國ニ於テハ之ヲ永遠公債トナスモ敢テ妨ケナカルヘシ若シ幸ニ歲入殘餘アレ
 ハ宜シク最モ有害ナル租稅ノ減少又ハ廢止ヲ爲スヘシ然リト雖モ若シ流動公
 債ニシテ非常ノ時ニ當リ請求ニ應スル能ハサル程ノ高ニ達セハ速ニ之ヲ減少
 ナ計ルヘシ天下後世ヲシテ佛國千八百四十八年ノ轍ヲ蹈マシムヘカラス而シ
 テ其豫備平日ニアリ決シテ忽ニスヘカラサルナリ
 以上論スル所ノモノ、外政府ノ預リ金ノ内ニハ身元保證金ノ預リアリ官吏俸
 給差引高ノ預リアリ其他兵隊工場職工等ノ積立金等種々様々ノモノアリ一々
 之ヲ陳述スルヲ要セサルヘシ只身元保證金ト俸給差引高トノ事ヲ陳述スルヲ

以テ足レリトス身元保證金トハ金錢ノ取扱チ爲メ所ノ官吏カ官金ノ取扱上不都合ナキカ爲メ又ハ官吏ノ過誤失策等ニ由リ官ノ損失ヲ醸セシトキ之ヲ辨償セシカ爲メ在職中政府ヘ差出ス所ノ金員ナリ其高ハ其職ノ輕重取扱金高ノ多少ニ由リ各異ナルアリ身元保證金ハ現金ヲ以テ預ケ入ル、トモ公債證券ノ如キ確定ナル證券ヲ以テ預ケ入ル、トモ預ケ人ノ隨意ナリ其現金ニテ預ケ入ル者ハ之ヲ預金局ニ領収シ輕少ノ利子ヲ付シ退職ノ時ハ元金ヲ返却ス又政府ノ爲メ工事物品供給ノ請負ヲ爲ス者モ多クハ身元保證金ヲ出タセリ其保證金ノ取扱ハ前記ノモノト異ナルコトナシ

官吏俸給差引高ハ官吏在職中其俸給ノ幾分佛國ニテハ適例五分ナリ)ヲ扣除シ之ヲ預金局ヘ預ケシメ在職中ハ其引出ヲ許サス退官或ハ死亡ノ時ハ之ヲ拂戻スモノトス此高ニモ輕少ノ利子ヲ付シ通例利倍増殖法ヲ以テ之ヲ預カルモノトス而シテ政府ハ國庫融通ノ爲メ之ヲ運轉シ重ニ恩給資金トシテ之ヲ使用ス此預リ金ハ拂戻ヨリ預ケ入ノ方常ニ多ク政府ノ爲メニハ急速ノ引出ニ逢フノ危險ナク預ケ人ノ爲メニハ不知不識ノ間ニ貯金ヲ得ルモノニシテ頗ル便利ノ

方法ナリ

年金中一生涯年金ハ少々ノ金ヲ有スル獨身者ニシテ子孫ニ財產ヲ殘スチ要セス一生ヲ安樂ニ経過セント欲スル者又ハ隱居者ノ小遣金トシテ子孫ヨリ供給スルニ甚タ便利ナルモノナリ何トナレハ年金ハ元金ニ利子ヲ加ヘ之ヲ年賦トシテ支拂フモノナレハ同額ノ資金ヲ以テ長期又ハ永遠公債ノ利子ヨリ多額ノ年賦金ヲ得レハナリ此類ノ公債ハ往時盛ニ行ハレシト雖モ方今大ニ減少ノ傾向アリ是レ社會ノ進歩ニ從ヒ生命保險會社貯藏銀行ノ如ク他ニ少々ノ貯蓄ヲ使用スルノ道開ケシニ由ルナリ然レトモ佛國政府ノ如キハ方今ニ於テモ尙ホ生命保險ノ業ヲ營ムニ依リ或ル人民ヨリ其一生ノ間金ヲ借入ル、コト少カラス(是レ年金ト制ヲ異ニスト雖モ政府カ債主ノ一生ヲ期シテ之ヲ償却スルノ義務ヲ有スルモノナレハ有期公債中ノ一生涯年金ニ最モ近キモノトシテ之ヲ茲ニ記載ス)英國ニ於テモビット以前ニハ年金ノ使用頗ル多ク中ニ就キテウイリヤール第三世ハ百ボンドノ拂込ニ對シ拂込人ノ生活若クハ其名指人ノ生涯十四ボンドヲ支拂フコトヲ約束シ百萬ボンド五百萬圓ノ公債ヲ起セリ然ルニ當時生

命保險ノ業未タ開ケス人民壽命ノ平均年數ヲ知ル能ハス故ニ年齡ノ多少ニ由
リテ歩合ヲ定ムルコト能ハサリシニ由リ政府ハ非常ニ高キ歩合ヲ拂ヒシト云
フ(生命保險會社ニテ人民壽命ノ平均年數ヲ計リ得シハ西曆第十八世紀ノ末ニ
アリ)

右ノ外トシテソノ方法アリ是レハ同齡ノ人ヲ集メ之ヲシテ同一ノ年
金ヲ有スル年金證書ヲ購買セシメ各債主ノ一生年金ヲ拂ヒ其内死亡者アリテ
同級拂込人ノ中ニ缺員起ル時ハ其人ノ受取ル年金ハ生殘ル所ノ人員ヘ其元金
拂込ノ高ニ割合ヒ分配スルノ方法ナリ此方法ハ西曆第十七世紀ニ於テ伊太利
ノ銀行家ローレンソトシテソノ名タル老練頓智ナルモノ、發明ニ係リシモノニ
マテ能ク人情ヲ察シタル奇巧ノ方法ト云フヘシ何トナレハ人類ニハ慾心アル
ヲ以テ同齡者ノ内ニテ我レ先ツ死去スヘシト思考スル者ナク己レ假令最後ノ
死者ニアラサルモ某々ヨリハ長ク生存スヘシト思惟スヘケレハ政府ハ通例ノ
方法ニ依ルヨリモ幾分カ低利ニテ借入ヲ爲スコトヲ得ヘケレハナリ西曆千六
百八十九年佛王ルイ第十四世ノ時トシテソノ方法ニテ二十八萬圓ノ年金ヲ支

拂フ丈ケノ元金ヲ募集セリ當時出金者ノ年齡チ一歳ヨリ七十歳迄トシ之ヲ十
四級ニ分チ百圓ノ元金ニ對シ十圓ノ年金ヲ付セリ然レトモ其成功充分ナラス
政府ハ毎級ヨリ二萬圓ノ年金ヲ支拂フ丈ケノ元金ヲ得ルコトヲ期セシニ稍ク
ニシテ實際ノ應募高ハ其四分ノ一ニ達セサリシ西曆千六百九十六年第二ノト
シチンヲ試ミタリ其方法ハ第一ノモノト違フコトナク只一級ヲ加ヘ第十五級
即チ七十歳ヨリ七十五歳迄ノモノヲ以テ一級トセシノミ西曆千七百二十六年
ニ至リトシチンノ應募者殆ト死絶ヘテ只一婦人ヲ存セリ而シテ該婦人ハ九十
六歳ノ高齡ニ達シ第一第二ノトシチンニ各六十圓ヲ拂込シ晚年ニ至リ一萬四
千七百圓ノ年金ヲ受取リシト云フ

英國ニ於テモトシチンノ方法ヲ用ヒテ公債ヲ募集セシコト前後三回アリ第一
ノモノハ西曆千六百九十二年ウイリヤム第三世ノ時ニ起セシモノニシテ五
百萬圓ノ金員ヲ募集セントシ初メ七年間ハ拂込元金ニ對シ一割ノ年金ヲ支拂
ヒ七年ノ後ハ之ヲ七分トシ債主七人ニナル迄ハ死亡者ニ屬スル年金ハ之ヲ生
存者ニ配當スルモノトセリ此募集ニハ應募者甚タ少ク政府僅ニ九十萬圓ヲ得

公債論

タルノミ面シテ七年ノ後ハ年金ノ高三萬七千八百三十五圓トナレリ當時ノ「ト
ンチン」ハ甚々危粗ナルモノニシテ年齡ニ依リ階級ヲ分ツコトナカリシヲ以テ
幼年者ノ數甚々多カリシハ亦已ムヲ得サルノ勢ナリトス今實際ノ年齡ヲ見ル
ニ其區別左ノ如シ

西曆千六百九十二年「トンチン」法公債ニ出金セシ人員年齡表

年 齡	男	女	合 計
六年未滿ノ者	一七八	一一三	二九一
六年ヨリ十年迄ノ者	一一八	一一八	二三六
十一年ヨリ十五年迄ノ者	一一九	九六	二一五
十六年ヨリ二十年迄ノ者	四九	三九	八八
廿一年ヨリ廿五年迄ノ者	三五	一九	五四
廿六年ヨリ三十年迄ノ者	一六	一四	三〇
卅一年ヨリ四十年迄ノ者	一六	六	二二
四十一年ヨリ五十二年迄ノ者	三	三	六
通 計	五九四	四〇八	一〇〇二

四十二

四十三

當時應募者中男子ノ最高齡ハ四十一ニシテ女子ハ五十一ナリ以テ女子ノ高齡
ヲ期スルヲ證スルニ足レリ此「トンチン」ハ西曆千七百八十三年七月五日ヲ以テ
滿期トナレリ其後ノ年金受取人ハ一婦人ニシテ九十八ノ最高齡ヲ得タリ
第二ノ「トンチン」ハ西曆千七百六十六年ニ於テ施行セシ所ノモノニシテ七百五
十萬圓ヲ募集セント試ミタリ當時ノ方法最モ其當ヲ得ス之ヲ以テ先ツ三分ノ
利子ヲ約シ別ニ當籤一本ヲ置キ之ニ當リシ者ニ四萬五千圓ノ金額ヲ與フルモ
ノトシ以テ債主ヲ誘導シ各級得ル所ノ年金ヲ七千五百圓トセリ然レトモ之ニ
應スル者甚タ少ク僅ニ二千七百圓ノ年金ヲ得ル丈ケノ元金ヲ得其拂込人員百
三十九人ナリシカ西曆千八百二十八年一月ニ至リ七人ノ生存者ヲ殘シ同千八
百四十九年ニ至リ全ク消滅セリ第三ノ「トンチン」ハ西曆千七百八十九年ニ施行
セシモノナリ當時「トンチン」ノ法ヲ以テ五百一萬二千五百圓ヲ借入レントシ債
主ヲ其年齡ニ從ヒ六級ニ分チ各級中生存者ノ受取ルヘキ年金五千圓トナル迄
ハ先死者ノ受取ルヘキ分ヲ生存者ニ配當スルモノトセリ年齡ニ從ヒ年金ノ奉
合ヲ定ムル次ノ如シ

年 齡	拂込元金五百一圓二十五錢ニ對スル年金
十年未滿ノ者	二〇 ^五 七五〇
二十年ヨリ二十九迄ノ者	二一 三七〇
三十年ヨリ三十九迄ノ者	二三 一二〇
四十年ヨリ四十九迄ノ者	二三 三七〇
五十年ヨリ五十九迄ノ者	二五 三七〇
六十年以上ノ者	二八 〇〇〇

此トントンニ於テ英國政府ハ五百一萬七千七百圓ノ應募申込ヲ得タリト雖モ債主中應募ノ約束ヲ履行スルコト能ハサルモノ多ク實際九萬四千二十一圓ノ年金ヲ生スル丈ケノ拂込ニ止マリ西曆千八百六十九年迄ハ三萬三千六百五圓ノ年金ヲ支拂ヘリ由是觀之英佛ニ於テトントンノ法ハ功ヲ奏スルコト能ハサリシ其他愛蘭ニ於テモ西曆千七百七十三年同七十五年同七十八年ニトントンノ法ヲ施行シタリシカ同國ニ於テハ隨分成功ヲ告ケタリ

四十五

其方法ヲ内外ニ用ヒテ巨額ノ公債ヲ起スコト能ハス只一地方ニ係ル小額ノ公債ニ適用スルヲ得ヘキナリ

有期年金ハ英國ニ於テ最モ盛ニ行ハレシ者ナリ同國ニ於テハ其期限九十九年ヲ超過セシコトナシ然リト雖モ理ニ於テ是ヨリ長ク期限ヲ定メ能ハサルコトナカルヘシ元來年金ハ元利ヲ區別シテ支拂ハス之ヲ年賦ニ割合ヒ支拂フ者ナレハ其歩合ハ通例ノ公債ノ利子ヨリ多カラサルヲ得ス而シテ期限ノ長短ニ依リ同一ノ元金ニシテ年賦金ニ差異アルハ固ヨリ論ヲ俟タサルナリ然レトモ此類ノ年金ハ往時英國ニ於テハ單特ニ用ヒラレス故ラニ永遠公債ノ利子ヲ低クシ其低利ヲ償補スルカ爲メニ若干年間又ハ債主一生ノ間永遠公債元金ノ拂込高ニ對シ年金ヲ與ヘタルコトアリ此場合ニ於テハ年賦金ノ歩合高カラズ有期年金ハ初メ之ヲ得シモノノ存亡ニ拘ラス其年期ヲ定ムル者ナレハ賣買授受ハ固ヨリ自由ナリ而シテ期滿ツルニ至ルト雖モ元金ノ償却ヲ得ス年々受取ル所ノ年賦金中ニ元金ヲ含有セルモノトス而シテ此年金ハ往時英國ニ於テ盛ニ行ハレシヲ以テ西曆千七百年ニ於テ永遠公債ノ利子ハ僅ニ百三十萬圓ナリシト

公債論

購モ長期年金(一生年金ヲ含有ス)支拂高ハ六百四萬二千三十五圓ニ達セリ西曆
 千七百十一年ニハ永遠公債ノ利子三百三十九萬千二拾圓トナリ長期年金支拂
 高ハ四百五十六萬二千九百八十圓ニ増加セリ該年以降永遠公債ノ募集大ニ増
 加シ長期年金モ共ニ行ハレタリト雖モ其増加遙ニ永遠公債ニ及ハス即チ西曆
 千八百六十九年ニ於テハ長期年金支拂高ハ二千五萬四千八十圓ニシテ永遠公
 債ノ利子ハ一億一千四百十二萬八千二百五圓ナリ由是觀之英國ノ公債中長期
 年金ハ之ヲ永遠公債ノ高ニ比シ減少スト雖モ其員額頗ル巨大ナルモノト云フ
 ヘン

佛國ニ於テモ有期年金ノ制アリ而シテ其額決シテ尠少ニアラサルナリ西曆千
 八百七十六年ノ年金支拂豫算高六千八百八十萬圓同千八百八十一年ノ豫算高七
 千百六十萬圓ニ達セリ然レトモ此年以降ハ年々減少スルノ方法ナリ佛國ニ於
 テ年金ト稱スル者ハ英國ノ年金ト大ニ異ナルモノアリ其内ニハ政府カ國立銀
 行鐵道會社市邑商務局ヘ支拂フヘキ年金有期定期支拂ノ公債大藏省證券ノ仕
 拂ヲ含有ス實ニ是レ一種特別ノモノナリレランゼイ氏ハ是等ノ負債ヲ永遠ノ

公債ニ整聚スルノ計畫ヲ抱ケリ若シ他ノ巨額ノ永遠公債ヲ有セサレハ整聚法
 ハ公債取扱ヲ簡易ニスルノ利アレハ之ヲ行フモ可ナリト雖モ佛國ノ如キ已ニ
 巨額ノ永遠公債ヲ有スル國ニ於テハ之ヲ増加スルハ決シテ策ノ得タルモノニ
 アラス斯ノ如キ雜種ノ公債ハ之ヲ英國流ノ年金ニ組換ユル方却テ便利ナルヘ
 有期年金ハ一種ノ放銀方法ニシテ若干年間其資金ニ對シテ最大ノ歳入ヲ得ン
 ト欲スル者ニハ最モ便利ノ方法ナリ何トナレハ之ヲ普通ノ公債ニ放下スレハ
 年々受取ル所ノモノハ利子ノミニシテ元金ハ毫モ之ヲ受取ルコト能ハス偶ニ元
 金ノ償還ヲ受クルコトアルヘシト雖モ元金ノ償還ハ通例抽籤法ニ據ルモノナ
 レハ豫メ之ヲ期スルヲ得ス又假令償還ヲ受クルト雖モ償還ハ利子ヨリ生スル
 歳入ヲ減少スルニ由リ其償還金ヲ以テ他ニ放銀方法ヲ求メサルヲ得サルノ不
 便アリ年金ハ之ト異ナリ其期限中ハ利子ト元金ノ幾分トヲ合セタル高ヲ受取
 ルコトヲ得ヘク加フルニ年金ハ期限中毎年同額ノ歳入ヲ期スルコトヲ得故ニ
 小額ノ資金ヲ以テ數年ノ生計ヲ計畫スルハ年金ニ若クモノナシ例ヘハ茲ニ一